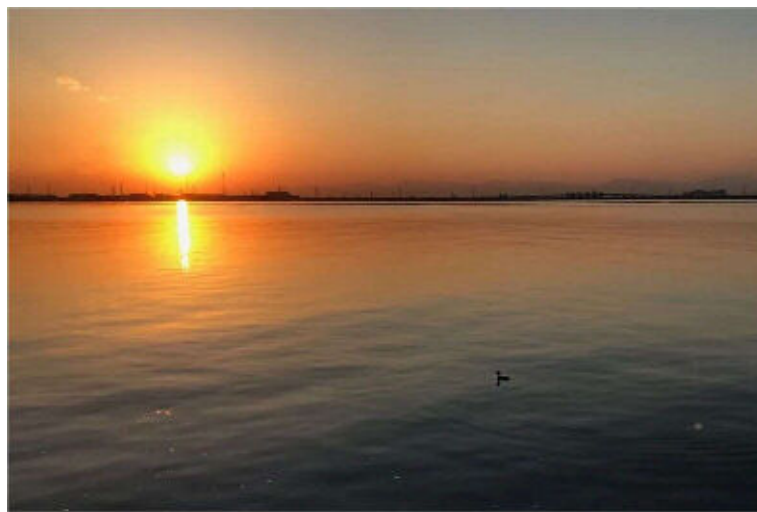




名古屋の野鳥

2020

2019-2020 年度第 10 次名古屋市野鳥生息状況調査報告



名古屋市

名古屋の野鳥 2020:

2019–2020 年度第 10 次名古屋市野鳥生息状況調査報告

発行日 2023 年（令和 5 年）10 月 1 日
著者 名古屋市緑政土木局都市農業課
発行者 名古屋市環境局なごや生物多様性センター
郵便番号 468-0066 愛知県名古屋市天白区元八事五丁目 230 番地
電話 052-831-8104
ファクシミリ 052-839-1695
電子メール bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

Wild birds of Nagoya 2020:

A report on the 10th survey FY2019–2020 of extant avian fauna in Nagoya

Publication date October 1, 2023
Authors City of Nagoya Greenification & Public Works Bureau Urban Agriculture Division
Publisher City of Nagoya Environmental Affairs Bureau Nagoya Biodiversity Center
230, Motoyagoto 5-chome, Tempaku-ku, Nagoya, Aichi 468-0066, Japan
Telephone 052-831-8104 (domestic)
Facsimile 052-839-1695 (domestic)
Electronic mail bdnagoya@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

表紙写真 カンムリカイツブリ (*Podiceps cristatus*)

藤前干潟, 2021 年 11 月 18 日

提供 東海・稲永ネットワーク

目次

第1章	はじめに	1
第2章	方法	3
第1節	調査地	3
第2節	記録手続き	5
第3節	採録方針	6
第3章	結果	10
第1節	記録された種	10
第2節	初めて記録された種, 記録されなくなった種	11
第3節	自然分布種, 外来種	13
第4節	絶滅危惧種	13
第5節	記録された調査地	13
第6節	藤前干潟	15
謝辞	48
資料1	名古屋市野鳥観察館	50
資料2	調査地案内	52
資料3	各調査地の結果	93

名古屋市における鳥類調査

名古屋市では、1979年から環境影響評価の手続きを円滑に進めるため、名古屋市内に生育・生息している動植物を調査し、2度にわたって取りまとめた（中部植生研究グループ 1980, 1993, 東海自然環境調査研究会 1980, 1993）。2000年度からは、名古屋市内に生育・生息している動植物を調査し、おおむね5年ごとに「名古屋市版レッドリスト」を公表している（名古屋市動植物実態調査検討会 2004a, 2004b, 2010, 名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課 2015a, 2015b, 名古屋市環境局環境企画部環境企画課 2020）。

鳥類に関しては、太田春雄（1941）や武内功（1948 [「名古屋の鳥」, 『野鳥』, 13(6), 小笠原 2008, p. 280 で引用], 1959, 1964）のように、当初は一部の篤志家による記録しかなかった。名古屋市では、1975年から名古屋市野鳥生息状況調査（第1次調査のみ名古屋市野鳥生息調査）を開始した（表 1.1; 当初の経緯に関して、森井 2012）。この調査はこれまで9回にわたって実施された（名古屋市農政局農産課 1976, 名古屋市農政緑地局管理部農産課 1996, 名古屋市農政緑地局農産課 1981, 1986, 1991, 名古屋市緑政土木局都市農業課 2016, 名古屋市緑政土木局農業技術課 2001, 2006, 2010）。これらの調査に協力した調査員は、名古屋鳥類調査会, 日本野鳥の会愛知県支部, 尾張野鳥の会の会員や関係者であり、ふだんから野鳥観察に馴れ親しんでいる。

本報告書のために行った調査は、名古屋市野鳥生息状況調査に連なるものであり、10回目に数えられる（表 1.1）。

表1.1. 名古屋市野鳥生息状況調査の履歴。

調査次	略称	期間	準拠 ^a	依頼先 ^b	報告書 ^c
1	1975年度 第1次調査	1975年（昭和50年）5月～ 同年12月	5	愛知県鳥獣保 護員協議会	『名古屋の野鳥』（名古屋市農政局農産 課 1976） ^d
2	1979年度 第2次調査	1979年（昭和54年）4月～ 1980年（昭和55年）3月	5	名古屋鳥類調 査会	『名古屋の野鳥』（名古屋市農政緑地局 農産課 1981）
3	1984年度 第3次調査	1984年（昭和59年）4月～ 1985年（昭和60年）3月	5	名古屋鳥類調 査会	『名古屋の野鳥 [名古屋の野鳥 '86]』 （名古屋市農政緑地局農産課 1986）
4	1989年度 第4次調査	1989年（平成元年）4月～ 1990年（平成2年）3月	5	名古屋鳥類調 査会	『名古屋市野鳥生息状況調査報告書 名 古屋の野鳥 [名古屋の野鳥 名古屋市野 鳥生息状況調査報告 1989・4-1990・ 3]』（名古屋市農政緑地局農産課 1991）
5	1994年度 第5次調査	1994年（平成6年）4月～ 1995年（平成7年）3月	5	名古屋鳥類調 査会	『名古屋市野鳥生息状況調査報告 名古 屋の野鳥 [名古屋の野鳥 名古屋市野鳥 生息状況調査報告 1994.4←→1995.3]』 （名古屋市農政緑地局管理部農産課 1996）
6	1999年度 第6次調査	1999年（平成11年）4月～ 2000年（平成12年）3月	6	名古屋鳥類調 査会	『名古屋の野鳥 名古屋市野鳥生息状況 調査報告：探鳥地ガイド [探鳥地ガイド 名古屋の野鳥 1999.4→2000.3 名古屋市 野鳥生息状況調査報告]』（名古屋市長 政土木局農業技術課 2001）
7	2004年度 第7次調査	2004年（平成16年）4月～ 2005年（平成17年）3月	6	名古屋鳥類調 査会	『名古屋の野鳥 名古屋市野鳥生息状況 調査報告：探鳥地ガイド [名古屋の野鳥 名古屋市野鳥生息状況調査報告 2004/4 ～2005/3 探鳥地ガイド]』（名古屋市長 政土木局農業技術課 2006）
8	2008年度 第8次調査	2008年（平成20年）4月～ 2009年（平成21年）3月	6	名古屋鳥類調 査会	『名古屋の野鳥 名古屋市野鳥生息状況 調査報告：探鳥地ガイド [名古屋市野鳥 生息状況調査報告 2008/4～2009/3 探鳥 地ガイド 名古屋の野鳥]』（名古屋市長 政土木局農業技術課 2010）
9	2014年度 第9次調査	2014年（平成26年）4月～ 2015年（平成27年）3月	7	名古屋鳥類調 査会	『名古屋市野鳥生息状況調査報告 名古 屋の野鳥2014 平成26年4月—平成27年3 月調査（2014.4—2015.3）』（名古屋市長 政土木局都市農業課 2016）
10	2019-2020年度 第10次調査	2019年（令和元年）11月～ 2020年（令和2年）10月	7	名古屋鳥類調 査会	『名古屋の野鳥 2020: 2019-2020年度第 10次名古屋市野鳥生息状況調査報告』 （本書）

注

a 準拠には、種の記録に際して適用した分類準拠を示し、5は『日本産鳥類目録 改訂第5版』（日本鳥学会 1974）を、6は『日本産鳥類目録 改訂第6版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2000）を、7は『日本産鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）を意味する。

b 依頼先には名古屋市から直接に依頼（委託）された団体を記載した。実際の調査にあたっては、他の団体からの協力があった。

c 報告書の名称において、[]の外は奥付による表記、[]の内は表紙又は裏表紙による表記である。

d 第1次調査のみ「名古屋市野鳥生息調査」であり、「状況」の語句を欠く。

第2章 方法

第1節 調査地

名古屋市の地勢

名古屋市の市域は濃尾平野の東部に位置する（海津 2008）。その地形は東部の丘陵地，中央部の台地，西部の沖積平野に分けられる。東部は，30–110m ほどの緩やかな丘陵地をなし，市域の東北端の東谷山（守山区大字上志段味字東谷）に最高点（198.4 m）が存する（名古屋市総務局企画部統計課解析活用係 2021）。西部は河川の堆積によって形成された沖積平野で，その南部の臨海部は江戸時代に干拓によって造成された地域である。地盤沈下が 1960 年代に激しく，海拔ゼロメートル地帯がある（愛知県環境局環境政策部水大気環境課 2020，合併 30 周年記念事業実行委員会 1985）。市域の最低点は港区新茶屋四丁目にあり， -1.73 m の場所に位置する（名古屋市総務局企画部統計課解析活用係 2021）。

名古屋市の気候

名古屋市は，伊勢湾に面するが，外洋から離れているため黒潮の影響を受けにくく，内陸性に近い気候を示し，他の太平洋岸の諸都市と比べて寒暖差が大きい（酒井・三谷 2005）。夏季は蒸し暑く，冬季は伊吹おろしと呼ばれる北西の季節風が吹いて冷え込む。近年はヒートアイランド強度が増していることが懸念されているが，都市内緑地（大和田ら 2007）や伊吹おろし（橋本・堀越 2005）は，それに対して緩和効果があることが示唆されている。

名古屋市の植生・緑地

東部丘陵地は，市街化が進行するなか，樹林地や農地，ため池などの里山の風景が残っている（名古屋市緑政土木局緑地部緑地事業課 2021）。古墳時代から鎌倉時代の初めにかけて窯業が盛んであり（名古屋市住宅都市局都市計画部歴

史まちづくり推進室 2014), 薪炭材採取のため二次林が広がっていた(萩原 2008)。宅地などの開発が進み, その範囲は小さくなってきている。しかし, この地域には, 東山公園や猪高緑地, 相生山緑地といったように, 緑地・公園としてまとまった緑が残っている(名古屋市緑政土木局緑地部緑地事業課 2021)。農業用ため池が一部緑地の中に残っており(新美 2020, 萩原 2008), 水生植物の生育や水禽の生息に好適である。

コナラ (*Quercus serrata*) やアベマキ (*Q. variabilis*) を主とする二次林(雑木林)は(成田 2008), 薪炭材利用がなくなって手入れが行き届かず, 過密になったり竹林が拡大したりして荒廃が進んでいたが, 近年は里山として見直され, 市民団体などによって手入れをしながら活用していく機運が高まっている(名古屋市緑政土木局緑地部緑地計画課 2012)。

市の中央部には自然の植生は乏しいが, 社寺林(社叢)などとして在来の植生に近いものが残存している(成田 2008, 長谷川 2021)。中でも熱田神宮の森はまとまった緑を残す(橋本ら 2021, 水野・成田 2008)。歴史のある鶴舞公園や名古屋城一帯などでは大木も多く, 変化に富んだ水辺もある豊かな環境である(名古屋市緑政土木局緑地部緑地利活用課 2021, 名古屋市緑政土木局緑地部緑地利活用室 2015)。小規模な公園や街路樹(名古屋市緑政土木局緑地部緑地管理課 2021)も緑のネットワークを成している。

西部の庄内川下流域にはまとまった水田があり, イネ (*Oryza sativa*) の作付が盛んである(港区制 80 周年記念事業実行委員会 2017)。河川敷にはヨシ (*Phragmites australis*) 原が広がる(国土交通省河川局 2005, 芹沢 2015)。河川沿いの戸田川緑地・庄内緑地(名古屋市緑政土木局緑地部緑地利活用室 2014a, b)なども, 植栽された木が成長して森を成し, 新しい環境を作っている。

藤前干潟

藤前干潟は, 都市部にありながら, 東アジアーオーストラリア渡りルート上の中継地となっていることから, 渡り鳥が多数渡来する(環境省中部地方環境事務所 2006)。2002 年には国設鳥獣保護区(現在の国指定鳥獣保護区)として設定され(平成 14 年 10 月 3 日環境省告示第 66 号), また, その河口干潟部分が特別保護地区として指定された(平成 14 年 10 月 3 日環境省告示第 68 号)。

同年には、特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約（ラムサール条約）に基づく国際的に重要な湿地として登録された（Ramsar Convention Secretariat 2002）。

名古屋市港区の稲永公園には、藤前干潟を臨む場所に野鳥観察館がある（資料 1）。

調査地となった地点

名古屋市内で鳥類相を網羅的に調査するため、調査地は、河川沿い、緑地、公園等を中心に、できるかぎり多様な地点を選択した。今回の調査で選択した調査地は、前回の 2014 年第 9 次調査と同一で、51 箇所とした（表 2.1, 図 2.1）。ただし、前回は久屋大通公園で調査を行ったが、調査期間が公園の工事期間と重なったため（名古屋市住宅都市局リニア関連都市開発部都心まちづくり課 2018, 2020）、久屋大通公園に代えて白川公園とした。それぞれの調査地の詳細について、資料 2 に示した。

第 2 節 記録手続き

名古屋市は、野鳥保護施策の一環として、市内の野鳥生息状況を把握するため、調査を名古屋鳥類調査会に委託して実施した。調査員としては、名古屋鳥類調査会（受託者）、日本野鳥の会愛知県支部及び尾張野鳥の会の会員やその関係者から協力を得た。調査員は、前回までの調査で調査地を熟知した者をできるかぎり割り当てようとした。各調査地には、1-3 名の調査員を割り当てたが、各日の調査は原則として 1 名で行った。

調査期間は、2019 年（令和元年）11 月から 2020 年（令和 2 年）10 月までの 1 年間とした。調査回数は、各月 1 回以上、渡りや繁殖の時期に相当する 4, 5, 9, 10 月は各月 2 回以上とした。

調査 1 回ごとに、鳥類各種を観察した羽数を記録した。羽数は、観察された数を記録したものであり、周辺の生息数を反映しているものの、それと同じではない。偶発的な集合による一時的な増大（外れ値）もそのまま記録した。個体又は群れが調査地の間を移動することにより、複数の調査地で重複して記録されている場合も排除されなかった。1 箇月に複数回調査した場合は、種ごとに

最も多かった羽数を記録として採用した。この記録の採用を種ごとに行ったため、同一調査地の同一月の記録であっても、ある種の値と別の種の値の記録日が同一とは限らない。

観察は、調査地内を踏査してスポットセンサス法又はラインセンサス法（植田 2016）により行った。調査方法としてスポットセンサス法とラインセンサス法とのいずれを採用するかは、調査地に適したものを調査員の判断により調査期間に亘って一貫して採用した。鳥類の認知は、外形の視認だけでなく、鳴き声の聴取によっても行うものとした。踏査ルートは、調査地をできるだけ限なく覆うようなものを各調査員が選択した。調査時間は、2-3 時間程度だったが、調査地の大きさや状況によりその限りでないものとした。調査方法や時間が調査地の間で相違しているが、この統一は今後の課題である。

第 3 節 採録方針

名称、分類、配列は、原則として『日本鳥類目録 改訂第 7 版』（日本鳥学会 日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）によった（表 1.1）。それにより適切な ID（表 3.2）を附与できない場合は、関係する前後の種の ID に基づき小数表記による枝番を採番した。

自然分布種だけでなく、定着した外来種も記録した。飼育品種に由来する鳥類は、野生種が自然分布種であっても外来種に含めた。ここでは、在来種／外来種という区分に宛てられた名称は、日本鳥学会（2015）にしたがって自然分布種／外来種と表記した。

その他個別のことがらは、表 2.2 のとおりとした。種の計上に際しては、亜種でありながら種と並んで掲載されているもの、属名を同定できて種小名を同定できないもの及び科名を同定できて種名を同定できないものは、特別に記載のある箇所を除き、種として数えなかった。

表2.1. 調査地一覧。

番号 ^a	名称	河川・区	番号 ^a	名称	河川・区
1	庄内川河口	庄内川	27	鶴舞公園	昭和区
2	新川河口・藤前地区	庄内川	28	興正寺	昭和区
3	日光川河口	庄内川	29	瑞穂公園	瑞穂区
4	庄内川 明德橋～名四国道	庄内川	30	熱田神宮	熱田区
5	庄内川 新前田橋～明德橋	庄内川	31	高座結御子神社・ 高蔵公園	熱田区
6	横井山緑地	庄内川	32	戸田川	港区
7	庄内川 枇杷島大橋～万場橋	庄内川	33	南陽町	港区
8	庄内緑地	庄内川	34	見晴台・笠寺公園	南区
9	庄内川 水分橋～庄内橋	庄内川	35	東谷山	守山区
10	庄内川 松川橋～水分橋	庄内川	36	大村池・大久手池	守山区
11	庄内川竜泉寺 吉根橋～東名阪	庄内川	37	小幡緑地	守山区
12	庄内川 東谷橋～吉根橋	庄内川	38	戸笠池・ほら貝池	緑区・ 天白区
13	矢田川橋緑地	庄内川	39	勅使ヶ池	緑区
14	堀川 白鳥付近	堀川	40	水広公園	緑区
15	堀川上中流	堀川	41	成海神社・新海池	緑区
16	黒川	堀川	42	大高緑地	緑区
17	大江川河口	大江川	43	鷺津山	緑区
18	大江川緑地	大江川	44	氷上姉子神社	緑区
19	天白川河口	天白川	45	明德緑地	名東区
20	天白川緑地	天白川	46	猪高緑地	名東区
21	東山公園 植物園	千種区	47	牧野ヶ池緑地	名東区
22	平和公園一帯	千種区	48	農業センター・ 針名神社	天白区
23	城山八幡	千種区	49	相生山緑地	天白区
24	名古屋城一帯	北区	50	八事裏山	天白区
25	中村公園	中村区	51	大根池	天白区
26	白川公園 ^b	中区			

注

a 河川ごとに河口から上流に向かって、それ以外は区ごとに整序した。

b 前は久屋大通公園で調査を行ったが、調査期間が公園の工事期間と重なったため（名古屋市住宅都市局リニア関連都市開発部都心まちづくり課 2018, 2020）、久屋大通公園に代えて白川公園とした。

調査地位置図

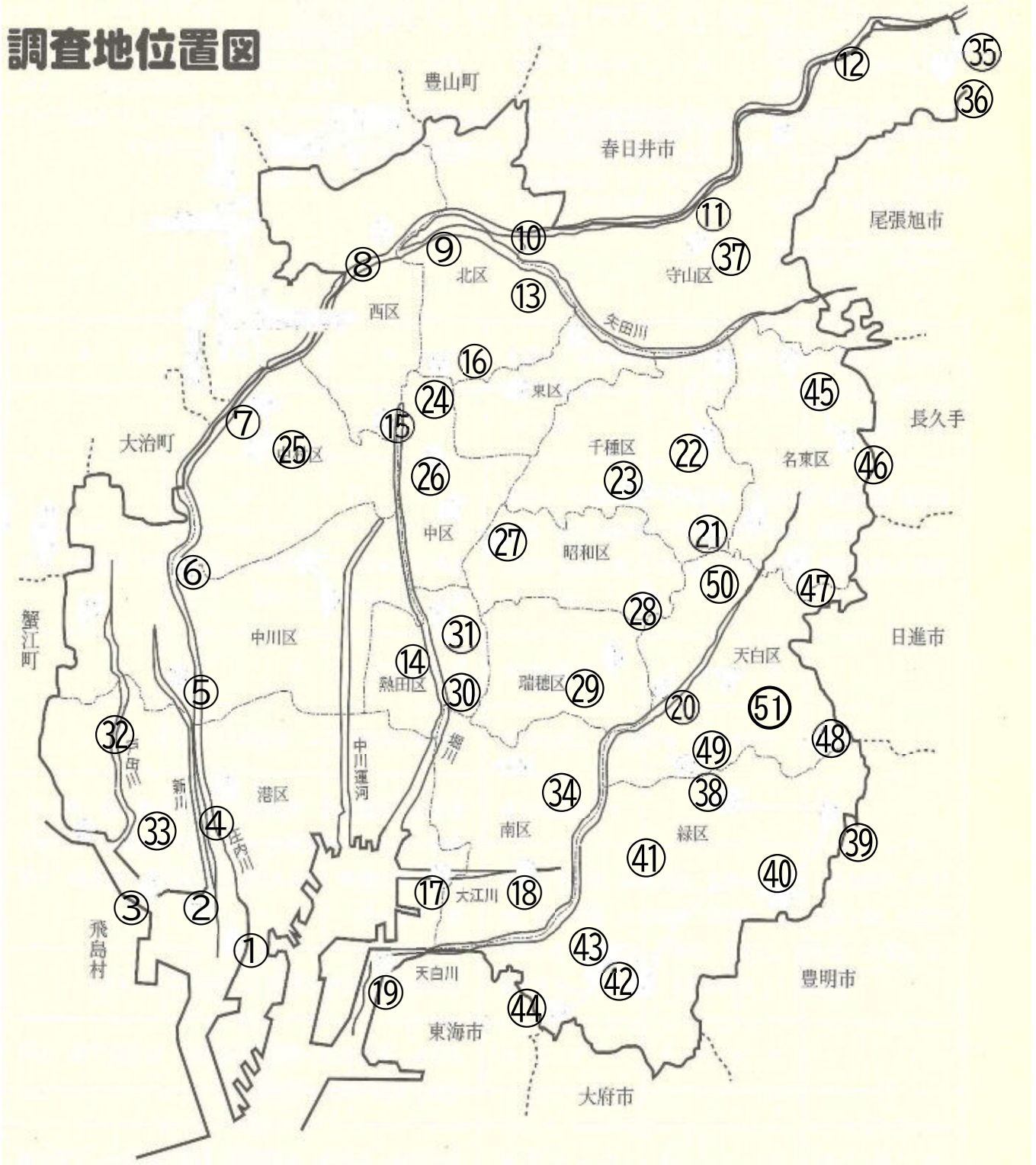


図 2.1. 調査地位置図。

表2.2. 採録方針のうち個別の分類群に関するもの^a。

種	学名	ID	取扱
ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	4	^b
キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	5	^b
マガモ×カルガモ	<i>Anas platyrhynchos</i> × <i>A. zonorhyncha</i>	32.2	マガモとカルガモとの交雑種は、左のように表記して、カルガモの直後に配した。
アメリカコガモ	<i>Anas crecca carolinensis</i>	38.2	^c
コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	119	^b
セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	210	^b
カラス属の種	<i>Corvus</i> sp.	437.2	^d
ムシクイ属の種	<i>Phylloscopus</i> sp.	481.2	^d
メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	485	^b
ハチジョウツグミ	<i>Turdus naumanni naumanni</i>	525.2	^c
ツグミ属の種	<i>Turdus</i> sp.	525.3	^d
ニシオジロビタキ	<i>Ficedula parva</i>	560.2	『日本鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）には掲載されていないが, Gillら (2022) に準じてオジロビタキの直後に配した。
ヒタキ科の種	Muscicapidae sp.	563.3	^e
ベニバラウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula cassinii</i>	599.2	^b
アカウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula rosacea</i>	599.3	^b
アトリ科の種	Fringillidae sp.	602.3	^e
コブハクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	外7	^f
マガモ (アヒル)	<i>Anas platyrhynchos</i>	外7.3	マガモを家禽化したアヒルは、左のように表記して外来種のハクチョウ属の直後に配した。
マガモ (アイガモ)	<i>Anas platyrhynchos</i>	外7.4	マガモを家禽化したアヒルと原種マガモとの交雑種であるアイガモは、左のように表記して外来種のハクチョウ属の直後に配した。

注

a ここには、採録方針のうち個別の分類群に関するものを掲げた。全般的な事項については、本文を見よ。

b 『日本鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）では自然分布種と外来種との両方に掲載されているが、ここでは自然分布種として扱った。

c 『日本鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）での分類階級は亜種であるが、亜種としてそのまま収録して、種の直後に配した。

d 属名を同定でき、種小名を同定できない場合は、左のように表記して、当該属の種のうち末尾のもの直後に配した。

e 科名を同定でき、種名を同定できない場合は、左のように表記して、当該科の種のうち末尾のもの直後に配した。

f 『日本鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）では自然分布種と外来種との両方に掲載されているが、ここでは外来種として扱った。

第3章 結果

第1節 記録された種

この2019–2020年度第10次調査では、全部で17目48科201種が記録された(表3.1)。このうち自然分布種が17目47科197種、外来種が4目4科5種で、*Anas platyrhynchos* は、自然分布種マガモとしても、外来種アヒル及びアイガモとしても記録された。表3.2には、これまでの調査で記録された19目57科254種を一覧にして示す。このうち自然分布種が19目56科250種、外来種が4目4科5種で、重複は*A. platyrhynchos* だった。

前回の2014年度第9次調査から、それまでとは異なり、分類の準拠が『日本鳥類目録 改訂第6版』(日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会2000)から『日本鳥類目録 改訂第7版』(日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会2012, 日本鳥学会2015)に変わった(表1.1; 池長ら2014)。この変更はあったが、以下に述べる理由を考慮すれば、種数が変動することはないものとする(種を超える分類群はこの限りでない)。第7版で新たにミズカキチドリ (*Charadrius semipalmatus*), ニシイワツバメ (*Delichon urbicum sensu stricto*) が掲載されたが、この種は今回の2019–2020年度第10次調査に至るまで一度も記録されなかった。一方、ハジロコチドリ (*C. hiaticula*), イワツバメ (*D. dasypus*) が継続的に記録されているものの、目下のところ過去のこの記録のいずれもミズカキチドリ, ニシイワツバメとして再同定する理由がないため、第7版での新規掲載が遡及的に過去の調査の種数に影響することはない。第6版まではイワツバメの種名が (*D. urbicum sensu lato*) だったが、実質的に *D. u. dasypus* を指しており、第7版ではそれが種に昇格した。第7版で新たにヤドリギツグミ (*Turdus viscivorus*), ミヤマヒタキ (*Muscicapa ferruginea*) が掲載されたが、名古屋市野鳥生息状況調査では、それぞれ1984年度第3次調査, 2008年度第8次調査でのみ記録された(ヤドリギツグミに関して, Brazil 2003, ミヤマヒタキに関して, 池長ら2012)。その際に既に特例的に独自の1種として記録したことから、今回の新規の掲載が遡及的に過去の調査の種数に影響することはない。オジロビタ

キ (*F. albicilla*), ニシオジロビタキ (*Ficedula parva sensu stricto*) については、「初めて記録された種, 記録されなくなった種」の節を見よ。

全国の自然分布種は、『日本鳥類目録 改訂第7版』(日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015) によれば, 24目 81科 633種に上る。名古屋市において, 今回の調査で記録された197種, 全調査を通して記録された250種は, 全国の種数の約31%, 約39%にあたる。

愛知県に関しては、『グリーンデータブックあいち 2018』(愛知県環境部自然環境課 2018) によれば, 全県で24目 74科 418種の自然分布種が確認されている。名古屋市の調査でこれまで記録された250種は全てここに含まれており, 今回の調査で記録された197種, 全調査を通して記録された250種は, 全県の種数の約47%, 約60%にあたる。

名古屋市に関しては、「名古屋市産鳥類目録」(名古屋市環境局環境企画部環境企画課 2015c) によれば, 全市で20目 59科 270種の自然分布種が確認されている。この目録は, 「名古屋市版レッドリスト」(名古屋市環境局環境企画部環境活動推進課 2015b) に関連して作成されたもので, 今回を含む一連の名古屋市野鳥生息状況調査とは独立して作成されている。これまで名古屋市野鳥生息状況調査で記録された250種のうち, 6種がこの目録には含まれていない。そのうちの3種, オオムシクイ (*Phylloscopus examinandus*), カラアカハラ (*Turdus hortulorum*), オジロビタキ (*Ficedula albicilla*) は, 前回の2014年度第9次調査で初めて記録され, 残りの3種, クロガモ (*Melanitta americana*), ミヤコドリ (*Haematopus ostralegus*), ニシオジロビタキ (*Ficedula parva*) は, 今回の2019–2020年度第10次調査で初めて記録された(「初めて記録された種, 記録されなくなった種」の節を見よ)。「名古屋市産鳥類目録」に掲載されているものに限ると, 今回の調査で記録された192種, 全調査を通して記録された244種は, 「名古屋市産鳥類目録」に掲載された種数の約71%, 約90%にあたる。

第2節 初めて記録された種, 記録されなくなった種

今回の調査で初めて記録された自然分布種は3種あった。クロガモ (*Melanitta americana*) が天白川河口で記録された。ミヤコドリ (*Haematopus ostralegus*) が庄内川河口で記録された。ニシオジロビタキ (*Ficedula parva sensu stricto*) が庄

内川河口，小幡緑地，相生山緑地で記録された。

ニシオジロビタキは，分類上の注意を要する。『日本鳥類目録 改訂第 6 版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2000）では，オジロビタキ（*F. parva sensu lato*）が採用され，『日本鳥類目録 改訂第 7 版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012，日本鳥学会 2015）では，オジロビタキ（*F. albicilla*）が採用されている。これは，前者が実質的に亜種 *F. p. albicilla* を指しており，それが種に昇格したものである（池長ら 2012, 2014）。*F. parva sensu stricto* (= *F. p. parva*) は，第 6 版，第 7 版で新規掲載が検討されたものの見送られたが（池長ら 2012, 2014），新規掲載が第 8 版改訂に際して検討されているところである（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2021）。

過去の調査を含めた一連の調査にはさまざまな調査員が関与しているため，ここではこれまでの調査におけるオジロビタキ（*F. albicilla*）の全記録を補足するに留める。一連の調査で初めてオジロビタキが確認されたのは，2014 年度第 9 次調査の庄内川河口だった。なお，この調査の時点で，分類は *F. albicilla* を採用した第 7 版に準拠したものとなっていた（表 1.1）。今回の 2019–2020 年度第 10 次調査では，オジロビタキは名古屋城一帯で記録された。庄内川河口では，2014 年度第 9 次調査ではオジロビタキが，今回の 2019–2020 年度第 10 次調査ではニシオジロビタキが観察されているが，2 回の調査で調査員は同一であり，改めて調査員に確認したところ，2 回の調査で記録された種は，記録のとおり別種であるとの認識だった（沢辺幹和，私信，2022 年 3 月 20 日）。

これまでの調査では何度も記録されていたにもかかわらず，この 2019–2020 年度第 10 次調査では記録されなかった種もあった。今回を除く 9 回の調査の全てで記録されたのにもかかわらず，今回記録されなかったのは，ヨシゴイ（*Ixobrychus sinensis*），ミヤマホオジロ（*Emberiza elegans*）だった。今回を除く 9 回の調査のうち 8 回で記録されて今回見られなかったのは，タカブシギ（*Tringa glareola*）だった。同様に，7 回で記録されて今回見られなかったのは，カヤクグリ（*Prunella rubida*），6 回で記録されて今回見られなかったのはヤマセミ（*Megaceryle lugubris*）とコイカル（*Eophona migratoria*），5 回で記録されて今回見られなかったのはオオコノハズク（*Otus lempiji*）だった。（4 回以下については数が多いため，ここでの記載を省く。）

第3節 自然分布種，外来種

この2019–2020年度第10次調査で記録された17目48科201種のうち，自然分布種が17目47科197種，外来種が4目4科5種で，重複は *Anas platyrhynchos* だった（表3.1）。自然分布種，外来種の全体に対する割合は，それぞれ100.00%（目），97.92（科），98.01%（種）；25.53%（目），8.33%（科），2.49%（種）だった。

今回の調査で記録された外来種は，コジュケイ (*Bambusicola thoracicus*)，コブハクチョウ (*Cygnus olor*)，ソウシチョウ (*Leiothrix lutea*)，カワラバト（ドバト，*Columba livia*）だった。このうちコブハクチョウは，名古屋市観光文化交流局名古屋城総合事務所（2015年度までは市民経済局）が管理しているものだった。

家畜品種に由来する鳥類（外来種とするもの）として，マガモ (*Anas platyrhynchos*) の家畜品種であるアヒルとアイガモ（マガモとアヒルとの交雑種）とが記録された。

第4節 絶滅危惧種

記録された種の保全状態について，国，愛知県，名古屋市それぞれによる評価を附した（表3.2）。国は「環境省レッドリスト2020」（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室2020），愛知県は「レッドリストあいち2020」（愛知県環境調査センター2020），名古屋市に関しては名古屋市の「名古屋市版レッドリスト2020」（名古屋市環境局環境企画部環境企画課2020）による。

第5節 記録された調査地

表3.3に，種別検索表として，どの調査地でどの種がどれほど記録されたのかを示した。それぞれの調査地における特色は，資料2に示した。調査地ごとの詳細な記録は，資料3に示した。ただし，猛禽類の繁殖状況については，保全上の観点から掲載していない。

51箇所全ての調査地で記録されたのは，自然分布種では，キジバト (*Streptopelia orientalis*)，ハシボソガラス (*Corvus corone*)，ツバメ (*Hirundo*

rustica), ヒヨドリ (*Hypsipetes amaurotis*), ムクドリ (*Spodiopsar cineraceus*), ツグミ (*Turdus naumanni*), スズメ (*Passer montanus*), ハクセキレイ (*Motacilla alba*) であり, 外来種では, カワラバト (ドバト, *Columba livia*) だった。また, 50 箇所調査地で記録されたのは, 自然分布種では, ハシブトガラス (*Corvus macrorhynchos*), カワラヒワ (*Chloris sinica*) で, 外来種にはなかった。

逆に 1 箇所では記録されなかった種は, 自然分布種 31 種, 外来種 4 種だった。自然分布種では, ヤマドリ (*Syrnaticus soemmerringii*, 東谷山), アメリカヒドリ (*Anas americana*, 庄内川河口), クロガモ (*Melanitta americana*, 天白川河口), ミミカイツブリ (*Podiceps auritus*, 新川河口・藤前地区), ジュウイチ (*Hierococcyx hyperythrus*, 名古屋城一帯), カッコウ (*Cuculus canorus*, 横井山緑地), アマツバメ (*Apus pacificus*, 庄内川河口), タゲリ (*Vanellus vanellus*, 庄内川 新前田橋~明德橋), オオメダイチドリ (*Charadrius leschenaultii*, 庄内川河口), ミヤコドリ (*Haematopus ostralegus*, 庄内川河口), オオジシギ (*Gallinago hardwickii*, 庄内川 新前田橋~明德橋), クサシギ (*Tringa ochropus*, 庄内川 東谷橋~吉根橋), オジロトウネン (*Calidris temminckii*, 南陽町), サルハマシギ (*C. ferruginea*, 庄内川河口), キリアイ (*Limicola falcinellus*, 庄内川河口), シロカモメ (*Larus hyperboreus*, 日光川河口), ハシブトアジサシ (*Gelochelidon nilotica*, 庄内川河口), ハチクマ (*Pernis ptilorhynchus*, 東谷山), フクロウ (*Strix uralensis*, 東谷山), アオバズク (*Ninox scutulata*, 東山公園 植物園), コミミズク (*Asio flammeus*, 大高緑地), ブッポウソウ (*Eurystomus orientalis*, 鶴舞公園), コチョウゲンボウ (*Falco columbarius*, 南陽町), チゴハヤブサ (*F. subbuteo*, 名古屋城一帯), キクイタダキ (*Regulus regulus*, 相生山緑地), ツリスガラ (*Remiz pendulinus*, 庄内川 明德橋~名四国道), コガラ (*Poecile montanus*, 大村池・大久手池), キレンジャク (*Bombycilla garrulus*, 庄内川 東谷橋~吉根橋), マミジロ (*Zoothera sibirica*, 庄内川河口), オジロビタキ (*Ficedula albicilla*, 名古屋城一帯), マヒワ (*Carduelis spinus*, 東山公園 植物園) だった。外来種では, コブハクチョウ (*Cygnus olor*, 名古屋城一帯), マガモ (アヒル, *Anas platyrhynchos*, 名古屋城一帯), マガモ (アイガモ, *A. platyrhynchos*, 庄内緑地), ソウシチョウ (*Leiothrix lutea*, 東谷山) だった。

第6節 藤前干潟

今回の調査の期間にも、藤前干潟には、シギ・チドリ類、ガンカモ類、サギ類等の渡り鳥が多数飛来した。表 3.4 に、カモ目、チドリ目の記録について、藤前干潟周辺に限って抜萃した。カモ目は 18 種が、チドリ目は 45 種が記録された。

表3.1. 今回及び過去の調査で記録された種の数。

調査次	調査期間	調査地の数	記録された数 ^a			注	
			区分	目	科		種
1	1975年5月～ 同年12月	17		16	38	126	
2	1979年4月～ 1980年3月	25		18	45	167	c
3	1984年4月～ 1985年3月	32		17	43	171	
4	1989年4月～ 1990年3月	47		17	45	183	c,d
5	1994年4月～ 1995年3月	50		18	46	189	d,e
6	1999年4月～ 2000年3月	48		16	48	189	c
7	2004年4月～ 2005年3月	51		16	44	188	c
8	2008年4月～ 2009年3月	51	全体	16	49	202	
			自然分布種	16	49	200	c,d
			外来種	2	2	2	
9	2014年4月～ 2015年3月	51	全体	17	46	207	
			自然分布種	17	45	203	d
			外来種	4	4	4	
10	2019年11月～ 2020年10月	51	全体	17	48	201	
			自然分布種	17	47	197	c,d,f
			外来種	4	4	5	g
累計			全体	19	57	254	
			自然分布種	19	56	250	c,d,e,f
			外来種	4	4	5	g

注

a 分類は『日本鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）による（詳細は採録方針の節を見よ）。ただし，2008年第8次調査までは，表1.1のとおり，『日本鳥類目録 改訂第5版』（日本鳥学会 1974）又は『日本鳥類目録 改訂第6版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2000）によっている。準拠する「日本鳥類目録」の版が第6版から第7版に変わることによって種数が変動することはないものとする（本文を見よ）。

b 1975年度第1次調査から2014年度第9次調査までのデータは，『名古屋の野鳥 2014』（名古屋市緑政土木局都市農業課 2016）に基づき算出した。

c ハチジョウツグミ (*Turdus naumanni naumanni*) は種数から除外した。

d アメリカコガモ (*Anas crecca carolinensis*) は種数から除外した。

e ベニバラウソ (*Pyrhula pyrrhula cassinii*) ，アカウソ (*Pyrhula pyrrhula rosacea*) は種数から除外した。

f マガモ×カルガモ (*Anas platyrhynchos* × *A. zonorhyncha*) ，カラス属の種 (*Corvus* sp.) ，ムシクイ属の種 (*Phylloscopus* sp.) ，ヒタキ科の種 (*Muscicapidae* sp.) ，ツグミ属の種 (*Turdus* sp.) ，アトリ科の種 (*Fringillidae* sp.) は種数から除外した。

g 在来種マガモ (*Anas platyrhynchos*) の家畜品種アヒル及びアイガモを外来種に計上しているため，在来種と外来種との合計が全体に合致しない。

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録。

分類 ^a		調査年次 (西暦, 和暦) ^{b,c}										保全状態					
目	科	種 (和名)	種 (学名)	ID	1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市
キジ	キジ	ヤマドリ	<i>Syrnaticus soemmerringii</i>	4		○	○			○	○	○	○				
キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	ヒシクイ	<i>Anser fabalis</i>	8				○									
カモ	カモ	マガン	<i>Anser albifrons</i>	10			○					○	○	○			
カモ	カモ	コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>	19								○					
カモ	カモ	ツクシガモ	<i>Tadorna tadorna</i>	21					○		○		○				VU
カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>	24			○	○	○	○	○	○	○	○			DD 繁殖NT
カモ	カモ	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	26			○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>	27		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>	29		○				○	○	○	○	○			
カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>	32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	マガモ×カルガモ	<i>Anas platyrhynchos × A. zonorhyncha</i>	32.2													●
カモ	カモ	ハシビロガモ	<i>Anas clypeata</i>	34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	オナガガモ	<i>Anas acuta</i>	35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	シマアヅ	<i>Anas querquedula</i>	36				○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	37		○	○	○	○	○	○	○	○	○			VU 越冬VU VU
カモ	カモ	コガモ	<i>Anas crecca</i>	38	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	アメリカコガモ	<i>Anas crecca carolinensis</i>	38.2				●	●			●	●	●			
カモ	カモ	ホシハジロ	<i>Aythya ferina</i>	42	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	アカハジロ	<i>Aythya baeri</i>	43								○					DD
カモ	カモ	キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>	46	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	スズガモ	<i>Aythya marila</i>	47	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	クロガモ	<i>Melanitta americana</i>	54										○			越冬NT
カモ	カモ	コオリガモ	<i>Clangula hyemalis</i>	55		○											
カモ	カモ	ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>	57			○	○	○	○	○		○	○			
カモ	カモ	ミコアイサ	<i>Mergellus albellus</i>	58	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カモ	カモ	カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	59					○			○	○	○			越冬NT
カモ	カモ	ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>	60									○	○			
カイツ ブリ	カイツ ブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	62	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カイツ ブリ	カイツ ブリ	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	64			○	○	○	○	○	○	○	○			
カイツ ブリ	カイツ ブリ	ミミカイツブリ	<i>Podiceps auritus</i>	65				○						○			越冬NT
カイツ ブリ	カイツ ブリ	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>	66				○	○	○	○	○	○	○			
ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>	74	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
ハト	ハト	アオバト	<i>Treron sieboldii</i>	78	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

分類 ^a		種 (和名)	種 (学名)	ID	調査年次 (西暦, 和暦) ^{b,c}										保全状態			
					1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市	
ミズナギドリ	ミズナギドリ	オオミズナギドリ	<i>Calonectris leucomelas</i>	98						○								
ミズナギドリ	ミズナギドリ	オナガミズナギドリ	<i>Puffinus pacificus</i>	99						○								
コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	119		○											CR	
カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	127	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>	128				○										
ベリカン	サギ	ヨシゴイ	<i>Ixobrychus sinensis</i>	133	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖CR 通過CR	EN
ベリカン	サギ	オオヨシゴイ	<i>Ixobrychus eurhythmus</i>	134						○						CR		
ベリカン	サギ	ミゾゴイ	<i>Gorsachius goisagi</i>	137			○	○				○	○	○		VU	繁殖EN 通過VU	EN
ベリカン	サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	139	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ベリカン	サギ	ササゴイ	<i>Butorides striata</i>	141	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ベリカン	サギ	アカガシラサギ	<i>Ardeola bacchus</i>	142									○	○				
ベリカン	サギ	アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	143	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ベリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	144	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ベリカン	サギ	ムラサキサギ	<i>Ardea purpurea</i>	145					○									
ベリカン	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>	146	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ベリカン	サギ	チュウサギ	<i>Egretta intermedia</i>	147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				NT
ベリカン	サギ	コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	148	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
ベリカン	サギ	カラシラサギ	<i>Egretta eulophotes</i>	150					○			○	○	○		NT	通過NT	
ベリカン	トキ	クロトキ	<i>Threskiornis melanocephalus</i>	151		○										DD		
ベリカン	トキ	クロツラヘラサギ	<i>Platalea minor</i>	154									○	○		EN	越冬VU	CR
ツル	クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	166	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			越冬NT	NT
ツル	クイナ	シロハラクイナ	<i>Amaurornis phoenicurus</i>	167									○					
ツル	クイナ	ヒクイナ	<i>Porzana fusca</i>	170	○	○	○	○		○	○	○	○	○			繁殖NT 通過NT	VU
ツル	クイナ	バン	<i>Gallinula chloropus</i>	174	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖VU 越冬NT	
ツル	クイナ	オオバン	<i>Fulica atra</i>	175			○	○	○	○	○	○	○	○				
カッコウ	カッコウ	ジュウイチ	<i>Hierococyx hyperythrus</i>	184		○	○		○	○	○	○	○	○			繁殖VU 通過NT	
カッコウ	カッコウ	ホトトギス	<i>Cuculus poliocephalus</i>	185		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
カッコウ	カッコウ	ツツドリ	<i>Cuculus optatus</i>	187	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖VU 通過NT	
カッコウ	カッコウ	カッコウ	<i>Cuculus canorus</i>	188	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖VU 通過NT	NT
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ	<i>Caprimulgus indicus</i>	189	○	○	○	○	○					○	○		繁殖EN 通過VU	CR
アマツバメ	アマツバメ	ハリオアマツバメ	<i>Hirundapus caudacutus</i>	191		○		○	○									
アマツバメ	アマツバメ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	192	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
アマツバメ	アマツバメ	ヒメアマツバメ	<i>Apus nipalensis</i>	193					○	○	○							
チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	194		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	チドリ	ケリ	<i>Vanellus cinereus</i>	195	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		DD		
チドリ	チドリ	ムナグロ	<i>Phvialis fulva</i>	197	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

分類 ^a				調査年次（西暦，和暦） ^{b,c}										保全状態			
目	科	種（和名）	種（学名）	ID	1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市
チドリ	チドリ	ダイゼン	<i>Phuvalis squatarola</i>	199	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			越冬LP
チドリ	チドリ	ハジロコチドリ	<i>Charadrius hiaticula</i>	200			○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	チドリ	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	202	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖VU 越冬NT	NT
チドリ	チドリ	コチドリ	<i>Charadrius dubius</i>	203	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>	204	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖VU 越冬VU	NT
チドリ	チドリ	メダイチドリ	<i>Charadrius mongolus</i>	205	○	○	○	○	○	○	○	○	○				NT
チドリ	チドリ	オオメダイチドリ	<i>Charadrius leschenaultii</i>	206						○	○						
チドリ	ミヤコドリ	ミヤコドリ	<i>Haematopus ostralegus</i>	209										○			
チドリ	セイタカシギ	セイタカシギ	<i>Himantopus himantopus</i>	210					○	○	○	○	○			繁殖EN 越冬VU	NT
チドリ	シギ	ヤマシギ	<i>Scolopax rusticola</i>	212	○	○	○	○	○	○	○	○	○			越冬NT	NT
チドリ	シギ	オオジシギ	<i>Gallinago hardwickii</i>	216	○	○							○	○	NT	繁殖CR 通過VU	EN
チドリ	シギ	タシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	219	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	オオハシシギ	<i>Limnodromus scolopaceus</i>	221								○	○	○			越冬EN
チドリ	シギ	シベリアオオハシシギ	<i>Limnodromus semipalmatus</i>	222		○				○					DD	通過CR	DD
チドリ	シギ	オグロシギ	<i>Limosa limosa</i>	223			○	○	○	○	○	○	○			通過EN	VU
チドリ	シギ	オオソリハシシギ	<i>Limosa lapponica</i>	225	○	○	○	○	○	○	○	○	○			通過EN	NT
チドリ	シギ	チュウシャクシギ	<i>Numenius phaeopus</i>	227	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	ダイシャクシギ	<i>Numenius arquata</i>	230	○	○	○	○	○	○	○	○	○			越冬VU	NT
チドリ	シギ	ホウロクシギ	<i>Numenius madagascariensis</i>	231	○	○	○	○	○	○	○	○	○		VU	通過EN	VU
チドリ	シギ	ツルシギ	<i>Tringa erythropus</i>	232	○	○	○	○	○	○	○	○	○		VU	通過EN	EN
チドリ	シギ	アオアシシギ	<i>Tringa totanus</i>	233			○		○	○	○	○	○			通過VU	NT
チドリ	シギ	コアアシシギ	<i>Tringa stagnatilis</i>	234				○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	アオアシシギ	<i>Tringa nebularia</i>	235	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	239	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	タカブシギ	<i>Tringa glareola</i>	240	○	○	○	○	○		○	○	○		VU	通過EN	VU
チドリ	シギ	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	241	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	メリケンキアシシギ	<i>Heteroscelus incanus</i>	242									○	○		通過EN	
チドリ	シギ	ソリハシシギ	<i>Xenus cinereus</i>	243	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	244	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	キョウジョシギ	<i>Arenaria interpres</i>	246	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	オバシギ	<i>Calidris temirostris</i>	247	○	○	○	○	○	○	○	○	○			通過VU	NT
チドリ	シギ	コオバシギ	<i>Calidris canutus</i>	248		○		○	○	○	○	○	○			通過VU	NT
チドリ	シギ	ミユビシギ	<i>Calidris alba</i>	249		○			○			○	○			越冬NT	
チドリ	シギ	トウネン	<i>Calidris ruficollis</i>	251	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	シギ	オジロトウネン	<i>Calidris temminckii</i>	253				○			○	○	○			通過VU	
チドリ	シギ	ヒバリシギ	<i>Calidris subminuta</i>	254					○		○						

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

分類 ^a				調査年次（西暦, 和暦） ^{b,c}										保全状態				
目	科	種（和名）	種（学名）	ID	1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市	
チドリ	シギ	ウズラシギ	<i>Calidris acuminata</i>	258				○	○	○		○	○	○			通過EN	VU
チドリ	シギ	サルハマシギ	<i>Calidris ferruginea</i>	259		○					○	○	○	○				
チドリ	シギ	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>	261	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	NT	越冬VU	NT	
チドリ	シギ	キリアイ	<i>Limicola falcinellus</i>	264		○	○	○	○	○	○	○	○	○			通過EN	
チドリ	シギ	エリマキシギ	<i>Philomachus pugnax</i>	266		○	○	○	○	○	○	○	○	○			通過VU	NT
チドリ	シギ	アカエリヒレアシシギ	<i>Phalaropus lobatus</i>	268				○	○	○	○	○		○				
チドリ	タマシギ	タマシギ	<i>Rostratula benghalensis</i>	271						○	○	○					繁殖EN 越冬EN	EN
チドリ	カモメ	ミツユビカモメ	<i>Rissa tridactyla</i>	278			○											
チドリ	カモメ	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	286	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	ズグロカモメ	<i>Larus saundersi</i>	287			○	○	○	○	○	○	○	○	VU	越冬VU	VU	
チドリ	カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	293	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	カモメ	<i>Larus canus</i>	294		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	シロカモメ	<i>Larus hyperboreus</i>	296						○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	299		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>	301		○	○	○	○	○	○	○	○	○	NT			
チドリ	カモメ	ハシブトアジサシ	<i>Gelochelidon nilotica</i>	303						○			○	○				
チドリ	カモメ	オオアジサシ	<i>Sterna bergii</i>	305				○									通過VU	
チドリ	カモメ	コアジサシ	<i>Sterna albifrons</i>	307	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖EN 通過VU	VU
チドリ	カモメ	アジサシ	<i>Sterna hirundo</i>	314		○	○	○	○	○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	クロハラアジサシ	<i>Chlidonias hybrida</i>	316						○	○	○	○	○				
チドリ	カモメ	ハジロクロハラアジサシ	<i>Chlidonias leucopterus</i>	317			○					○	○					
チドリ	トウゾクカモメ	トウゾクカモメ	<i>Stercorarius pomarinus</i>	320						○								
チドリ	トウゾクカモメ	クロトウゾクカモメ	<i>Stercorarius parasiticus</i>	321								○						
タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>	339		○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖NT	NT
タカ	タカ	ハチクマ	<i>Pernis ptilorhynchus</i>	340	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖VU 通過NT	VU
タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>	342	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
タカ	タカ	チュウヒ	<i>Circus spilonotus</i>	349		○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖CR 越冬VU	VU
タカ	タカ	ハイイロチュウヒ	<i>Circus cyaneus</i>	350				○					○	○			越冬EN	
タカ	タカ	ツミ	<i>Accipiter gularis</i>	354		○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖NT	NT
タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>	355	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				NT
タカ	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	356	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖NT 越冬NT	NT
タカ	タカ	サシバ	<i>Butastur indicus</i>	357	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	VU		繁殖EN 通過NT	VU
タカ	タカ	ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	358	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
フクロウ	フクロウ	オオコノハズク	<i>Otus lempiji</i>	366		○	○		○	○			○				繁殖VU 越冬NT	NT
フクロウ	フクロウ	コノハズク	<i>Otus sunia</i>	367		○			○				○				繁殖CR 通過VU	EN
フクロウ	フクロウ	フクロウ	<i>Strix uralensis</i>	372			○	○		○	○	○	○	○			繁殖NT 越冬NT	EN

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

分類 ^a				調査年次（西暦，和暦） ^{b,c}										保全状態					
目	科	種（和名）	種（学名）	ID	1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市		
フクロウ	フクロウ	アオバズク	<i>Ninox scutulata</i>	374		○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖EN 通過VU	VU	
フクロウ	フクロウ	トラフズク	<i>Asio otus</i>	375				○	○			○	○						
フクロウ	フクロウ	コミミズク	<i>Asio flammeus</i>	376			○			○	○	○	○					越冬VU	
ブッポウソウ	カワセミ	アカシヨウビン	<i>Halcyon coromanda</i>	378									○					繁殖VU 通過NT	
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	383	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ	<i>Megaceryle lugubris</i>	385		○	○	○	○	○	○							繁殖CR 越冬EN	
ブッポウソウ	ブッポウソウ	ブッポウソウ	<i>Eurystomus orientalis</i>	387				○		○				○				繁殖EN 通過VU	
キツキ	キツキ	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	388	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
キツキ	キツキ	コゲラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	390			○	○	○	○	○	○	○	○					
キツキ	キツキ	オオアカゲラ	<i>Dendrocopos leucotos</i>	392				○	○									繁殖VU 越冬NT	
キツキ	キツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>	393	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
キツキ	キツキ	アオゲラ	<i>Picus avokera</i>	397	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>	401	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
ハヤブサ	ハヤブサ	コチョウゲンボウ	<i>Falco columbarius</i>	403						○	○	○	○	○					
ハヤブサ	ハヤブサ	チゴハヤブサ	<i>Falco subbuteo</i>	404	○			○				○		○					
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ	<i>Falco peregrinus</i>	407		○		○	○	○	○	○	○	○				繁殖VU 越冬NT	VU
スズメ	ヤイロ チョウ	ヤイロチョウ	<i>Pitta nympha</i>	409						○					EN			繁殖CR 通過VU	
スズメ	サンショウ ウクイ	サンショウウクイ	<i>Pericrocotus divaricatus</i>	412	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				NT	
スズメ	コウライ ウグイス	コウライウグイス	<i>Oriolus chinensis</i>	413		○	○				○	○							
スズメ	カササギ ヒタキ	サンコウチョウ	<i>Terpsiphone atrocaudata</i>	418		○			○	○	○	○	○	○					
スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	420	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	モズ	アカモズ	<i>Lanius cristatus</i>	421		○		○											
スズメ	カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>	427	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	カラス	カラス属の種	<i>Corvus sp.</i>	437.2														●	
スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>	435	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>	436	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	キクイタ ダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>	438	○		○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	ツリスガ ラ	ツリスガラ	<i>Remiz pendulinus</i>	439				○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	シジュウ カラ	コガラ	<i>Poecile montanus</i>	441					○					○					
スズメ	シジュウ カラ	ヤマガラ	<i>Poecile varius</i>	442	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	シジュウ カラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>	443	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	シジュウ カラ	シジュウカラ	<i>Parus minor</i>	445	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	ヒバリ	ヒバリ	<i>Alanda arvensis</i>	452	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	ツバメ	ショウドウツバメ	<i>Riparia riparia</i>	455	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	457	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
スズメ	ツバメ	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	459	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				VU	

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

		分類 ^a		調査年次（西暦，和暦） ^{b,c}										保全状態			
目	科	種（和名）	種（学名）	ID	1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市
スズメ	ツバメ	イワツバメ	<i>Delichon dasyptus</i>	461		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amantrotis</i>	463	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ウグイス	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	464	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ウグイス	ヤブサメ	<i>Urosphena squameiceps</i>	465		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	466	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ムシクイ	ムシクイ属の種	<i>Phylloscopus sp.</i>	481.2													●
スズメ	ムシクイ	カラフトムシクイ	<i>Phylloscopus proregulus</i>	473									○				
スズメ	ムシクイ	キマコムシクイ	<i>Phylloscopus inornatus</i>	474								○					
スズメ	ムシクイ	オオムシクイ	<i>Phylloscopus examinandus</i>	476										○	○		DD
スズメ	ムシクイ	メボソムシクイ	<i>Phylloscopus xanthodryas</i>	477	○	1979	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ムシクイ	エゾムシクイ	<i>Phylloscopus borealoides</i>	479	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ムシクイ	センダイムシクイ	<i>Phylloscopus coronatus</i>	480	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	485	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヨシキリ	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus orientalis</i>	492	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヨシキリ	コヨシキリ	<i>Acrocephalus bistrigiceps</i>	493		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	セッカ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	499	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	レンジャク	キレンジャク	<i>Bombycilla garrulus</i>	500								○	○	○			
スズメ	レンジャク	ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>	501		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ゴジュウカラ	ゴジュウカラ	<i>Sitta europaea</i>	502				○				○					
スズメ	ミソサザイ	ミソサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>	504		○	○	○	○	○		○	○	○			繁殖NT
スズメ	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>	506	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ムクドリ	コムクドリ	<i>Agropsar philippensis</i>	508	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>	512							○						繁殖VU 越冬VU
スズメ	ヒタキ	ヒタキ科の種	<i>Muscicapidae sp.</i>	563.3													●
スズメ	ヒタキ	マミジロ	<i>Zoothera sibirica</i>	513		○			○	○	○		○	○			繁殖EX 通過NT
スズメ	ヒタキ	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	514	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	ツグミ属の種	<i>Turdus sp.</i>	525.3													●
スズメ	ヒタキ	カラアカハラ	<i>Turdus hortulorum</i>	517										○			
スズメ	ヒタキ	クロツグミ	<i>Turdus cardis</i>	518	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>	520		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>	521	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	522	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖CR
スズメ	ヒタキ	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	525	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	ハチジョウツグミ	<i>Turdus naumanni naumanni</i>	525.2		●		●		●	●	●		●			
スズメ	ヒタキ	ヤドリギツグミ	<i>Turdus viscivorus</i>	528			○										
スズメ	ヒタキ	コマドリ	<i>Luscinia akahige</i>	530		○		○	○	○	○	○	○	○			繁殖CR 通過NT

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

分類 ^a		調査年次（西暦, 和暦） ^{b,c}										保全状態					
		1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2				国	県	市
目	科	種（和名）	種（学名）	ID													
スズメ	ヒタキ	ノゴマ	<i>Luscinia calliope</i>	533			○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	コルリ	<i>Luscinia cyane</i>	534		○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖NT
スズメ	ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	536	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>	540	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	ノビタキ	<i>Saxicola torquatus</i>	542	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	549		○		○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	エゾビタキ	<i>Muscicapa griseisticta</i>	552	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	サメビタキ	<i>Muscicapa sibirica</i>	553	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	コサメビタキ	<i>Muscicapa dauurica</i>	554	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖NT
スズメ	ヒタキ	ミヤマヒタキ	<i>Muscicapa ferruginea</i>	555									○				
スズメ	ヒタキ	マジジロキビタキ	<i>Ficedula zanthopygia</i>	557		○			○		○						
スズメ	ヒタキ	キビタキ	<i>Ficedula narcissina</i>	558	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	ヒタキ	ムギマキ	<i>Ficedula mugimaki</i>	559		○			○		○		○				
スズメ	ヒタキ	オジロビタキ	<i>Ficedula albicilla</i>	560										○	○		
スズメ	ヒタキ	ニシオジロビタキ	<i>Ficedula parva</i>	560.2													○
スズメ	ヒタキ	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	561	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	イワヒバリ	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>	566	○	○	○	○	○				○	○			
スズメ	スズメ	ニューナイスズメ	<i>Passer rutilans</i>	568			○				○			○			
スズメ	スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>	569	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	セキレイ	イワミセキレイ	<i>Dendronanthus indicus</i>	570		○											
スズメ	セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	573	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	574	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	575	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	セキレイ	ピンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	580	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			繁殖EX
スズメ	セキレイ	タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>	584	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	アトリ	アトリ科の種	<i>Fringillidae sp.</i>	602.3													●
スズメ	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	586		○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>	587	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	アトリ	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	588	○		○	○	○		○	○	○	○			
スズメ	アトリ	ベニマシコ	<i>Uragus sibiricus</i>	592	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	アトリ	ウン	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	599	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	アトリ	ベニバラウン	<i>Pyrrhula pyrrhula cassinii</i>	599.2						●							
スズメ	アトリ	アカウン	<i>Pyrrhula pyrrhula rosacea</i>	599.3						●							
スズメ	アトリ	シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>	600	○		○	○	○	○	○	○	○	○			
スズメ	アトリ	コイカル	<i>Eophona migratoria</i>	601		○		○	○	○		○	○				VU
スズメ	アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>	602	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			

表3.2. 名古屋市で観察された野鳥の目録（続き）。

分類 ^a		調査年次（西暦，和暦） ^{b,c}										保全状態					
目	科	種（和名）	種（学名）	ID	1 1975 S50	2 1979 S55	3 1984 S59	4 1989 H1	5 1994 H6	6 1999 H11	7 2004 H16	8 2008 H20	9 2014 H26	10 2019 R2	国	県	市
スズメ	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	610	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
スズメ	ホオジロ	ホオアカ	<i>Emberiza fucata</i>	614		○	○					○	○				繁殖CR
スズメ	ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	617	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
スズメ	ホオジロ	ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>	618	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
スズメ	ホオジロ	ノジコ	<i>Emberiza sulphurata</i>	623	○		○	○							NT	繁殖EX 通過VU	DD
スズメ	ホオジロ	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	624	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
スズメ	ホオジロ	クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>	625					○	○	○	○	○				
スズメ	ホオジロ	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	628	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
キジ	キジ	コジュケイ	<i>Bambusicola thoracicus</i>	外1								○	○	○			
カモ	カモ	コバクチョウ	<i>Cygnus olor</i>	外7									○	○			
カモ	カモ	マガモ（アヒル）	<i>Anas platyrhynchos</i>	外7.3													●
カモ	カモ	マガモ（アイガモ）	<i>Anas platyrhynchos</i>	外7.4													●
ハト	ハト	カワラバト（ドバト）	<i>Columba livia</i>	外8								○	○	○			
スズメ	チメドリ	ソウシチョウ	<i>Leiothrix lutea</i>	外25									○	○			
		種の総数	自然分布種		126	167	171	183	189	189	188	200	203	197			
			外来種									2	4	5			
			合計		126	167	171	183	189	189	188	202	207	201			

注

a 分類は『日本鳥類目録 改訂第7版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2012, 日本鳥学会 2015）による（詳細は採録方針の節を見よ）。ただし，2008年第8次調査までは，表1.1のとおり，『日本鳥類目録 改訂第5版』（日本鳥学会 1974）又は『日本鳥類目録 改訂第6版』（日本鳥学会日本鳥類目録編集委員会 2000）によっている。準拠する「日本鳥類目録」の版が第6版から第7版に変わることによって種数が変動することはないものとする（本文を見よ）。

b 1975年度第1次調査から2014年度第9次調査までのデータは，『名古屋の野鳥 2014』（名古屋市緑政土木局都市農業課 2016）に掲載されたものに基づく。

c ○は，1箇所以上の調査地で記録された鳥類動物のうち，1種として計上したものを指す。●は，1箇所以上の調査地で記録された鳥類動物のうち，独自の1種として計上しなかったものを指す。独自の1種としなかった理由には，種としては既に別に計上された亜種であること，科又は属までの同定に留まること，交雑種であること，外来種のうち在来種としては既に別に計上された家畜品種であることが示される。ただし，在来種としては既に別に計上された家畜品種についても，外来種としては独自の1種として計上した。したがって，2019-2020年度第10次調査について，マガモ（アヒル），マガモ（アイガモ）は，併せて外来種1種とした。

d 保全状態は，国，愛知県，名古屋市それぞれの評価を絶滅危惧IA類（CR），絶滅危惧IB類（EN），絶滅危惧II類（VU），準絶滅危惧（NT），情報不足（DD）の略号で示し，愛知県については評価対象個体群の区分も示した。国は「環境省レッドリスト2020」（環境省自然環境局野生生物課希少種保全推進室 2020），愛知県は「レッドリストあいち2020」（愛知県環境調査センター 2020），名古屋市に関しては名古屋市の「名古屋市版レッドリスト2020」（名古屋市環境局環境企画部環境企画課 2020）による。

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表。

各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値

科	種 ^a	庄内川												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		庄内川河口	新川河口・藤前地区	日光川河口	庄内川 明德橋 名四国道	庄内川 新前田橋 明德橋	横井山緑地	庄内川 枇杷島大橋 万場橋	庄内緑地	庄内川 水分橋 庄内橋	庄内川 松川橋 水分橋	庄内川 竜泉寺 吉根橋 東名阪	庄内川 東谷橋 吉根橋	矢田川橋緑地
キジ	ヤマドリ													
キジ	キジ	1		1	1	2	3	5	1	8	3	6	7	
カモ	マガン	1			1	1								
カモ	オシドリ													
カモ	オカヨシガモ	53	88	140	62	22	6	8		7		1	4	
カモ	ヨシガモ	2							1				18	
カモ	ヒドリガモ	258	52	5	15	35	89		21	40	12		6	
カモ	アメリカヒドリ	1												
カモ	マガモ	168	61	31	59	15	31	36	63	23	13	2	5	6
カモ	カルガモ	531	449	57	101	26	14	312	5	35	33	30	15	6
カモ	マガモ×カルガモ													
カモ	ハシビロガモ	21	6	8	2	5		1		2			6	
カモ	オナガガモ	1970	566	293	27	9		2	3					
カモ	シマアジ	28			5									
カモ	トモエガモ	4										1		
カモ	コガモ	469	122	15	311	36	22	10	1	20	42	18	85	
カモ	アメリカコガモ				1									
カモ	ホシハジロ	75	124	5	80	54	25	1	2	1				
カモ	キンクロハジロ	531	62	3	299	297	81	134	5	2				
カモ	スズガモ	1020	1367	12	218	126	2	15	4					
カモ	クロガモ													
カモ	ホオジロガモ	1	1										1	
カモ	ミコアイサ		1											
カモ	カワアイサ							37	1	4	32	3	15	2
カモ	ウミアイサ	2												
カイツブリ	カイツブリ	1		2	2	3	2	2	2	10	8	8	18	
カイツブリ	カンムリカイツブリ	752	575	8	13	9	13	4	2	9		1	1	
カイツブリ	ミミカイツブリ		2											
カイツブリ	ハジロカイツブリ	17	15	1	3	1								
ハト	キジバト	68	5	8	15	37	19	19	22	14	24	13	24	3
ハト	アオバト													
ウ	カワウ	5930	5300	142	208	687	220	36	100	485	186	53	425	560
サギ	ミゾゴイ													
サギ	ゴイサギ	1		1	2	1			1	5			1	
サギ	ササゴイ	4	2		2	2		2	3	5	1			
サギ	アマサギ													
サギ	アオサギ	48	19	24	22	6	3	5	5	7	18	2	9	3
サギ	ダイサギ	35	40	5	13	5	7	27	25	47	36	20	36	8
サギ	チュウサギ		3		1		1		1			5		
サギ	コサギ	75	17	30	9	5	2	12	3	12	40	2	4	39
サギ	カラシラサギ	1	1											
トキ	クロツラハラサギ	1	1											
クイナ	クイナ													
クイナ	ヒクイナ					1								2
クイナ	バン			1	1				1	2		2	2	
クイナ	オオバン	21	11	2	27	9	9	22	1	40	22	27	3	
カッコウ	ジュウイチ													
カッコウ	ホトトギス	1					1		1					
カッコウ	ツツドリ								2					
カッコウ	カッコウ						1							
ヨタカ	ヨタカ													
アマツバメ	アマツバメ	2												
チドリ	タゲリ					4								

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値																	
		堀川			大江川		天白川		千種			北	中村	中					
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26					
		堀川 白鳥付近	堀川 上中流	黒川	大江川 河口	大江川 緑地	天白川 河口	天白川 緑地	東山公園 植物園	平和公園 一帯	城山八幡	名古屋 城一帯	中村公園	白川公園					
科	種 ^a																		
キジ	ヤマドリ																		
キジ	キジ														1				
カモ	マガン																		
カモ	オシドリ														1				
カモ	オカヨシガモ														5	2			8
カモ	ヨシガモ			4	23	4							22						
カモ	ヒドリガモ			18			149	46	23			9			4				
カモ	アメリカヒドリ																		
カモ	マガモ			17	8	13	3	18	8			32	18	5					
カモ	カルガモ	12	30	14	25	68	36	24	2	4			6	6					
カモ	マガモ×カルガモ														9				
カモ	ハシビロガモ	13	3			135			36			1			8				
カモ	オナガガモ			4	15	46							73						
カモ	シマアジ																		
カモ	トモエガモ														1				
カモ	コガモ			110	93	122			29	20			14			57			
カモ	アメリカコガモ																		
カモ	ホシハジロ	135	130	83	353					439			1			44			
カモ	キンクロハジロ	140	149	55	581					325					72				
カモ	スズガモ			7			112			258									
カモ	クロガモ														1				
カモ	ホオジロガモ																		
カモ	ミコアイサ														1				
カモ	カワアイサ																		
カモ	ウミアイサ														1				
カイツブリ	カイツブリ	1					2			2			1			2			
カイツブリ	カンムリカイツブリ					378			154										
カイツブリ	ミミカイツブリ																		
カイツブリ	ハジロカイツブリ					1			4										
ハト	キジバト	6	9	27	15	22	5	13	11	6	4	23	8	15					
ハト	アオバト					1			3			2			3				
ウ	カワウ	50	20	54	1395	20	1086	12	2	6	2	61	2	1					
サギ	ミゾゴイ																		
サギ	ゴイサギ				1	1													
サギ	ササゴイ			1	1	7	70	5	6					1					
サギ	アマサギ																		
サギ	アオサギ	1	11	15	32	1	11	5	3	1			18	1					
サギ	ダイサギ	2			3	17	1	10	12	2	2			8	2				
サギ	チュウサギ																		
サギ	コサギ	1	1	7	4					8	6	1	2	3	1				
サギ	カラシラサギ																		
トキ	クロツラハラサギ																		
クイナ	クイナ												1						
クイナ	ヒクイナ																		
クイナ	バン									2					3				
クイナ	オオバン	16	4			4			116	5			1			20			
カッコウ	ジュウイチ														1				
カッコウ	ホトトギス									2	2								
カッコウ	ツツドリ										3								
カッコウ	カッコウ																		
ヨタカ	ヨタカ																		
アマツバメ	アマツバメ																		
チドリ	タゲリ																		

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値													
		昭和		瑞穂	熱田		港		南	守山			緑・ 天白		
		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38		
		鶴舞公園	興正寺	瑞穂公園	熱田神社	高座結御子神社・高蔵公園	戸田川	南陽町	見晴台・笠寺公園	東谷山	大村池・大久手池	小幡緑地	戸笠池・ほら貝池		
科	種 ^a														
キジ	ヤマドリ														
キジ	キジ	1													
カモ	マガン														
カモ	オシドリ	4													
カモ	オカヨシガモ	2 12 68													
カモ	ヨシガモ	24 3													
カモ	ヒドリガモ	52 76													
カモ	アメリカヒドリ														
カモ	マガモ	1	6 2 1 11 43 4												
カモ	カルガモ	17	1	19	24 17 5 36 12 21										
カモ	マガモ×カルガモ														
カモ	ハシビロガモ	7 8 133 5 21													
カモ	オナガガモ	657 4 50													
カモ	シマアジ	2													
カモ	トモエガモ														
カモ	コガモ	112 23 76 2 9 13													
カモ	アメリカコガモ														
カモ	ホシハジロ	2 10 40 18													
カモ	キンクロハジロ	10	4 8 28 2 1 2												
カモ	スズガモ	3													
カモ	クロガモ														
カモ	ホオジロガモ														
カモ	ミコアイサ	17 2 2 1 1													
カモ	カワアイサ														
カモ	ウミアイサ														
カイツブリ	カイツブリ	1 25 1 4 2 4 5													
カイツブリ	カンムリカイツブリ	2 2													
カイツブリ	ミミカイツブリ														
カイツブリ	ハジロカイツブリ	1 1													
ハト	キジバト	50	17	22	51	9	18	8	11	9	3	14	11		
ハト	アオバト	6	1												
ウ	カワウ	1	10 9 37 7 6 25 17 10 4												
サギ	ミゾゴイ	1													
サギ	ゴイサギ	3 6 1 1													
サギ	ササゴイ	2	2 1 1 1												
サギ	アマサギ	10 3													
サギ	アオサギ	1	8 1 3 22 2 2 2 2 3												
サギ	ダイサギ	1	5 2 83 1 1 3 2 26												
サギ	チュウサギ	168 3													
サギ	コサギ	1	17 10 28 4												
サギ	カラシラサギ														
トキ	クロツラヘラサギ														
クイナ	クイナ	1													
クイナ	ヒクイナ	1													
クイナ	バン	1 2 1 1 9													
クイナ	オオバン	9 7 1 1 4 10 29													
カッコウ	ジュウイチ														
カッコウ	ホトトギス	5													
カッコウ	ツツドリ	1 2 1													
カッコウ	カッコウ														
ヨタカ	ヨタカ	5													
アマツバメ	アマツバメ														
チドリ	タゲリ														

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値													観察された調査地の数
		緑					名東			天白					
科	種 ^a	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	
		勅使ヶ池	水広公園	成海神社・新海池	大高緑地	鷺津山	氷上姉子神社	明德緑地	猪高緑地	牧野ヶ池緑地	農業センター・針名神社	相生山緑地	八事裏山	大根池	
キジ	ヤマドリ													1	
キジ	キジ	4												13	
カモ	マガン	2												4	
カモ	オシドリ	16	2		2						36			6	
カモ	オカヨシガモ	6								2	18		4	20	
カモ	ヨシガモ	4								40				11	
カモ	ヒドリガモ	22			5				4	60	2		9	24	
カモ	アメリカヒドリ													1	
カモ	マガモ	102	7	17	55			11	2	15	21		13	38	
カモ	カルガモ	53	4	39	25		5	2	5	25	18		15	43	
カモ	マガモ×カルガモ													1	
カモ	ハシビロガモ	334			2					6	5			23	
カモ	オナガガモ	220			3					50	1			19	
カモ	シマアジ													3	
カモ	トモエガモ													3	
カモ	コガモ	79		9	8				3	5	26		3	32	
カモ	アメリカコガモ													1	
カモ	ホシハジロ	11	2	1	7		1	14	8	5	6			29	
カモ	キンクロハジロ	13		4	13			1		11	6			28	
カモ	スズガモ				1									13	
カモ	クロガモ													1	
カモ	ホオジロガモ													3	
カモ	ミコアイサ	32			11					20	5			11	
カモ	カワアイサ													7	
カモ	ウミアイサ													2	
カイツブリ	カイツブリ	46	3	11	7		7	5	2	10	10		6	33	
カイツブリ	カンムリカイツブリ	36		2	3					12				19	
カイツブリ	ミミカイツブリ													1	
カイツブリ	ハジロカイツブリ									1				10	
ハト	キジバト	12	8	9	57	7	13	9	26	6	6	3	10	8	51
ハト	アオバト	1			1							2			11
ウ	カワウ	126	1	6	7	4	446	7	6	30	6			2	47
サギ	ミゾゴイ				1										2
サギ	ゴイサギ	55		78	6		1	8					1	19	
サギ	ササゴイ				1										21
サギ	アマサギ			8											3
サギ	アオサギ	25	3	49	7		2	2	2	6	3		2	44	
サギ	ダイサギ	63	2	3	7		1	3	2	5	3		1	6	43
サギ	チュウサギ	1		25				1							10
サギ	コサギ			6	6			1	1	4					33
サギ	カラシラサギ														2
トキ	クロツラハラサギ														2
クイナ	クイナ														2
クイナ	ヒクイナ	2												1	5
クイナ	バン	6		2	3		2				3			9	19
クイナ	オオバン	45	13	23	6			1	11	30	15			8	35
カッコウ	ジュウイチ														1
カッコウ	ホトトギス				1					1					8
カッコウ	ツツドリ				1										6
カッコウ	カッコウ														1
ヨタカ	ヨタカ				1										2
アマツバメ	アマツバメ														1
チドリ	タゲリ														1

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値												
		庄内川												
科	種 ^a	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		庄内川河口	新川河口・藤前地区	日光川河口	庄内川 明德橋 名四国道	庄内川 新前田橋 明德橋	横井山緑地	庄内川 枇杷島大橋 万場橋	庄内川 緑地	庄内川 水分橋 庄内橋	庄内川 松川橋 水分橋	庄内川 竜泉寺 吉根橋 東名阪	庄内川 東谷橋 吉根橋	矢田川橋緑地
チドリ	ケリ	15	1	2	10	15	9	6		5	6	7	4	
チドリ	ムナグロ	2				1								
チドリ	ダイゼン	65	65	41	2	1								
チドリ	ハジロコチドリ	3			3									
チドリ	イカルチドリ							3				2	16	
チドリ	コチドリ	12	1		4	4		7	1	10		1	5	4
チドリ	シロチドリ	65	33	10	2					4				
チドリ	メダイチドリ	8	2	2		1								
チドリ	オオメダイチドリ	1												
ミヤコドリ	ミヤコドリ	1												
セイタカシギ	セイタカシギ	2			6									
シギ	ヤマシギ								1					
シギ	オオジシギ					1								
シギ	タンシギ	9	1		8	9		1					1	
シギ	オオハシシギ	4			6	7								
シギ	オグロシギ	6	2											
シギ	オオソリハシシギ	16	17	15										
シギ	チュウシャクシギ	78	247	22	4	2								
シギ	ダイシャクシギ	2	2											
シギ	ホウロクシギ	3	2				1							
シギ	ツルシギ	4			4	1								
シギ	アカアシシギ	1	4		3	1								
シギ	コアアシシギ	15			2	2	1							
シギ	アオアシシギ	35	60		28	23								
シギ	クサシギ												2	
シギ	キアシシギ	15	11	25	6									
シギ	ソリハシシギ	39	7	6	6									
シギ	イソシギ	9	5	1	5	8	2	1	1	3			4	3
シギ	キョウジョシギ	4												
シギ	オバシギ	24	24											
シギ	コオバシギ	2	2											
シギ	トウネン	305	618	4	2					2				
シギ	オジロトウネン													
シギ	ウズラシギ	1	3											
シギ	サルハマシギ	1												
シギ	ハマシギ	2100	2155	620	6	101								
シギ	キリアイ	2												
シギ	エリマキシギ	1	1		2									
シギ	アカエリヒレアシギ	14												
カモメ	ユリカモメ	1050	177	41	30	127	10	1	11					1
カモメ	ズグロカモメ	34	10	1	2									
カモメ	ウミネコ	269	94		5									
カモメ	カモメ	265	159	50	4			1				1		
カモメ	シロカモメ			1										
カモメ	セグロカモメ	29	10	3	5	11	4	4						
カモメ	オオセグロカモメ	9	1			5								
カモメ	ハシブトアジサシ	1												
カモメ	コアジサシ	87	60		2	5		6	2	4	2			
カモメ	アジサシ	2	3											
カモメ	クロハラアジサシ	1	1											
ミサゴ	ミサゴ	34	9	3	2	2	1	2	2	2	2	3	3	
タカ	ハチクマ													
タカ	トビ	3	2	2	1	1		3	1	1	4	3	3	1

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値													
		堀川			大江川		天白川		千種			北	中村	中	
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
		堀川 白鳥付近	堀川 上中流	黒川	大江川 河口	大江川 緑地	天白川 河口	天白川 緑地	東山公園 植物園	平和公園 一帯	城山八幡	名古屋城 一帯	中村公園	白川公園	
科	種 ^a														
チドリ	ケリ				5		4								
チドリ	ムナグロ														
チドリ	ダイゼン														
チドリ	ハジロコチドリ														
チドリ	イカルチドリ				2		2								
チドリ	コチドリ				3		3								
チドリ	シロチドリ														
チドリ	メダイチドリ														
チドリ	オオメダイチドリ														
ミヤコドリ	ミヤコドリ														
セイタカシギ	セイタカシギ						1								
シギ	ヤマシギ										1				
シギ	オオジシギ														
シギ	タンギ				2										
シギ	オオハシシギ														
シギ	オグロシギ														
シギ	オオソリハシシギ														
シギ	チュウシャクシギ						8								
シギ	ダイシャクシギ														
シギ	ホウロクシギ														
シギ	ツルシギ														
シギ	アカアシシギ														
シギ	コアオアシシギ														
シギ	アオアシシギ							1							
シギ	クサシギ														
シギ	キアシシギ				4		6								
シギ	ソリハシシギ						5								
シギ	イソシギ	2	2		3		13	3							
シギ	キョウジョシギ						5								
シギ	オバシギ														
シギ	コオバシギ														
シギ	トウネン						7								
シギ	オジロトウネン														
シギ	ウズラシギ														
シギ	サルハマシギ														
シギ	ハマシギ				5		65								
シギ	キリアイ														
シギ	エリマキシギ														
シギ	アカエリヒレアシシギ														
カモメ	ユリカモメ	165	11	4			192				133				
カモメ	ズグロカモメ														
カモメ	ウミネコ						3								
カモメ	カモメ	1	15				17								
カモメ	シロカモメ														
カモメ	セグロカモメ		1		3		4				2				
カモメ	オオセグロカモメ						3								
カモメ	ハシブトアジサシ														
カモメ	コアジサシ				18		11								
カモメ	アジサシ														
カモメ	クロハラアジサシ														
ミサゴ	ミサゴ				2	1	6	1	1		1				
タカ	ハチクマ														
タカ	トビ						2	1							

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値											
		昭和		瑞穂	熱田		港		南	守山		緑・ 天白	
		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
		鶴舞公園	興正寺	瑞穂公園	熱田神社	高座結御子神社・高蔵公園	戸田川	南陽町	見晴台・笠寺公園	東谷山	大村池・大久手池	小幡緑地	戸笠池・ほら貝池
科	種 ^a												
チドリ	ケリ			9			2	24		2			
チドリ	ムナグロ												
チドリ	ダイゼン												
チドリ	ハジロコチドリ							3					
チドリ	イカルチドリ			3									
チドリ	コチドリ			2			2	10			1		2
チドリ	シロチドリ												
チドリ	メダイチドリ												
チドリ	オオメダイチドリ												
ミヤコドリ	ミヤコドリ												
セイタカシギ	セイタカシギ							4					
シギ	ヤマシギ									5			
シギ	オオジシギ												
シギ	タンシギ							1					
シギ	オオハシシギ												
シギ	オグロシギ												
シギ	オオソリハシシギ												
シギ	チュウシャクシギ												
シギ	ダイシャクシギ												
シギ	ホウロクシギ												
シギ	ツルシギ												
シギ	アカアシシギ												
シギ	コアオアシシギ							4					
シギ	アオアシシギ							2					
シギ	クサシギ												
シギ	キアシシギ												
シギ	ソリハシシギ												
シギ	イソシギ			2			1	1					1
シギ	キョウジョシギ												
シギ	オバシギ												
シギ	コオバシギ												
シギ	トウネン												
シギ	オジロトウネン							1					
シギ	ウズラシギ												
シギ	サルハマシギ												
シギ	ハマシギ							9					
シギ	キリアイ												
シギ	エリマキシギ												
シギ	アカエリヒレアシギ												18
カモメ	ユリカモメ			5			1	4				1	
カモメ	ズグロカモメ												
カモメ	ウミネコ												
カモメ	カモメ												
カモメ	シロカモメ												
カモメ	セグロカモメ						1						
カモメ	オオセグロカモメ												
カモメ	ハシブトアジサシ												
カモメ	コアジサシ												
カモメ	アジサシ												
カモメ	クロハラアジサシ												
ミサゴ	ミサゴ			1				2		1	1	1	
タカ	ハチクマ									2			
タカ	トビ									5	2	1	

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値														観察された調査地の数
		緑					名東			天白						
科	種 ^a	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51		
		勅使ヶ池	水広公園	成海神社・新海池	大高緑地	鷺津山	氷上姉子神社	明德緑地	猪高緑地	牧野ヶ池緑地	農業センター・針名神社	相生山緑地	八事裏山	大根池		
チドリ	ケリ	2			1										19	
チドリ	ムナグロ														2	
チドリ	ダイゼン														5	
チドリ	ハジロコチドリ														3	
チドリ	イカルチドリ														6	
チドリ	コチドリ														17	
チドリ	シロチドリ														5	
チドリ	メダイチドリ														4	
チドリ	オオメダイチドリ														1	
ミヤコドリ	ミヤコドリ														1	
セイタカシギ	セイタカシギ														4	
シギ	ヤマシギ				1										4	
シギ	オオジシギ														1	
シギ	タンギ														8	
シギ	オオハシシギ														3	
シギ	オグロシギ														2	
シギ	オオソリハシシギ														3	
シギ	チュウシャクシギ														6	
シギ	ダイシャクシギ														2	
シギ	ホウロクシギ														3	
シギ	ツルシギ														3	
シギ	アカアシシギ														4	
シギ	コアオアシシギ														5	
シギ	アオアシシギ														6	
シギ	クサシギ														1	
シギ	キアシシギ														6	
シギ	ソリハシシギ														5	
シギ	イソシギ	1			1										22	
シギ	キョウジョシギ														2	
シギ	オバシギ														2	
シギ	コオバシギ														2	
シギ	トウネン														6	
シギ	オジロトウネン														1	
シギ	ウズラシギ														2	
シギ	サルハマシギ														1	
シギ	ハマシギ														8	
シギ	キリアイ														1	
シギ	エリマキシギ														3	
シギ	アカエリヒレアシシギ														2	
カモメ	ユリカモメ									12					19	
カモメ	ズグロカモメ														4	
カモメ	ウミネコ														4	
カモメ	カモメ														9	
カモメ	シロカモメ														1	
カモメ	セグロカモメ														12	
カモメ	オオセグロカモメ														4	
カモメ	ハシブトアジサシ														1	
カモメ	コアジサシ	17		2	3		1								14	
カモメ	アジサシ														2	
カモメ	クロハラアジサシ	2													3	
ミサゴ	ミサゴ	3		1	2	1	1			1	2	1		1	32	
タカ	ハチクマ														1	
タカ	トビ				1		3		1						20	

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値

		庄内川												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		庄内川河口	新川河口・藤前地区	日光川河口	庄内川 明德橋 名四国道	庄内川 新前田橋 明德橋	横井山緑地	庄内川 枇杷島大橋 万場橋	庄内緑地	庄内川 水分橋 庄内橋	庄内川 松川橋 水分橋	庄内川 竜泉寺 吉根橋 東名阪	庄内川 東谷橋 吉根橋	矢田川橋緑地
科	種 ^a													
タカ	チュウヒ	2	2		3	1								
タカ	ハイイロチュウヒ	1			1									
タカ	ツミ												1	
タカ	ハイタカ	1		1	1	1		1				2	3	
タカ	オオタカ	1	1		1	1	1	1	1	1	1	2	2	
タカ	サシバ	4												
タカ	ノスリ	1	1	1		1		1		1	1	1	12	
フクロウ	フクロウ													
フクロウ	アオバズク													
フクロウ	コミミズク													
カワセミ	カワセミ	1		1	1	1	2	2	1	2	2	2	9	1
ブッポウソウ	ブッポウソウ													
キツツキ	アリスイ									1			1	
キツツキ	コゲラ	8			1		2	4	4			3	4	
キツツキ	アカゲラ							3		1		1		
キツツキ	アオゲラ													
ハヤブサ	チョウゲンボウ	2	3		2	1		2		1	1	1	2	1
ハヤブサ	コチョウゲンボウ													
ハヤブサ	チゴハヤブサ													
ハヤブサ	ハヤブサ	2	1		1		1		2		1	1	1	
サンショウクイ	サンショウクイ	2			4		1	2					1	
カササギヒタキ	サンコウチョウ	4												
モズ	モズ	7	1	3	1	6	4	8	4	12	10	5	20	2
カラス	カケス													
カラス	カラス属の種													
カラス	ハンボソガラス	26	17	47	19	27	71	23	58	18	12	46	20	21
カラス	ハシブトガラス	18	3	4	2	19	61	26	21	33	66	54	15	3
クイタダキ	クイタダキ													
ツリスガラ	ツリスガラ				1									
シジュウカラ	コガラ													
シジュウカラ	ヤマガラ	9					1	1	8			4	2	
シジュウカラ	ヒガラ	2												
シジュウカラ	シジュウカラ	11		2	4	3	8	18	12	4		11	9	
ヒバリ	ヒバリ	2			3	5	3	12	1	9	8	5	14	9
ツバメ	ショウドウツバメ	2			4	3				4				8
ツバメ	ツバメ	113	10	24	24	58	15	22	20	16	141	50	68	25
ツバメ	コシアカツバメ											17	7	
ツバメ	イワツバメ							56		19		9	42	
ヒヨドリ	ヒヨドリ	297	25	47	51	124	114	98	55	89	42	180	102	14
ウグイス	ウグイス	4	1	3	1	2	2	4	1	5		7	11	
ウグイス	ヤブサメ	1					1		1			5		
エナガ	エナガ											8	15	
ムシクイ	ムシクイ属の種						3							
ムシクイ	オオムシクイ											1		
ムシクイ	メボソムシクイ	3							2					
ムシクイ	エゾムシクイ	4					2	1	3			1	2	
ムシクイ	センダイムシクイ	4					3		8		1	1		
メジロ	メジロ	68	6	20	5	5	20	20	26	13		80	67	
ヨシキリ	オオヨシキリ	29	6	9	15	13		3	1	9		7	11	
ヨシキリ	コヨシキリ													
セッカ	セッカ	3		1	2	5	1	7	2	10	6	1	2	
レンジャク	キレンジャク												3	
レンジャク	ヒレンジャク	5							4				49	

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値													
		堀川			大江川		天白川		千種			北	中村	中	
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
		堀川 白鳥付近	堀川 上中流	黒川	大江川 河口	大江川 緑地	天白川 河口	天白川 緑地	東山公園 植物園	平和公園 一帯	城山八幡	名古屋 城一帯	中村公園	白川公園	
科	種 ^a														
タカ	チュウヒ														
タカ	ハイイロチュウヒ														
タカ	ツミ														
タカ	ハイタカ														
タカ	オオタカ	1			1	1		1	1	1		1			
タカ	サシバ														
タカ	ノスリ														
フクロウ	フクロウ														
フクロウ	アオバズク														
フクロウ	コミミズク														
カワセミ	カワセミ	1	2	6	2			3	2	1		3	1		
ブッポウソウ	ブッポウソウ														
キツツキ	アリスイ														
キツツキ	コゲラ	2	1	2		6			9	8	2	4	2	1	
キツツキ	アカゲラ														
キツツキ	アオゲラ														
ハヤブサ	チョウゲンボウ														
ハヤブサ	コチョウゲンボウ														
ハヤブサ	チゴハヤブサ														
ハヤブサ	ハヤブサ														
サンショウクイ	サンショウクイ	1				1			8	5					
カササギヒタキ	サンコウチョウ														
モズ	モズ	1	1	1	3	2	1	4		6		2	1		
カラス	カケス														
カラス	カラス属の種														
カラス	ハンソボガラス	32	11	13	14	23	54	16	26	13	5	19	18	38	
カラス	ハンソトガラス	22	11	27	12	13	35		22	22	9	27	27	13	
クイタダキ	クイタダキ														
ツリスガラ	ツリスガラ														
シジュウカラ	コガラ														
シジュウカラ	ヤマガラ														
シジュウカラ	ヒガラ														
シジュウカラ	シジュウカラ	2	5	24	2	10	2	2	16	49	4	14	9	5	
ヒバリ	ヒバリ														
ツバメ	ショウドウツバメ														
ツバメ	ツバメ	4	17	9	8	4	11	21	9	23	3	23	6	5	
ツバメ	コシアカツバメ														
ツバメ	イワツバメ														
ヒヨドリ	ヒヨドリ	41	16	86	71	145	35	11	35	80	26	47	48	27	
ウグイス	ウグイス	1	2	4	3	2	1		6	12	5	6	2		
ウグイス	ヤブサメ														
エナガ	エナガ														
ムシクイ	ムシクイ属の種														
ムシクイ	オオムシクイ														
ムシクイ	メボソムシクイ	1		3		1			2			2			
ムシクイ	エゾムシクイ														
ムシクイ	センダイムシクイ	2		1		2			5	6	2	2	3		
メジロ	メジロ	9	2	91	6	45	11	2	28	78	14	17	21	11	
ヨシキリ	オオヨシキリ														
ヨシキリ	コヨシキリ														
セッカ	セッカ														
レンジャク	キレンジャク														
レンジャク	ヒレンジャク														

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値											
		昭和		瑞穂	熱田		港		南	守山			緑・ 天白
		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
		鶴舞公園	興正寺	瑞穂公園	熱田神宮	高座結御子神社・高蔵公園	戸田川	南陽町	見晴台・笠寺公園	東谷山	大村池・大久手池	小幡緑地	戸笠池・ほら貝池
科	種 ^a												
タカ	チュウヒ												
タカ	ハイイロチュウヒ												
タカ	ツミ												
タカ	ハイタカ	1					1		1	3		1	
タカ	オオタカ				1			1		3		1	
タカ	サシバ									1			
タカ	ノスリ	1								11			
フクロウ	フクロウ									3			
フクロウ	アオバズク												
フクロウ	コミミズク												
カワセミ	カワセミ	3		5			2	1		3		1	2
ブッポウソウ	ブッポウソウ	1											
キツツキ	アリスイ												
キツツキ	コゲラ	4	3	4	4	2			1	19	2	7	2
キツツキ	アカゲラ		1							2		1	
キツツキ	アオゲラ									5			
ハヤブサ	チョウゲンボウ							1					
ハヤブサ	コチョウゲンボウ							1					
ハヤブサ	チゴハヤブサ												
ハヤブサ	ハヤブサ							1		1			
サンショウクイ	サンショウクイ												
カササギヒタキ	サンコウチョウ		1							6		4	
モズ	モズ	2		4		2	4	4	1	10	1	1	6
カラス	カケス												
カラス	カラス属の種												
カラス	ハンボソガラス	38	9	28	16	50	21	315	12	30	13	22	17
カラス	ハシブトガラス	200	25	5	17	11	41	15	2	13	2	27	3
クイタダキ	クイタダキ												
ツリスガラ	ツリスガラ												
シジュウカラ	コガラ												
シジュウカラ	ヤマガラ	4	2	5	5	4			3	20	10	11	
シジュウカラ	ヒガラ												
シジュウカラ	シジュウカラ	10	9	16	6	7	2		3	17	15	19	4
ヒバリ	ヒバリ												
ツバメ	ショウドウツバメ												
ツバメ	ツバメ	5	3	32	5	1	8	11	8	21	10	15	22
ツバメ	コシアカツバメ												
ツバメ	イワツバメ												
ヒヨドリ	ヒヨドリ	120	25	105	61	70	39	6	38	108	23	135	29
ウグイス	ウグイス	1	3	2	5	1	2			10	5	7	3
ウグイス	ヤブサメ												
エナガ	エナガ		5	7						12			
ムシクイ	ムシクイ属の種	11					2			1			
ムシクイ	オオムシクイ	4		3						5			
ムシクイ	メボソムシクイ	6		2		2			2			1	
ムシクイ	エゾムシクイ	1		1						2			
ムシクイ	センダイムシクイ	2		1	1	1			2	7		7	
メジロ	メジロ	44	29	49	120	25	32		15	178	10	87	9
ヨシキリ	オオヨシキリ												
ヨシキリ	コヨシキリ												
セッカ	セッカ												
レンジャク	キレンジャク												
レンジャク	ヒレンジャク	30								16		11	

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値														観察された調査地の数
		緑					名東			天白						
科	種 ^a	39 勅使ヶ池	40 水広公園	41 成海神社・新海池	42 大高緑地	43 鷺津山	44 氷上姉子神社	45 明德緑地	46 猪高緑地	47 牧野ヶ池緑地	48 農業センター・針名神社	49 相生山緑地	50 八事裏山	51 大根池		
タカ	チュウヒ													4		
タカ	ハイイロチュウヒ													2		
タカ	ツミ				1									4		
タカ	ハイタカ	1		1	1			1	1			1		22		
タカ	オオタカ	1		1	2		1			1		1	1	30		
タカ	サシバ	1												3		
タカ	ノスリ	1					1	2			1	1		18		
フクロウ	フクロウ													1		
フクロウ	アオバズク													1		
フクロウ	コミミズク				1									1		
カワセミ	カワセミ	6	1	2	3			3	2	3	2		1	37		
ブッポウソウ	ブッポウソウ													1		
キツツキ	アリスイ													3		
キツツキ	コゲラ	4	4	4	6	3	6	9	6	8	6	3	10	5	40	
キツツキ	アカゲラ	1			2						1	1		12		
キツツキ	アオゲラ							1	1					4		
ハヤブサ	チョウゲンボウ											1		16		
ハヤブサ	コチョウゲンボウ													1		
ハヤブサ	チゴハヤブサ													1		
ハヤブサ	ハヤブサ				1									13		
サンショウクイ	サンショウクイ	2			10									13		
カササギヒタキ	サンコウチョウ	1	2		1									9		
モズ	モズ	5	2	2	4		7	5	2	2	5	2	7	3	45	
カラス	カケス	3			3			2	2	2	2	3		12		
カラス	カラス属の種													1		
カラス	ハンボソガラス	12	3	18	56	7	8	50	33	15	8	5	19	18	51	
カラス	ハシブトガラス	34	6	7	236	4	51	10	2	22	10	23	23	7	50	
クイタダキ	クイタダキ											2		1		
ツリスガラ	ツリスガラ													1		
シジュウカラ	コガラ													1		
シジュウカラ	ヤマガラ			6	9	2	3	5	2	10	2	2	15	5	33	
シジュウカラ	ヒガラ													3		
シジュウカラ	シジュウカラ	31	8	9	20	6	10	57	28	12	7	6	26	12	47	
ヒバリ	ヒバリ													14		
ツバメ	ショウドウツバメ				3								2	7		
ツバメ	ツバメ	32	16	8	26	4	23	19	31	13	8	6	40	19	51	
ツバメ	コシアカツバメ			21	14							1		7		
ツバメ	イワツバメ				12						2			10		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	62	44	48	105	36	88	56	32	50	30	27	147	33	51	
ウグイス	ウグイス	3	2	3	8	2	5	5	11	9	8	2	5	1	45	
ウグイス	ヤブサメ											2		10		
エナガ	エナガ	12	2	3				6	18	5	13	3	6	2	19	
ムシクイ	ムシクイ属の種											1		5		
ムシクイ	オオムシクイ	4			4									7		
ムシクイ	メボソムシクイ	5		1	2					1		1	4	1	19	
ムシクイ	エゾムシクイ	2		1	6							2		18		
ムシクイ	センダイムシクイ	5		2	6	1		1		1	3	1	2	1	30	
メジロ	メジロ	36	58	47	81	44	53	60	27	30	20	18	65	18	48	
ヨシキリ	オオヨシキリ	12		1	1						2			2	23	
ヨシキリ	コヨシキリ													2		
セッカ	セッカ	2												12		
レンジャク	キレンジャク													1		
レンジャク	ヒレンジャク			7										14	10	

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値

		庄内川												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		庄内川河口	新川河口・藤前地区	日光川河口	庄内川 明德橋 名四国道	庄内川 新前田橋 明德橋	横井山緑地	庄内川 枇杷島大橋 万場橋	庄内緑地	庄内川 水分橋 庄内橋	庄内川 松川橋 水分橋	庄内川 竜泉寺 吉根橋 東名阪	庄内川 東谷橋 吉根橋	矢田川橋緑地
科	種 ^a													
ミソサザイ	ミソサザイ													
ムクドリ	ムクドリ	276	22	62	37	165	121	136	85	622	136	80	51	180
ムクドリ	コムクドリ	32						4	2	1			3	
ヒタキ	ヒタキ科の種													
ヒタキ	マミジロ	1												
ヒタキ	トラツグミ								1			1		
ヒタキ	ツグミ属の種													
ヒタキ	クロツグミ	2					2		2			1		
ヒタキ	マミチャヅナイ	1												
ヒタキ	シロハラ	15		2		1	3	1	9			3	2	
ヒタキ	アカハラ	9					3	5	3					
ヒタキ	ツグミ	108	4	20	18	8	118	37	87	51	74	76	33	20
ヒタキ	ハチジョウツグミ	1							1					
ヒタキ	コマドリ											1		
ヒタキ	ノゴマ	1							1					
ヒタキ	コルリ	1							1					
ヒタキ	ルリビタキ	1							2			1		
ヒタキ	ジョウビタキ	8		4	2	4	3	4	3	3	6	4	10	1
ヒタキ	ノビタキ	5			2	2		1	1	5	8	9	18	
ヒタキ	イソヒヨドリ	2	1		1	1					1		3	
ヒタキ	エゾビタキ	3					2		3					
ヒタキ	サメビタキ	1					1							
ヒタキ	コサメビタキ	4					1	1	4	3				
ヒタキ	キビタキ	5					5	8	4			2	2	
ヒタキ	オジロビタキ													
ヒタキ	ニシオジロビタキ	1												
ヒタキ	オオルリ	3					2	2	3		1	1		
スズメ	スズメ	238	20	63	108	269	54	226	90	112	58	375	228	195
セキレイ	キセキレイ	1		1		1		1		2		2	2	1
セキレイ	ハクセキレイ	15	3	3	8	13	6	9	6	15	37	8	21	19
セキレイ	セグロセキレイ	4		1	1	3		6	4	7	8	8	20	7
セキレイ	ビンズイ	2								1			6	
セキレイ	タヒバリ	2			4	5							18	
アトリ	アトリ科の種													
アトリ	アトリ	3							1					
アトリ	カワラヒワ	69	3	20	53	158	21	48	57	67	46	25	76	28
アトリ	マヒワ													
アトリ	ベニマシコ	1		5	3	1		1	1	1		1	5	
アトリ	ウソ													
アトリ	シメ	2		2			4	3	4	2		13	6	
アトリ	イカル												1	
ホオジロ	ホオジロ	5	1	2	5	5	2	8	4	5	2	6	33	
ホオジロ	カシラダカ	2			1			2		2	4		21	
ホオジロ	アオジ	3		1	1	4	3	13	2	9	1	4	14	3
ホオジロ	クロジ	1												
ホオジロ	オオジュリン	63		18	30	17	5	1					10	
キジ	コジュケイ											1	5	
カモ	コブハクチョウ													
カモ	マガモ (アヒル)													
カモ	マガモ (アイガモ)								6					
ハト	カワラバト (ドバト)	143	110	20	60	296	110	65	146	17	40	24	60	101
チメドリ	ソウシチョウ													

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値													
		堀川			大江川		天白川		千種			北	中村	中	
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
		堀川 白鳥付近	堀川 上中流	黒川	大江川 河口	大江川 緑地	天白川 河口	天白川 緑地	東山公園 植物園	平和公園 一帯	城山八幡	名古屋城 一帯	中村公園	白川公園	
科	種 ^a														
ミソサザイ	ミソサザイ														
ムクドリ	ムクドリ	21	25	160	135	150	93	83	8	32	1	38	32	14	
ムクドリ	コムクドリ				8	4			1						
ヒタキ	ヒタキ科の種														
ヒタキ	マミジロ														
ヒタキ	トラツグミ							1							
ヒタキ	ツグミ属の種														
ヒタキ	クロツグミ			1		1			1		1	1			
ヒタキ	マミチャヅナイ										1				
ヒタキ	シロハラ	1	1	1	1	12		1	7	8	2	7	5	1	
ヒタキ	アカハラ					1			1	3		7			
ヒタキ	ツグミ	3	4	14	30	130	7	9	3	15	6	25	25	23	
ヒタキ	ハチジョウツグミ														
ヒタキ	コマドリ								4	2					
ヒタキ	ノゴマ														
ヒタキ	コルリ											1			
ヒタキ	ルリビタキ					1			3	2					
ヒタキ	ジョウビタキ	5	3	6	4	2	2	2	3	3	1	3	2		
ヒタキ	ノビタキ				1							1			
ヒタキ	イソヒヨドリ	1	2		2		2								
ヒタキ	エゾビタキ					1			1			1	1		
ヒタキ	サメビタキ														
ヒタキ	コサメビタキ			4		2		1	1	1		8	2		
ヒタキ	キビタキ	1		2		5			8	5	1	3	2		
ヒタキ	オジロビタキ											1			
ヒタキ	ニシオジロビタキ														
ヒタキ	オオルリ					2			2	1		1	3		
スズメ	スズメ	82	29	70	98	45	50	44	9	100	6	88	34	84	
セキレイ	キセキレイ		1	4	2	2		2		1		2			
セキレイ	ハクセキレイ	7	7	7	9	3	14	9	2	4	2	7	7	4	
セキレイ	セグロセキレイ	1	2		3	2		6		5	4	4	3		
セキレイ	ビンズイ											3			
セキレイ	タヒバリ														
アトリ	アトリ科の種														
アトリ	アトリ				8							1			
アトリ	カワラヒワ	4	2	10	17	28	6	16	33	2	1	16	14	4	
アトリ	マヒワ								1						
アトリ	ベニマシコ														
アトリ	ウソ								1						
アトリ	シメ					1			2	5	3	6	1		
アトリ	イカル								6			3	36		
ホオジロ	ホオジロ							1			1	2			
ホオジロ	カシラダカ														
ホオジロ	アオジ			8	1	3		10	4	8	3	5			
ホオジロ	クロジ									1					
ホオジロ	オオジュリン						2								
キジ	コジュケイ														
カモ	コブハクチョウ											1			
カモ	マガモ (アヒル)											1			
カモ	マガモ (アイガモ)														
ハト	カワラバト (ドバト)	69	24	44	16	70	20	26	13	15	5	138	62	97	
チメドリ	ソウシチョウ														

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値											
		昭和		瑞穂	熱田		港		南	守山			緑・ 天白
		27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
		鶴舞公園	興正寺	瑞穂公園	熱田神宮	高座結御子神社・高蔵公園	戸田川	南陽町	見晴台・笠寺公園	東谷山	大村池・大久手池	小幡緑地	戸笠池・ほら貝池
科	種 ^a												
ミソサザイ	ミソサザイ									2		2	
ムクドリ	ムクドリ	28	1	135	4	13	120	199	92	60	64	16	52
ムクドリ	コムクドリ												
ヒタキ	ヒタキ科の種	1											
ヒタキ	マミジロ												
ヒタキ	トラツグミ									1			
ヒタキ	ツグミ属の種	6											
ヒタキ	クロツグミ	3			1								
ヒタキ	マミチャヅナイ	3				2							
ヒタキ	シロハラ	9	3	2	13	6	2		2	18	1	11	1
ヒタキ	アカハラ	1	1		1							1	
ヒタキ	ツグミ	40	4	12	25	9	25	10	98	35	3	10	7
ヒタキ	ハチジョウツグミ												
ヒタキ	コマドリ	1	1							1			
ヒタキ	ノゴマ												
ヒタキ	コルリ									1			
ヒタキ	ルリビタキ	1			2					6	1	4	
ヒタキ	ジョウビタキ	4	1	4	1	1	3	1	1	8	1	8	4
ヒタキ	ノビタキ			1				4				1	
ヒタキ	イソヒヨドリ			2							1		
ヒタキ	エゾビタキ			1					3				
ヒタキ	サメビタキ		1						1	2			2
ヒタキ	コサメビタキ	2		4	1		2		1	2		6	1
ヒタキ	キビタキ	3	5	6	3	1			2	18		4	2
ヒタキ	オジロビタキ												
ヒタキ	ニシオジロビタキ											1	
ヒタキ	オオルリ	2		2	2		2		2	5		1	1
スズメ	スズメ	70	15	186	18	62	54	367	112	35	40	83	29
セキレイ	キセキレイ			4	4			1		2		1	1
セキレイ	ハクセキレイ	4	2	11	2	5	9	21	3	3	4	2	6
セキレイ	セグロセキレイ	1		6			3	2		5	3	2	4
セキレイ	ビンズイ											1	
セキレイ	タヒバリ							8					
アトリ	アトリ科の種	3											
アトリ	アトリ												
アトリ	カワラヒワ	28	3	17	5	2	20	66	60	40	11	21	7
アトリ	マヒワ												
アトリ	ベニマシコ						1						
アトリ	ウソ									2			
アトリ	シメ	3		2	9		1		12	5		7	1
アトリ	イカル	4				1				14			
ホオジロ	ホオジロ						1			6	2		
ホオジロ	カシラダカ									2			
ホオジロ	アオジ	1		6	3		2		2	12	2	5	6
ホオジロ	クロジ									10			
ホオジロ	オオジュリン			58									10
キジ	コジュケイ									3	1	1	
カモ	コブハクチョウ												
カモ	マガモ（アヒル）												
カモ	マガモ（アイガモ）												
ハト	カワラバト（ドバト）	200	20	62	50	35	77	31	43	31	3	20	14
チメドリ	ソウシチョウ									31			

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値													観察された調査地の数
		緑					名東			天白					
科	種 ^a	39 勅使ヶ池	40 水広公園	41 成海神社・新海池	42 大高緑地	43 鷺津山	44 氷上姉子神社	45 明德緑地	46 猪高緑地	47 牧野ヶ池緑地	48 農業センター・針名神社	49 相生山緑地	50 八事裏山	51 大根池	
ミソサザイ	ミソサザイ											1		3	
ムクドリ	ムクドリ	36	11	52	100	11	25	30	16	55	10	7	6	17	51
ムクドリ	コムクドリ	15	6		80		15					2		13	
ヒタキ	ヒタキ科の種													1	
ヒタキ	マミジロ													1	
ヒタキ	トラツグミ				1				1			1		7	
ヒタキ	ツグミ属の種											2		2	
ヒタキ	クロツグミ				4	1	1					1		15	
ヒタキ	マミチャヅナイ											2		5	
ヒタキ	シロハラ	5	5	6	22	3	7	7	5	5	2	7	5	2	44
ヒタキ	アカハラ			2	3			1				2		2	17
ヒタキ	ツグミ	21	6	5	111	1	16	5	16	7	25	6	5	2	51
ヒタキ	ハチジョウツグミ														2
ヒタキ	コマドリ				1		1					1		9	
ヒタキ	ノゴマ													2	
ヒタキ	コルリ				1									5	
ヒタキ	ルリビタキ				2			1	1			3	2	1	17
ヒタキ	ジョウビタキ	2	2	1	4	1	1	4	3	5	5	2	8	1	49
ヒタキ	ノビタキ				1									2	16
ヒタキ	イソヒヨドリ														12
ヒタキ	エゾビタキ			1	1				3	1					13
ヒタキ	サメビタキ				1					1					8
ヒタキ	コサメビタキ	1		1	3		5	1	3	3	1	2	2	1	31
ヒタキ	キビタキ	7	5	1	7	3	3	7		1	1	4		2	34
ヒタキ	オジロビタキ														1
ヒタキ	ニシオジロビタキ											1			3
ヒタキ	オオルリ			1	2	1	2					1	1		25
スズメ	スズメ	121	26	65	66	9	36	20	33	54	13	15	50	43	51
セキレイ	キセキレイ	1			2	1		1	2	1				1	28
セキレイ	ハクセキレイ	6	3	6	7	1	2	6	1	7	3	2	1	6	51
セキレイ	セグロセキレイ	3	1	3	2			2	2	2	2	2		2	38
セキレイ	ビンズイ				4							1			7
セキレイ	タヒバリ														5
アトリ	アトリ科の種														1
アトリ	アトリ				30										5
アトリ	カワラヒワ	11	8	7	40		3	6	2	16	15	13	24	9	50
アトリ	マヒワ														1
アトリ	ベニマシコ	1													11
アトリ	ウソ														2
アトリ	シメ	1	3		5	1	7	6		1	2	5	9		32
アトリ	イカル				1		1	1				6			11
ホオジロ	ホオジロ	3		1	2		2						9		23
ホオジロ	カシラダカ											1		2	9
ホオジロ	アオジ	1	6	2	12	5	2	2	4	5	5	3	14	3	42
ホオジロ	クロジ				4							1			5
ホオジロ	オオジュリン													8	11
キジ	コジュケイ	2				1			2		1		1		10
カモ	コブハクチョウ														1
カモ	マガモ (アヒル)														1
カモ	マガモ (アイガモ)														1
ハト	カワラバト (ドバト)	22	2	65	50	5	20	15	7	36	12	8	5	26	51
チメドリ	ソウシチョウ														1

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値												
		庄内川												
科	種 ^a	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		庄内川河口	新川河口・藤前地区	日光川河口	庄内川 明德橋↘名四国道	庄内川 新前田橋↘明德橋	横井山緑地	庄内川 枇杷島大橋↘万場橋	庄内緑地	庄内川 水分橋↘庄内橋	庄内川 松川橋↘水分橋	庄内川 竜泉寺 吉根橋↘東名阪	庄内川 東谷橋↘吉根橋	矢田川橋緑地
	観察された種の数 ^a	147	79	68	92	81	66	75	82	64	47	72	81	31

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値													
		堀川			大江川		天白川		千種			北	中村	中	
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	
科	種 ^a	堀川	堀川上中流	黒川	大江川河口	大江川緑地	天白川河口	天白川緑地	東山公園	平和公園一帯	城山八幡	名古屋城一帯	中村公園	白川公園	
		白鳥付近							植物園						
観察された種の数 ^a		40	40	45	62	52	62	39	58	54	27	76	36	16	

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値											
		昭和		瑞穂	熱田		港		南	守山			緑・ 天白
科	種 ^a	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
		鶴舞公園	興正寺	瑞穂公園	熱田神宮	高座結御子神社・高蔵公園	戸田川	南陽町	見晴台・笠寺公園	東谷山	大村池・大久手池	小幡緑地	戸笠池・ほら貝池
観察された種の数 ^a		53	27	61	32	24	49	57	33	82	44	64	54

表3.3. どの鳥種がどの調査地で見られたのかを示す種別検索表（続き）。

		1回の調査で観察された羽数の最大値														観察された調査地の数
		緑					名東			天白						
科	種 ^a	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51		
		勅使ヶ池	水広公園	成海神社・新海池	大高緑地	鷺津山	氷上姉子神社	明德緑地	猪高緑地	牧野ヶ池緑地	農業センター・針名神社	相生山緑地	八事裏山	大根池		
	観察された種の数 ^a	74	35	55	91	27	42	47	44	55	51	55	32	51	2831	

注

a 亜種，不明種，交雑種，家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが，ここでは独自の1種として計上した。

表3.4. 藤前干潟におけるカモ目, チドリ目の出現。

目	種	調査地	各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値 ^a															
			2019年		2020年													
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月				
カモ 18種	マガン	1 庄内川河口														1		
		2 新川河口・藤前地区																
		3 日光川河口																
	オカヨシガモ	1 庄内川河口	53	48	11	15	6	6	2									2
		2 新川河口・藤前地区	88	39	15	26	15	5										
		3 日光川河口	140	4	2	1												
	ヨシガモ	1 庄内川河口						2										
		2 新川河口・藤前地区																
		3 日光川河口																
	ヒドリガモ	1 庄内川河口	15	18	22	16	58	68	6							14	258	
		2 新川河口・藤前地区	25	9	9	44	52	25	4									5
		3 日光川河口	5															
	アメリカヒドリ	1 庄内川河口								1								
		2 新川河口・藤前地区																
		3 日光川河口																
	マガモ	1 庄内川河口	56	51	168	165	53	31	10		13	13	31	51		91		
		2 新川河口・藤前地区	28	13	15	61	2	4				2	6	6		12		
		3 日光川河口	3	31		17	16	2	1							2		
カルガモ	1 庄内川河口	151	36	79	52	67	55	43	26	157	159	436	531					
	2 新川河口・藤前地区	116	116	81	75	33	52	12	5	125	255	449	109					
	3 日光川河口	10	57	56	21	8	7	2	8	7	17	17	45					
ハシビロガモ	1 庄内川河口	21	14	5	5	1			1					2		9		
	2 新川河口・藤前地区	2	2			6												
	3 日光川河口	2	4		8									6				
オナガガモ	1 庄内川河口	730	1480	1970	1360	35	15	1	1				234	1150				
	2 新川河口・藤前地区	308	404	94	566								9	102				
	3 日光川河口	2	293	5														
シマアジ	1 庄内川河口							3						6		28		
	2 新川河口・藤前地区																	
	3 日光川河口																	
トモエガモ	1 庄内川河口		2	4														
	2 新川河口・藤前地区																	
	3 日光川河口																	
コガモ	1 庄内川河口	298	53	135	56	78	78	10						396	469			
	2 新川河口・藤前地区	65	25	16	23	39	67	18						3	122			
	3 日光川河口	15	4	2		3	5	6										
ホシハジロ	1 庄内川河口	36	24	75	63	59	26	5	1	2	2	1	19					
	2 新川河口・藤前地区	2	15		64	22							1	124				
	3 日光川河口	5								2				1				
キンクロハジロ	1 庄内川河口	531	95	301	125	258	36	13	1	2	1	2	38					
	2 新川河口・藤前地区	12	4	5	23		1					2	1	62				
	3 日光川河口				3	1												
スズガモ	1 庄内川河口	351	397	487	298	1020	846	287	18	25	16	14	301					
	2 新川河口・藤前地区	1043	1367	623	410	607	495	104	1			1	410					
	3 日光川河口	2		3		1	12						8					
ホオジロガモ	1 庄内川河口		1	1	1	1												
	2 新川河口・藤前地区			1														
	3 日光川河口																	
ミコアイサ	1 庄内川河口																	
	2 新川河口・藤前地区		1															
	3 日光川河口																	
ウミアイサ	1 庄内川河口						2											
	2 新川河口・藤前地区																	
	3 日光川河口																	
チドリ 45種	ケリ	1 庄内川河口	7	5	5	4	2	2			7	15	10	5				
		2 新川河口・藤前地区						1										
		3 日光川河口						2	2									
	ムナグロ	1 庄内川河口				1		2						1				
		2 新川河口・藤前地区																
		3 日光川河口																
	ダイゼン	1 庄内川河口	41	57	43	33	23	41	65	17	19	37	35	38				
		2 新川河口・藤前地区	30	5			32	38	65	17		28	38	33				
		3 日光川河口						41										

表3.4. 藤前干潟におけるカモ目、チドリ目の出現（続き）。

目	種	調査地	各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値 ^a													
			2019年			2020年										
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
チドリ 45種	ハジロコチドリ	1 庄内川河口	3	2	3	3		3							2	
		2 新川河口・藤前地区														
		3 日光川河口														
コチドリ	1 庄内川河口			1			8	4	2	2	12	2				
	2 新川河口・藤前地区						1									
	3 日光川河口															
シロチドリ	1 庄内川河口	25	23	38	22	25	7	2			4	11	65			
	2 新川河口・藤前地区	10	9	5	33											
	3 日光川河口	10														
メダイチドリ	1 庄内川河口		1	1		1		4			2	5	8			
	2 新川河口・藤前地区											2				
	3 日光川河口							2								
オオメダイチドリ	1 庄内川河口											1	1			
	2 新川河口・藤前地区															
	3 日光川河口															
ミヤコドリ	1 庄内川河口											1				
	2 新川河口・藤前地区															
	3 日光川河口															
セイタカシギ	1 庄内川河口							2								
	2 新川河口・藤前地区															
	3 日光川河口															
タシギ	1 庄内川河口	8	9	9	5	5	2						6			
	2 新川河口・藤前地区					1										
	3 日光川河口															
オオハシシギ	1 庄内川河口	3		4			4						1			
	2 新川河口・藤前地区															
	3 日光川河口															
オグロシギ	1 庄内川河口	6				1	2	2			3					
	2 新川河口・藤前地区						1	2								
	3 日光川河口															
オオソリハシシギ	1 庄内川河口	14					16	16		1		1	7			
	2 新川河口・藤前地区						16	17				1	3			
	3 日光川河口						15									
チュウシャクシギ	1 庄内川河口						63	78			2	2				
	2 新川河口・藤前地区						9	247								
	3 日光川河口						22	2								
ダイシャクシギ	1 庄内川河口		2	2	2	2	1									
	2 新川河口・藤前地区		2													
	3 日光川河口															
ホウロクシギ	1 庄内川河口	1					3	2			2	1				
	2 新川河口・藤前地区						2	2								
	3 日光川河口															
ツルシギ	1 庄内川河口	4					2									
	2 新川河口・藤前地区															
	3 日光川河口															
アカアシシギ	1 庄内川河口			1									1			
	2 新川河口・藤前地区										4					
	3 日光川河口															
コアオアシシギ	1 庄内川河口	3							1		15	4	2			
	2 新川河口・藤前地区															
	3 日光川河口															
アオアシシギ	1 庄内川河口	13	4	3	2		24	11	3	6	35	19	29			
	2 新川河口・藤前地区						11	60			2	2	1			
	3 日光川河口															
キアシシギ	1 庄内川河口						2	12			15	4				
	2 新川河口・藤前地区							11			3	1				
	3 日光川河口							25								
ソリハシシギ	1 庄内川河口						3	10	3	19	39	37	31			
	2 新川河口・藤前地区							7			1	1				
	3 日光川河口							6								
イソシギ	1 庄内川河口	6	5	9	8	7	4	5	1	3	5	5	5			
	2 新川河口・藤前地区	2	2	2	2	2	1	5		5	2	1	1			
	3 日光川河口	1					1	1					1			

表3.4. 藤前干潟におけるカモ目、チドリ目の出現（続き）。

目	種	調査地	各調査地で1回の調査で観察された羽数の最大値 ^a														
			2019年		2020年												
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
チドリ 45種	キョウジョシギ	1 庄内川河口						2	4								
		2 新川河口・藤前地区															
		3 日光川河口															
オバシギ	1 庄内川河口		1					5	5				24	23	9		
	2 新川河口・藤前地区							3	6					24	3		
	3 日光川河口																
コオバシギ	1 庄内川河口		2					2	1				1	2	1		
	2 新川河口・藤前地区							2	1					2			
	3 日光川河口																
トウネン	1 庄内川河口		3					4	305					5	85	15	
	2 新川河口・藤前地区							71	618								
	3 日光川河口								4								
ウズラシギ	1 庄内川河口								1	1							
	2 新川河口・藤前地区								1					3			
	3 日光川河口																
サルハマシギ	1 庄内川河口								1							1	
	2 新川河口・藤前地区																
	3 日光川河口																
ハマシギ	1 庄内川河口	1270	1021	1120	1080	850	1020	2100							53	989	
	2 新川河口・藤前地区	818	363	25	1055	820	932	2155							19	57	
	3 日光川河口	8	2				620										
キリアイ	1 庄内川河口								1						2		
	2 新川河口・藤前地区																
	3 日光川河口																
エリマキシギ	1 庄内川河口		1											1	1		
	2 新川河口・藤前地区														1		
	3 日光川河口																
アカエリヒレア シシギ	1 庄内川河口								14								
	2 新川河口・藤前地区																
	3 日光川河口																
ユリカモメ	1 庄内川河口	30	321	368	1050	1030	214	1								1	
	2 新川河口・藤前地区	4	10	104	177	152	70	1									
	3 日光川河口		3	15		41											
ズグロカモメ	1 庄内川河口	31	34	30	22	33	2						1	1			
	2 新川河口・藤前地区	6	4		8	10	1								1		
	3 日光川河口		1														
ウミネコ	1 庄内川河口	112	16	26	15	13	2	1	23	211	269	194	113				
	2 新川河口・藤前地区	3		12	1					1	94	61	7				
	3 日光川河口																
カモメ	1 庄内川河口	5	23	8	265	214	36										
	2 新川河口・藤前地区			1	159	69	26										
	3 日光川河口		12	16	26	50	3										
シロカモメ	1 庄内川河口																
	2 新川河口・藤前地区																
	3 日光川河口				1												
セグロカモメ	1 庄内川河口	28	21	25	27	29	15							1	11		
	2 新川河口・藤前地区	2	7	2	10	5	2									2	
	3 日光川河口		3	2	3												
オオセグロカモ メ	1 庄内川河口	6	6	7	8	9	5									8	
	2 新川河口・藤前地区				1												
	3 日光川河口																
ハシブトアジサ シ	1 庄内川河口								1								
	2 新川河口・藤前地区																
	3 日光川河口																
コアジサシ	1 庄内川河口						6	87	16	6	2						
	2 新川河口・藤前地区						12	60	5	5							
	3 日光川河口																
アジサシ	1 庄内川河口							2	2						2		
	2 新川河口・藤前地区								3								
	3 日光川河口																
クロハラアジサ シ	1 庄内川河口												1	1			
	2 新川河口・藤前地区					1									1		
	3 日光川河口																

a 各行の合計に占める割合によって彩色した。10%以上20%未満なら淡色，20%以上30%未満なら中色，30%以上なら濃色とした。

謝辞

この調査でも、以前と同様、実際の調査員として、野鳥生息状況調査の受託者である名古屋鳥類調査会（前会長 森井 豊久 氏）のみならず、日本野鳥の会愛知県支部と尾張野鳥の会のみなさまから、多大な協力を仰ぐことができた。今回調査員として1年間に亙って暑い日も寒い日も現地に赴いていただいたのは、秋山 幸之朗 氏，天野 弘朗 氏，今飯田 潔 氏，浦上 力雄 氏，江ノ本 伸一 氏，大崎 敏広 氏，大主 順一 氏，大橋 修 氏，大原 一修 氏，小川 和彦 氏，川口 航 氏，木野 浩一 氏，貴船 貢 氏，木村 純子 氏，久納 温子 氏，近藤 孝 氏，近藤 哲雄 氏，佐久間 淑章 氏，佐藤 武男 氏，佐藤 文昶 氏，澤野 史枝 氏，沢辺 幹和 氏，芝原 隆男 氏，杉浦 繁夫 氏，杉浦 瑠美子 氏，関上 裕文 氏，竹田 恵一郎 氏，谷 幹雄 氏，佃 春雄 氏，徳田 祐一 氏，鳥居 万州夫 氏，中山 雅晴 氏，野村 朋子 氏，平井 直人 氏，古井 繁孝 氏，古澤 颯一 氏，前田 崇 氏，三枝 卓 氏，右高 幸男 氏，村上 修 氏，村瀬 真琴 氏，森 真 氏，矢田 和子 氏，山田 律子 氏，山本 卓也 氏，米倉 静 氏，渡邊 明子 氏，渡辺 滋 氏，渡邊 由佳 氏（五十音順）の方々である。この中には、この報告書を作成する際に、作成担当者からの質問に対応していただいた方もいる。

調査地の管理者には、調査にあたりご配慮をいただいた。調査地には私有地が含まれており、熱田神宮，興正寺，城山八幡宮，高座結御子神社，成海神社，氷上姉子神社（五十音順）には、これまで同様、調査を受け入れていただいている。これらのほかは名古屋市内の緑地・公園・道路といった公有施設だった。

文献に関しても協力を得ることができた。日本野鳥の会愛知県支部長 新實 豊 氏からは、秘笈に蔵された『日本野鳥の會中京支部報告（第一回）』（太田 1941）を拝見させていただいた。

以上の方々に、ここに記して深く感謝を申し上げる。

また、とりわけ、森井 豊久 氏（名古屋鳥類調査会前会長）と野村 朋子 氏（東海緑化株式会社）には、この調査の最初から本書成立の最後の瞬間まで

ひとかたならぬご尽力をいただいた。お忙しいなか細かな問合せにも応じていただき、ときには調査員との仲立ちをしていただき、疑義を解消していただいた。お二方には格別の感謝を申し上げます。

最初の調査の開始は1975年5月、今回の調査の終了は2020年10月であり、45年間もの歳月が経過している。森井前会長をはじめ、何名かの方は、その当初の頃からこの調査にご参加いただいている。そのようなかけがえのない労なくしてこれほどの長期間にわたりデータを収集することはできなかった。これまで携われた全ての方々に心から敬意を表する。

藤前干潟の野鳥を見るなら



藤前干潟に飛来する野鳥を気軽に見られるのが、干潟の東、港区稲永公園にある名古屋市野鳥観察館です。

野鳥観察館は、1985年（昭和60年）4月、財団法人日本宝くじ協会から名古屋市へ寄贈され、市が管理運営している施設です。干潟に接した地上2階建ての建物には、30倍の望遠鏡が計30台備えられ、季節に関わらず室内で快適にシギ・チドリ類など干潟の野鳥観察を楽しむことができます。

藤前干潟の野鳥を熟知した職員が常駐し、現在の飛来状況や望遠鏡の使い方、写真の撮り方などの質問に答えます。

干潟は潮が引くと現れるので、観察に適した潮の具合は毎日変わります。また、西に干潟を見るので午後は観察しにくくなります。鳥の飛来状況とあわせ、前もって電話で問い合わせるとよいでしょう。

野鳥観察館の南隣には、2005年（平成17年）3月、環境省稲永ビジターセンターが開館しました。この施設は藤前干潟を含む周辺的环境保全をテーマとした施設で、野鳥観察館で見た鳥を稲永ビジターセ



夏羽のダイゼン
野鳥観察館のマークはこの鳥をデザインしたもの



望遠鏡が固定され初めてでも見やすい

ンターで調べるなど、両施設を相互に利用することもできます。

藤前干潟のラムサール条約登録20周年を迎えるにあたり、ラムサール条約登録湿地藤前干潟プロムナード事業として、2020年度から2021年度にかけては案内表示の設置や間伐等により周辺が整備されました。

名古屋市野鳥観察館

環境省稲永ビジターセンター

所在地	所在地名古屋市港区野跡四丁目 11 番 2 号 あおなみ線野跡駅より徒歩 10 分	
入館料	無料	
開館時間	午前 9 時～午後 4 時 30 分 開館時間が変更となる場合があります。あらかじめ施設にお尋ねください。	
休館日	月曜日（祝日の場合その翌日） 毎月第 3 水曜日（祝日の場合第 4 水曜日） 12 月 29 日～翌年 1 月 3 日	
連絡先	電話 052-381-0160 ファクシミリ	電話 052-389-5821 ファクシミリ 052-389-5822
団体利用	15 名以上の団体利用は電話で 事前に予約してください。	ウェブサイトの案内に従って 事前に申し込んでください。
ウェブ サイト	http://www.inae-bird-watching-place.org/index.html	https://chubu.env.go.jp/wildlife/fujimae/institution/index.html

1 庄内川河口 (水系 庄内川)

調査員 沢辺 幹和

国道23号線庄内新川橋から南の庄内川河口と稲永公園一带を含む地域が調査区域である。

庄内川河口にはヨシ原があり、干潮時は広大な干潟、藤前干潟ができる。藤前干潟は、国指定鳥獣保護区の特別保護地区、ラムサール条約登録湿地となっている。

稲永公園内には名古屋市野鳥観察館、環境省稲永ビジターセンターが



あり、野鳥観察や干潟等の学習ができる。野鳥観察館では常設の望遠鏡で手ぶらで来ても気軽に野鳥観察を楽しめる。この他公園内には稲永スポーツセンター、野球場、テニス場、サッカー場があり市民の憩いの場となっている。

調査地の特色

干潟、河川では水鳥が、公園内では野山の鳥が見られ、1年で100種類以上が観察され、名古屋市内では貴重な場所になっている。

ここ近年、コアジサシの飛来が激減して、初夏の風物詩のダイビングが見られなくなり、多くても数十羽程度の飛来数だった。

左岸堤防の工事のためヨシ原が失われ、また、大雨で干潟の形も変わり、干潟に砂が蓄積して餌が採れなくなり、シギ、チドリの飛来が少なくなった。

今回の調査でミヤコドリが初めて観察された。

2 新川河口・藤前地区 (水系 庄内川) 調査員 野村 朋子

新川の国道 23 号線より導流堤の先端付近まで（新川河口）と、日光川河口の南陽海岸（藤前海岸）前の干潟が広がる場所（藤前地区）が調査区域である。

新川河口には干潟が広がり、ヨシ原がある場所もある。河口は導流堤で庄内川と分けられているが、野鳥は庄内川河口と合わせて利用している。南陽海岸前の藤前干潟は、埋め



立てを免れ、2002 年に国指定鳥獣保護区、さらにはラムサール条約に登録された場所であり、大都市の中であって豊かな水辺の自然を有している。南陽海岸に面して環境省藤前活動センターと名古屋市南陽工場がある。環境省藤前活動センターは、藤前干潟に入って学ぶイベントを定期的に行っているほか、館内には干潟に関する展示が充実している。

調査地の特色

干潟にはトウネン、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ等の旅鳥や、ハマシギ、ダイゼンのような越冬期を過ごす多くのシギ、チドリが飛来し、採餌している。また、冬季にはスズガモやキンクロハジロ、オナガガモ等のカモ、カンムリカイツブリも多く利用している。ヨシ原は夏鳥のオオヨシキリなどが利用しているほか、カモやシギの休息や隠れ場所であり、水質浄化の役割も果たしている。また、南陽工場はカワラバトのすみかとなっているほか、煙突をハヤブサやチョウゲンボウが頻りに利用している。

前回（2014 年度）と比べると、オカヨシガモは増えたが、その他のカモ（マガモ、カルガモ、オナガガモ、キンクロハジロなど）は減少している。カンムリカイツブリは近年急激に増加している。シギの仲間のオオソリハシシギは飛来数が減少した。前回の調査時には減少著しいと記載のあるハマシギは、かつての飛来数には及ばないが、近年は減少せず飛来数は横ばいである。ユリカモ

メは、前回調査より増加しているが、近年増加傾向にあるというわけではなく、2019年の冬～春は多く飛来した。コアジサシは藤前干潟周辺に繁殖できる場所がなくなり、飛来数が減少した。ミサゴは2000年頃から増え、今回も減少はなく、前回調査と同数程度が確認できている。チョウゲンボウは近年、藤前干潟周辺で繁殖が確認されており、観察回数が増えている。クロツラヘラサギは、藤前干潟周辺では2019年は8年ぶりに飛来が確認された。

3 日光川河口 (水系 庄内川) 調査員 古井 繁孝
(地図は新川河口・藤前地区と同じ)

名古屋市西部と飛島村との境界を流れる日光川左岸、飛島大橋からサンビーチ日光川、国道23号線を経て日光川河口に至る約2kmの河川敷と中央境界線までの水面並びに河口部の小さな干潟が調査地である。環境省藤前活動センターより西へ700mに位置する。全域が国指定鳥獣保護区になっている。

調査地の特色

日光川河口の水閘門より上流域は水位調整が行われ、大きな湖の様相を呈している。広い河川敷にヨシ、ススキ、雑草が繁茂し草地化し、その中にエノキ、センダン、トウカエデ、ネズミモチ等の樹木が成長した林や堤防周辺にも林地が存在する。そこでは草原や森林性の野鳥、カモ類、サギ類、カモメ類、カワウなどの水鳥が多くみられる。これらを追ってチュウヒ、ノスリ、チョウゲンボウや川魚を食べるミサゴなどの猛禽類がみられる。河口部の干潟にはシギ類、チドリ類、カモ類が観察される。

付近の河川や都市高速道路の工事、川岸の樹木伐採及び砕石工場の影響で、近年の野鳥の生息数は著しく減少傾向にある。

4 庄内川（明德橋～庄内新川橋）（水系 庄内川）

調査員 近藤 孝

調査地域は、東海通、明德橋・日の橋から国道23号線、庄内新川橋までの2.4 km区間の庄内川・新川下流部である。定点及びラインセンサスで調査を行った。

岸沿いは広くヨシ原が広がり目視での観察は困難な場所が多いため、鳴き声での判断をカウント結果としたが、実際の数はい今回の結果よりも多いと考えられる。



調査地の特色

調査区域は名古屋市内で最も広いススキ・オギ類を含むヨシ原を有し、冬場はチュウヒを主とする猛禽類やオオジュリンの群れ、春から夏にはオオヨシキリやセッカの繁殖地になっている。

また最下流の河口部はラムサール条約登録湿地藤前干潟となっているため、調査区域が干潟の後背地としての役割を担っており、シギ・チドリ類の休息場所となっている。休息に訪れる鳥は、最大干潮時間よりも潮が引き始めてからのほうが数が多く、観察に適している。

河川敷の鉄塔はカワウやアオサギの繁殖場所になっているが、春の渡りの際には50羽を越えるチュウシャクシギも埒として利用している。

夏場のコアジサシの減少や、冬期にハイイロチュウヒやコミミズクが観察されたのは、周辺環境の悪化により埒や捕食場所が減少したためかもしれない。水際でよく見られたバンは著しく減少し、かわって同じクイナ類のオオバンが数を増やした。カモ類は引き続き数を減らしているが、オカヨシガモだけは数を増やしている。シギ・チドリ類は総数を減らしているが、アオアシシギやオオハシシギは越冬個体の数を増やしている。

5 庄内川（新前田橋～明德橋） （水系 庄内川）

調査員 沢辺 幹和

庄内川新前田橋から明德橋までが調査地域である。右岸には以前の調査より少なくなったがヨシ原が広がり、左岸には緊急河川道路が整備され散歩道になっている。大当郎橋の近くには、大学の競艇部の施設があり、庄内川での練習風景がみられる。

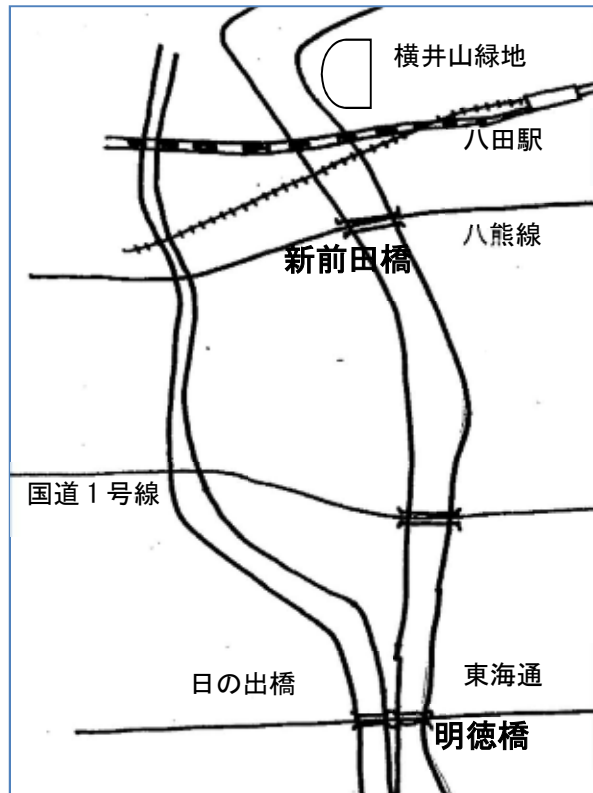
近年河川の護岸工事が進んでヨシ原の減少が進み、景観が様変わりしてきている。

調査地の特色

ヨシ原では初夏から夏にかけてオオヨシキリ、キジがさえずり、冬季にはオオジュリン等の冬鳥が見られる。秋から春頃はカモ類・カモメ類が、干潮時の干潟ではシギ、チドリが見られます。時には猛禽類も姿をみせ、数は多くないが、野の鳥から水鳥まで見られる。

国道1号線の一色大橋近くには立派な松林が残り、景観を楽しみながら、気軽に探鳥できる場所になっている。

堤防工事でヨシ原が刈り取られたためオオヨシキリ、キジが減少した。コアジサシの飛来も少なくなったが、冬季にスズガモ、キンクロハジロ、オオバンが増えた。今回はマガン、ヒクイナが見られた。



6 横井山緑地・庄内川（横井大橋上流）（水系 庄内川）

調査員 平井 直人

庄内川万場大橋の下流，流れが大きく蛇行する左岸に位置する。緑地には遊具やテニスコート，ジョギングコースなどが整備され，四季折々の花が咲き，周辺住民の憩いの場となっている。

調査地の特色

緑地内の植栽樹木も多く，隣接する準源寺の境内にはエノキ，ムクノキの大木があるため，観察できる野鳥の種類も多い。堤防を上がると庄内川の河川敷が広がり，スズメやカラス，ムクドリなど，多くの野鳥が緑地と河川敷とを行き来している。

現在公園内再整備中である。以前は園内全体に大きな樹木が育っていたが，サクラ林や準源寺境内周辺を残して大木を伐採し，安心して楽しめる明るい公園にする計画である。健康器具広場や遊具広場などを広く整備するため，野鳥観察のエリアは限定される。



7 庄内川（枇杷島大橋～万場橋） （水系 庄内川）

調査員 木村 純子

調査区域は枇杷島橋から万場大橋までの間で、多目的広場や野球場、畑などがあり、車両や人の出入りが多い。

調査地の特色

河川敷を利用して多くの球技用グラウンドが整備されている。また、市民菜園として利用されている部分と雑木林や竹藪となっている部分が重なり合い、川辺も近く複合的環境になっている。

そのため、季節を通して多種の野鳥が観察できる。特に春秋の渡りの季節は私たちを楽しませてくれる。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策のため、4月から6月くらいまで緑地内の野球などのグラウンド施設が使用停止となった。

そのため、野球グラウンドの隅でケリが、サッカーグラウンドでヒバリが営巣している姿がはっきりと確認できた。

また、枇杷島橋下で繁殖するイワツバメの数は50羽を超え、採餌・巣材探しは圧巻である。



8 庄内緑地 (水系 庄内川)

調査員 渡邊 明子

庄内川の右岸，小田井遊水地を利用した「水と緑と太陽」をテーマとした約 40 ha の公園。樹木の多い公園で，鳥たちの好む実のなる木がたくさんある。ヤマモモ，クロガネモチ，ピラカンサ，センダン等四季を通じて鳥が集まる。



調査地の特色

園内では，渡りの時期にキビタキ，オオルリ，サンコウチュウが飛来して楽しませてくれる。池ではカモ類も多く越冬する。また，街中では珍しいフデリンドウが観察される。

9 庄内川 (水分橋～庄内川橋) (水系 庄内川)

調査員 村上 修

水分橋から庄内川橋にかけての河川敷が調査地である。河川敷は農地，サッカー場，野球場，自転車道などに利用され整備されていて歩きやすい。



調査地の特色

樹木はセンダンやクワ，ナンキンハゼなどが点在し，ムクドリ，ヒヨドリ，キジバトなどのエサになる，農地の近くに小さな林とササ原が見られる。少なくとも年に一回は草刈りが実施されるので，立ち入れないほどの草原は少ないが，ふれあい橋両側などは草

原となっている，草はセイタカアワダチソウ，ススキなどが多くセッカやホオジロが営巣地として利用している。新川中橋より下流は広い芝生が広がり春にはヒバリの囀りが聞こえる，川にはカモ類やカンムリカイツブリ，カイツブリが見られ，夏の堰にはササゴイなどサギが集まる。名古屋市内では見られなくなったヒバリやキジなども多く見られる貴重な地域と考えられる。

新型コロナウイルス感染症の影響などもあり，河原で遊ぶ人が増えた。テントを張りバーベキューをして楽しんでいるが，そのままゴミを放置して帰ってしまう人がいて，ごみの量が非常に増えた。また中州に入って遊ぶ人も多く，コチドリの営巣の妨害になっている可能性が懸念される。

10 庄内川（松川橋～水分橋）（水系 庄内川）

調査員 鳥居 万州夫

庄内川の河口から約 25 km，守山区の松川橋から国道 19 号線の勝川橋をくぐり，守山区と北区をつなぐ水分橋までの約 3 km が調査区域である。この場所は東海豪雨（2000 年）で，庄内川の水位が上がり，現在補強及び改修工事中である。庄内川流域では，庄内川流域治水協議会が治水対策を進めている。工事中の河川流域には，野鳥の棲み処はない。



11 庄内川竜泉寺（吉根橋～東名阪）（水系 庄内川）

調査員 中山 雅晴 ・ 澤野 史枝

庄内川の河口から 27 km 地点に特別緑地保全地区の竜泉寺の森がある。その北側，守山区の吉根橋～東名阪庄内川橋までの左岸の河川敷には 4 km に及ぶ自然が残されている。川には堰もあり山野の鳥から水辺の鳥まで見られる。

調査地の特色

この調査地区は特色により、大きく 3 つに分けることができる。

まず、竜泉寺を中心とする森は樹木が生い茂り、メジロ、シジュウカラ、ヒヨドリに、季節の渡り鳥のキビタキ、オオルリ、センダイムシクイ等がみられる。昆虫も多く、9月にハンミョウが見られた。次に、庄内川流域周辺では、ヨシ原、ササ原、河原等で、カモ類、サギ類、キジの鳴き声にカイツブリ、オオバン、イカルチドリが見られた。さらに、吉根地区の田畑では、春のヒバリ、秋のノビタキ、数百のスズメにケリの繁殖が見られた。最後に、各所の上空で、オオタカ、ミサゴ、トビ、チョウゲンボウが観察された。



12 庄内川（東谷橋～吉根橋）（水系 庄内川）

調査員 江ノ本 伸一

岐阜県多治見市方面の溪谷を抜けてきた庄内川が、濃尾平野に流れ出した直後の区域である。瀬戸市から名古屋市に入った東谷橋から吉根橋までが調査区域である。両岸の堤防上は道路になっており、車が通行できるところも多い。

調査地の特色

土岐川が岐阜県との県境にある溪谷から抜けて庄内川に名を変え濃尾平野に流れだした後で、中流域でありところどころ瀬と渚があり比較安定した水量を保ち緩やかに蛇行している。河川敷は広くところどころに林があり自然の生態系を維持できる環境が残る貴重な場所である。堤防は大きく高さもあり人の生活域との境になっている。

東谷橋付近では野鳥の種類、数が多く見ることができ猛禽類もよく見られた。支流の合流地にはヤナギの木やヨシが広がる個所があり虫も多くこれらを食すツバメ等の野鳥が良く見られる。最近では田畑が少なくなり住宅街に変わってしまいヒバリが営巣する場所が少なくなっている。



13 矢田川橋緑地 (水系 庄内川) 調査員 川口 航

河川敷が緑地公園になっており、
周辺は住宅街であるが、公園や寺院
がある。小規模ではあるが林もあ
る。

水鳥をメインに野山の鳥もみられ
る。

河川敷の草刈りが行われると鳥相
が変化することがある。



14 堀川 (白鳥付近) (水系 堀川) 調査員 大橋 修

熱田区の中央を流れる堀川の旗屋
橋から白鳥橋までの間と熱田神宮公
園周辺が調査地域である。

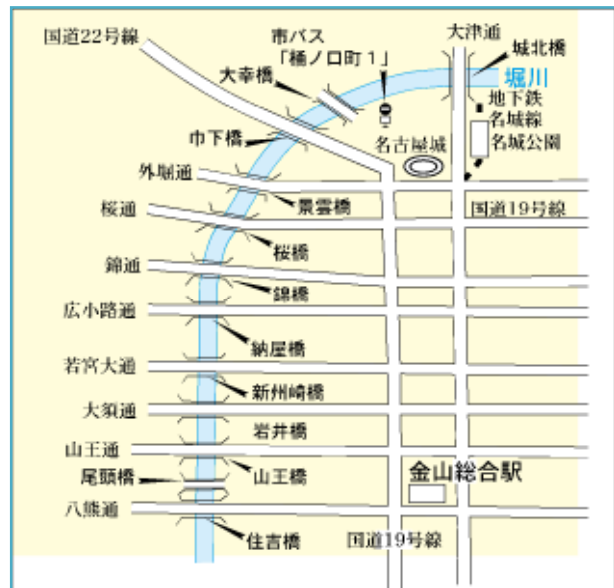
左岸には熱田神宮公園，右岸には
名古屋国際会議場や白鳥公園，白鳥
庭園があり，まとまった緑がある。

調査地の特色

白鳥公園内にある貯木場跡 (太夫
堀) と堀川には冬場にカモやユリカ
モメが多数集まり，一番賑やかとなる。兩岸にある白鳥公園，白鳥庭園，熱田
神宮公園の植栽は鳥たちの餌場であり，夏の渡り鳥の中継地となっている。



名古屋市ほぼ中央を南北に流れる堀川の北区名城一丁目，城北橋より，中川区尾頭橋一丁目，尾頭橋までの約 6 km が調査区間である。城北橋から国道 22 号線付近までは川幅も狭く，両岸からも望めるが，それより下流は両岸に民家が並んでいてその間の橋の上から上下流を眺めての探鳥である。



調査地の特色

城北橋から尾頭橋まで堀川沿いを見たが，県スポーツ会館北の堀川はカモのたまり場になっていた。特にヨシの中にコガモが集まっていた。コガモにとってヨシ原は貴重な環境だと思われる。名城公園西側の筋違橋より上流では川沿いの樹木に山野の小鳥も見られた。松重閘門の川幅が広い所では，流れが緩やかなためかカモ，サギ，カモメなど多くの水鳥が集まって休んでいた。

最近ヨシガモ，オオバンが飛来するようになってきた。

16 黒川 (水系 堀川)

調査員 木村 純子

北区を流れる通称「黒川」は堀川の上流部の名称である。矢田川と堀川（黒川）が交差する三階橋ポンプ場下にある夫婦橋から名城公園付近の城北橋までの約 3 km は調査区域である。この区域のほとんどもに遊歩道が整備され、市民の憩いの場となっている。



調査地の特色

今回は観察できなかったヨシガモが 10 羽以上の群れで 12 月から 4 月まで観察できた。また、春秋には渡り鳥の休息の場所ともなっているようで春秋はヒタキ類、ムシクイ類が数種観察できた。冬はツグミ類、ジョウビタキが多く観察できる。春に数羽のカワセミが観察でき、営巢の可能性もあるが、確認まで至っていない。

17 大江川河口 (水系 大江川)

調査員 芝原 隆男

調査地区の大江川は、兩岸の半分以上が工場敷地である。コンクリートの堤防が兩岸を全通しており、川の全長の 3 分の 1 は川底に至るまで人口の溝である。



調査地の特色

水路のような川だが、左岸は工場地帯で人間の姿がなく、水鳥にとってはオアシスである。魚類も幼魚か

ら産卵魚（大型のクロダイ）、エビ、ウナギ、ハゼ、ボラ、セイゴ等々種類も多い。カワウがウナギを食べるシーンに出会うときもある。この2,3年、上流に位置する大江川緑地ではササゴイのコロニーができている。

ただし、今後は河口までのほとんどを埋め立て予定のため、調査ができなくなりそうである。

18 大江川緑地 (水系 大江川)

調査員 佃 春雄 ・ 久納 温子

大江川緑地は、南区を東西に流れる大江川約2 kmを暗渠にし、上部を緑地にした都市公園である。周辺には工場や住宅地が広がり、緑地内を散歩やジョギングする人が多く、市民の憩いの場となっている。人工池や小川、噴水があり、ネズミモチ、クログネモチなど実のなる植物も多く植えられている。草地のある西端は河口の為、渡り鳥の往来がある。



国道 23 号線，天白川扇川橋付近から西へ名古屋港にそそぐ区域。周辺は住宅地や工場に囲まれており，天白大橋下流の左岸側（東海市側）にはドッグランのある新宝緑地が隣接している。天白大橋より西の川岸は工場などの私有地のため，その付近は東海市側から観察を行った。



調査地の特色

天白大橋付近にはヨシの生えているところが残っており，オオヨシキリやオオジュリンなどヨシ原を利用する鳥が見られる。また，干潮時には小さいながら干潟が現れ，シギ・チドリ類やサギ類，カモ類などが餌場や休息の場として利用している。冬にはホシハジロ，キンクロハジロ，スズガモなどの多くのカモ類が飛来する。春の渡りの時期にはチュウシャクシギ，ソリハシシギ，トウネン，キョウジョシギなどが見られ，冬には 60 羽以上のハマシギの群れが見られる。イソシギは一年を通してよく見られる。また，カワウも周年大群が見られ，休息しているところや集団での魚の追い込み漁が観察された。ミサゴが増え，ハンティングがよく見られるほか，ハヤブサやチョウゲンボウなどの猛禽類もときどき現れる。コアジサシは，天白大橋下流で 1 つがい구가求愛給餌するところや他個体と追いかけあうところが観察された。ササゴイは市内では頻繁に見られる種ではなかったが，港区を中心に観察されることが多くなり，天白川河口でも良くみられるようになった。婚姻色の現れた成鳥や幼鳥も見られた。オオバンが非常に多くなった。近隣の港区や藤前干潟などでも定着したが数の多さでは天白川が目立つ。カンムリカイツブリも増えており，多い日には 100 羽以上が観察された。干潟周辺ではハシボソガラスが多く，木のあるところや建造物の上などではハシブトガラスが多く見られ，環境によって棲み分けている様子が見られた。

天白川の中流域，天白区役所から野並付近まで3 km にわたる天白川両岸につづく緑地である。河川敷に整備された遊歩道や広場では，ウォーキングや犬の散歩をする人が多い。付近には住宅街や学校があり，平日は通勤・通学をする人の姿も多く見られる。



調査地の特色

草刈りなど堤外地の手入れが行き届いており，年間を通じてジョギングや釣りなどの利用者が多い。そのため，開けており観察を行いやすい反面，鳥類の隠れ場所が少なく，警戒心の強い種はあまり見られない。低水路には浅瀬が多く，セキレイ類やイソシギ，イカルチドリを見られるポイントになっている。サギ類，カワウはほとんどの月で観察されたほか，夏季にはササゴイ，冬季にはヒドリガモやコガモなどが多く見られた。

21 東山公園（植物園）（千種区）

調査員 天野 弘朗

約 260 ha の林に囲まれており、植物園はそのうち約 27 ha である。東海の森や万葉の散歩道、竹林、梅林などがあり緑豊かな環境を有している。1 年を通じて野鳥観察が楽しめる。

環境省の日本の音風景百選認定。
愛知県指定鳥獣保護区。



調査地の特色

自然林を活かし管理が行き届いた園内は、樹林性の種が主である。周年見られる種はヒヨドリ、シジュウカラ、メジロ、エナガ、コゲラ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、キジバトなど。冬期はシロハラ、ジョウビタキ、ルリビタキ、アオジなどが増える。春秋の渡りの時期はヒタキ類、ムシクイ類などの中継地になっている。前回より種数、個体数は少なく、特に秋～冬は非常に少なかった。今回の結果を見る上で重要なのは、新型コロナウイルス感染症対策で4月10日から6月1日まで休園していたことである。4月下旬は、渡りの通過と思われるコマドリ、エゾムシクイ、オオルリなど多数確認された。4月後半と5月には繁殖に関わる行動が前回より多く確認された。4月上旬は、渡りの種と個体数の確認数は少なく、5月は渡り種は僅かしか確認されなかったことから、今年の調査地での渡り通過は、種により多少違いがあるが4月の中下旬がピークと思われる。4月上旬の確認が少なかったのは、時期的な理由か休園の影響なのかは不明だが、渡りの種の観察が多いことと、繁殖行動が前回より多く確認されたのは休園期間であった。休園中も維持管理する作業は行われており、人の動きは皆無ではないので、人間の絶対数と行動様式が影響していると考えられる。

東部丘陵地に広がる約 147 ha の墓地公園。西北端には約 6.5 ha の猫ヶ洞池，南部には約 50 ha の市民の森と呼ばれるアカマツ等の針葉樹，コナラ，アベマキ等の落葉広葉樹，ソヨゴ，ヒサカキ等の常緑広葉樹からなる自然林が広がっている。市民の森の南側に東西に伸びる谷戸にあるハンノキ湿地は，かつて乾燥化が進んだものを周辺地域から湧水を引



きこんで溜め池として再生した湿地である。溜め池，湿地，竹林，ヨシ原等に加え，ボランティアの耕作する田んぼ，畑もあり，市街地の中の里山としての環境が保たれている。

調査地の特色

市民の森の南端を東西に横切る中道沿いには，水源の奥池から大坂池まで小川が流れ，間に竹林，湿地，ヨシ原，水田，畑等多様な環境が広がっており，猫ヶ洞池も含めて，毎年 70～80 種ほどの野鳥の生息が確認されている。観察される野鳥の種数，個体数がピークとなるのは，例年，冬鳥の飛来が本格化する 10 月末から，それに続く冬鳥のシーズン。猫ヶ洞池のヨシ原周辺には 100 羽を越える越冬カモの群れが観察される。また，春・秋の渡りの時期には，日替わりで多くの種類の渡り鳥を観察することができ，渡りの途中の中継地としての役割も果たしている。

23 城山八幡宮 (千種区)

調査員 山本 卓也

末盛交差点の北東に位置し、駐車場の敷地内には末盛城跡があり、一帯は閑静な森になっている。緑地保全地区、名古屋市野鳥保護区。



調査地の特色

歴史のあるエリアなので、アベマキの大木他、落葉樹、常緑樹のバランスのとれた林相になっている。また下草も多いことから、冬期のウグイス、アオジ、シロハラが見られる。シメが毎冬見られるのも特徴のひとつである。ここ数年、大幅な伐採が行われたことから、八幡宮の南側は開放的になったが、この1年に限っては鳥相に大きな変化はなかった。

24 名古屋城一帯 (北区)

調査員 右高 幸男

名古屋城は、1612年に徳川家康が、その子義直のために、諸国大名に命じて築城させたもので、名古屋のシンボルになっている。さらにその北側に広がる名城公園は緑の林が広がり、野球場やテニスコート、ジョギングコース等が併設されていて、市民の憩いの場となっている。



調査地の特色

大都市名古屋でも都心に位置する名古屋城は、マツ、クヌギ、エノキなどの大木で囲まれている。また、北西側は水堀で囲われているため、カモ類やユリ

カモメ、カワウ、サギ類などが多く見られる。また、北側に広がる名城公園でも、クスノキ、クヌギ、ナンキンハゼなど実のなる大木が多数あり、山野の鳥が多く見られ、特に春秋の渡りの時期には、キビタキ、オオルリ、ムシクイ類などさまざまな渡り鳥も休息し、通過していく。

25 中村公園 (中村区)

調査員 大主 順一

中村公園は、豊臣秀吉をまつる豊国神社を中心に、西側には中村公園文化プラザ、太閤池、ひょうたん池があり、東側はかおりの園、秀吉産湯の井戸がある常泉寺、加藤清正ゆかりの妙行寺など、伝承的施設が多い。北には名古屋競輪場がある、樹木はクスノキが多く、マツ、サクラ等もある。



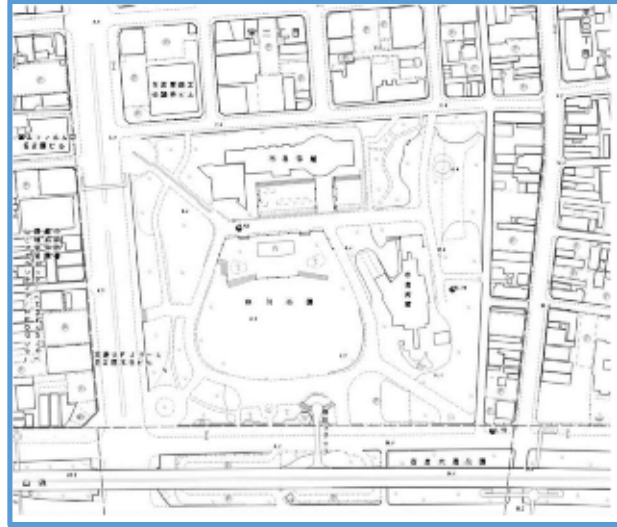
調査地の特色

緑は豊富ではないが、鳥類は36種を数え、春・秋の渡りにはかおりの園近くでクロツグミ、キビタキ、オオルリが見られ、また庄内川が近いのでカワウ等の飛翔する姿も見られる。

26 白川公園 (中区)

調査員 近藤 哲雄 ・ 村上 修 ・ 竹田 恵一郎

白川公園は、名古屋の中心市街地に位置し、園内には科学館や美術館がある 8.9 ha の緑豊かな公園である。クスノキやケヤキの大木が多く、中低木はまばらで見通しが良い公園になっている。



調査地の特色

個体数の大半は、スズメとカワラバトで占め、次いでハシボソガラスである。公園東側の遊具エリアで、エサやりをする人が散見され、カワラバトはそれを学習している様子である。付近はオフィス街とマンション街が混在しており昼休みなどにお弁当を食べている人が居る。スズメの一部がそれらの人に近づいてエサをねだる仕草をする光景がみられる。林床部では、季節によりシロハラ、通年ではスズメ、カワラバト、ハシボソガラスなどが見られるが、通路が網目状に通っていて人が近くを通るためか、人慣れしている留鳥、外来種以外は少ない。樹木の背がかなり高く、カラ類などを観察するためには、かなり見上げた姿勢をとる必要がある。調査中には確認できなかったが、ここで出会った人の話によると、5月：ムシクイ類、10月：キビタキ、コサメビタキの目撃情報がある。

27 鶴舞公園 (昭和区)

調査員 徳田 祐一

名古屋市中心部にあって、戦前から都市公園として整備されて、戦前の動物園の跡や病院の門などが残り、近隣に八幡山古墳が残され公園となっている。JR 東海の中央線や名古屋高速、飯田街道などの幹線道路も交差しており、鳥たちの渡りの中継地としても知られている。近年公園整備が進み木々が刈り込まれ鳥たちの休み場所やえさ場、水場が限られてきて数を減らしている。



28 興正寺 (昭和区)

調査員 森 眞

名古屋市の東南部に位置する興正寺は、八事山と号し、高野山真言宗に属する寺院。市内では最も広い寺域を有し、中でも国の重要文化財となっている高さ 30 m の五重塔は県下唯一の木造塔で 1808 年に建立され、興正寺の象徴ともいえる。寺院に続く広い地域は興正寺公園となっており、特別緑地保全地区。名古屋市野鳥保護区。



調査地の特色

興正寺境内の林は古くから人の手が加わっていない自然林で、サカキ、ソヨゴ、アラカシ、コナラ、アベマキ、カクレミノ等の広葉樹やアカマツなどの針葉樹の混交林である。中でもサカキの自然林は市内でも珍しい。夏から秋にかけてはキノコ類も多い。林内には「八事山を歩こう会」コースが整備されてい

る。調査はほぼコースに沿ったラインセンサスで実施した。野鳥の種類はあまり多くないが、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ、メジロ、キジバト、シジュウカラ、コゲラ、スズメ等が周年観察される。春・秋の渡りの時期には重要な中継地としての役割を果たしており、ムシクイ類、ヒタキ類が通過していく。今回の調査では新たにアカゲラ、コマドリ、サンコウチョウ、サメビタキ等が確認された。前回調査で確認された外来種のソウシチョウは今回は確認できなかった。

29 瑞穂公園 (瑞穂区)

調査員 中山 雅晴 ・ 澤野 史枝

瑞穂公園の中を流れる山崎川が中心となり、周囲の住宅地に植えられた樹木も多い。

調査地の特色

この調査地区は、特色により大きく3つに分けることができる。

まず、名市大薬学部周辺では、山崎川の浅瀬に鳥たちが水浴びにやって来る。ヒヨドリ、スズメ、ムクドリ等。冬のキセキレイ、春・秋のムシクイ類、ヒタキ類も観察できる。

次に、陸上競技場周辺では、広葉樹、針葉樹等管理された樹林に多くの鳥たちが集まってくる。キビタキ、オオルリ、コサメビタキやムシクイ類も移動していく。また、シジュウカラの繁殖も地域住民の巣箱掛けにより間近で観察することができた。

最後に、新瑞橋周辺では、干満の影響を利用した水辺の鳥たちが集まってくる。上がってくる小魚を狙うササゴイ、ゴイサギ、サギ類や、川底のゴカイをつまむイカルチドリ、コチドリ。カモ類も多い。ここには冬場にケリが集まってくる。



30 熱田神宮 (熱田区)

調査員 今飯田 潔

境内は都会の中にあり面積約 19 万 m²。樹木はクス、ケヤキ、カシ、シイ、ムク、イチヨウ、クロガネモチ、エノキ等比較的広葉樹が多く樹齢千年前後のクスが数本あり、敷地全体が特別緑地保全地区になっている。



調査地の特色

春・秋の渡り鳥の時期には色々な鳥が観察される。

ただし、境内での施設の工事があり、池の工事で水が抜かれ水鳥を見られなかった。また、コロナ対策により一部立ち入り禁止となり観察場所が減少した。高木・枯れ木の整理が行われキツツキ類も以前のように見られなかった。カラスが多く、ヒヨドリやキジバトの営巣も見られなかった。

鳥の種類・数も少なかった。

31 高座結御子神社・高蔵公園 (熱田区)

調査員 佐藤 文昶

高座結御子（たかくらむすびみこ）神社は小さな神社ではあるが熱田神宮の摂社で、子育ての神様として親しまれている。



神域は広くはないが、市の保存樹である大きな古木が数多くあり、市街地にありながら昔のままの環境が保たれている。

神社を取り囲むように高蔵公園があり、公園の東側は南大津通に接している。また、野球場や遊具が整備されており、近隣住民に広く利用されている。

る。

特別緑地保全地区。名古屋市野鳥保護区。

調査地の特色

鳥類は常にいる種類は少なく，近隣から飛来したり渡りの途中に休息しているものも多く，足繁く通わないと多くの鳥には会えないが，市街地でキビタキなど渡りの鳥に出会うこともある。

なお，神社の鳥を見るには大木直下で見るより，神社を囲むフェンス越しに見た方が見やすい。特に東側からがおすすめである。

公園工事により「地面」が少なくなって地上へ降りる鳥類にとっては若干居づらい環境になり観察数も減った。

32 戸田川 (港区)

調査員 米倉 静

国道1号線から下流の東海通までの戸田川と川沿いに整備された戸田川緑地が調査区域である。

朝早くから散歩やジョギングをする人が多く，休日はバーベキュー広場が賑わう。樹木の手入れもよく四季の花が楽しめる。

調査地の特色

冬場ミコアイサが多く見られた。



33 南陽町 (港区)

調査員 前田 崇

名四国道（国道 23 号線）より北の茶屋地区と藤高地区の水田地帯が調査地区。

調査地の特色

春，田植えの時期はチュウサギ，ダイサギ，コサギなどのサギ類が，飛来し，ドジョウや甲虫類のさなぎなどを捕食する。夏季は，近辺で繁殖した，サギ類が餌を取り来るが数は少ない。稲刈りが終わり，水田を耕耘機で耕すと，200 羽を超えるサギが飛来し餌を取る。一番多いのは，チュウサギで全体の 7 割以上である。10 月に入るとチュウサギは渡っていき，かわりにカモ類が飛来する。ハシビロガモやオナガガモが 300 羽以上水田で捕食している。国道 302 号線の近くに，割と大きな調整池があり，冬季には，ヨシガモが 24 羽，確認できた。ハシビロガモ，ヒドリガモ，オカヨシガモ，キンクロハジロ，ホシハジロ，コガモと 100 羽以上のカモが見られる。4 月にはシマアジ 2 羽も確認した。



34 見晴台・笠寺公園 (南区)

調査員 小川 和彦

見晴台・笠寺公園の北東側は緑地として整備され，スズメ，ムクドリなどの採餌場となっている。

調査地の特色

大きな環境の変化がない場所である。スダジイ，シラカシ，クスなどからなる弥生の森と周辺で野鳥がよく観察される。春の渡りの時期にはオオル



り、キビタキ、ムシクイ類が、秋にはエゾビタキ、サメビタキ、コサメビタキ、ツツドリが観察された。通年観察されるのはスズメ、ムクドリ、ヒヨドリ、キジバトなど今回も6月にはムクドリの大群が見られた。1月には100羽程のツグミ、3月には60羽のカワラヒワの群れが見られた。

35 東谷山 (守山区)

調査員 山田 律子

名古屋市北東部にある山で、愛岐丘陵が高度を下げ、尾張平野になる所にある。頂上を境に北東側は瀬戸市であり、北側は庄内川(土岐川)をはさんで春日井市と接している。名古屋市側はほぼ県有林であり、瀬戸市側は定光寺に連なる国有林となっている。また頂上には尾張戸神社が祀られており、付近一帯は寺社林となっている。愛岐丘陵から



ぼつんと飛び出した形をしており、そのせいもあって古くから渡り鳥の通過地点として有名である。また、頂上は名古屋市の最高地点でもある。

調査地の特色

東谷山は、山頂の社寺林付近に多く生えるツブラジイを初めとするシイやカシなどの常緑広葉樹林やコナラなどの落葉広葉樹が混在する森で、北東部側にはヒノキの植林など人工林もある。他にもヤブツバキ、ヒサカキ、タカノツメ等も多く、山全体が多様な種類の木々で覆われている。しかし数年前からのナラ枯れによりコナラやアベマキなどが減少し、前回の調査時期から比べると少し森が明るくなった印象である。野鳥に関しては渡りのシーズン以外でも猛禽類は比較的よく観察できた。カラ類を中心とする混群は樹林の高いところでよく見られた。ソウシチョウは定着していると思われる。この調査ではウソ、イ

カルがあまり観察できなかったことが印象に残った。樹高の高い木が多い林内は暗く、野鳥観察は簡単ではないが過去には珍しい鳥が観察された記録もある。リスやムササビ、2010年に初めて確認されたニモンカモシカも生息する豊かな自然が残るこの森は野鳥だけでなく他のいきものたちにとっても貴重な場所である。

環境面で前回の調査から変わったことは、ナラ枯れの他にも人の介入による伐採や、2018年には山の南東部にメガソーラーができ、またフルーツパーク周辺の道路が整備され山の南を走る志段味水野線が国道155号のバイパス機能を果たすようになったため交通量がかなり増えた。全体的には野鳥の数は減少しているように感じた。

36 大村池・大久手池 (守山区) 調査員 川口 航

どちらも名古屋市北東部に点在する農業用のため池である。

大久手池は東側に森があり、それ以外は、かつては田園地帯であったが、現在は西側の一部を除いて宅地化が進んでいる。

大村池は森林公園に隣接しており、まわりは森やゴルフ場に囲まれた環境にある。大村池周辺は愛知県指定鳥獣保護区に含まれている。



調査地の特色

公園、ゴルフ場、雑木林に隣接している池である。このため、カモ、サギなどの水鳥の他、ヒヨドリ、キジバト、カラ類等の野鳥の鳥も見られる。

東の東谷山や瀬戸定光寺から連なる丘陵地帯の西端に位置する。また北側は庄内川にも隣接し、近年まで野生リスも見かけられたことは、鳥のみならず多くの哺乳動物たちも生息する環境にあったと思われる。こうした自然環境を利用してつくられた自然度の高い公園であった。しかし近年、公園東の志段味地区の開発が急速に進み、都市公園としての性格を強めつつある。今後は、都市の中の大きな緑地帯としての意義が高まってゆくと考えられる。



調査地の特色

冬にカモなどが訪れる大小の池，それを結ぶ水路や湿地，また樹木の茂る起伏ある地形もあり変化に富む。鳥類は，ヒヨドリ，メジロ，コゲラ，シジュウカラ，ヤマガラなどの留鳥が中心だが，夏にはキビタキ，冬にはカモ類やツグミ，シメなど，渡りの季節にはサンショウクイ，サンコウチョウ，オオルリ，ムシクイ類などが立ち寄る。今年オジロビタキも観察され，年間 60～70 種が見られる。植生は，コナラ，アベマキなどの落葉広葉樹を中心にクロバイ，カシ，シイ，ソヨゴ，サカキ，カクレミノなどの常緑樹が混在する。さらにマメナシやトウカイモウセンゴケのど湿地を好む珍しい植物も生育している。カキをはじめヌルデ，ハゼなどウルシ類の実，ヒサカキ，シャシャンボ，ナンキンハゼの実などは，野鳥たちの重要な冬の食料となっている。また，緑ヶ池東岸のヨシ原は水鳥以外の小鳥たちにとっても大切な生息環境となっている。

コジュケイを園内で見かけることの多くなった。これまで園内でコジュケイの声を聞くことはなかったが，25 回の調査の内 6 回（3 月～6 月と 9 月）鳴き声を聞き，親子連れも見かけたこともあった。

38 戸笠池・ほら貝池 (緑区・天白区) 調査員 杉浦 瑠実子

戸笠池は天白区，ほら貝池は緑区の住宅地の中にあり約 300 m 離れている。ほら貝池の周りは桜並木で，市民の散歩コースになっている。池の東側がヨシ，ヒメガマの植生となっている。戸笠池は西側は護岸されているが，南東側に雑木林があり東側にはヨシ原，芝生広場が広がっている。



調査地の特色

戸笠池の南東部にはコナラ，ヤマハゼ，カワヤナギ，ヒサカキ，ヤブツバキ，ハリエンジュ等の雑木林があり，渡り途中の小鳥たちのよい羽休め地点となり春にはキビタキ，オオルリ，秋にはコサメビタキ等が見られた。冬にはツグミ，シロハラの越冬が観察された。この池は6月から10月までに間，水位が下がるため，ダイサギの群れやアオサギ，コサギ等が動き回り採餌をしていた。水位が上がる冬場には，ヒドリガモ，オオバン，ホシハジロ，オカヨシガモが見られた。

ほら貝池の周りは，シジュウカラやカワラヒワを観察，落葉高木のプラタナスではハシボソガラスの営巣が見られた。

ほら貝池のヨシ原の植生の変化や池の水質の悪化が見られるのか，以前は行われたオオヨシキリ，バン，カルガモ，ヨシゴイの繁殖が今回は全く見られなかった。

39 勅使ヶ池 (緑区)

調査員 佐藤 武男

名古屋市緑区東部のみどりが丘公園(60 ha)に隣接し、豊明市との堺に位置している。池の広さは23 haである。池の周りには名古屋市、豊明市の墓地がある。最近、墓地が拡張されて年々緑がなくなっている。池には愛知用水の水がはいっている。池は2003年から2013年に掛けて護岸工事されて、きれいになり、周囲2.7 kmを約1時間で1周



できる。豊明市側には野鳥観察地点があり、ブラインドが整備されている。

調査地の特色

林はコナラ、アカマツがほとんどである。所々に竹林がある。春・秋にはヒタキ、ムシクイの中継地と思われる。池の周辺にはヨシが茂り、夏にはオオヨシキリの繁殖地になっている。冬季にはノスリ、ハイタカ、オオタカの猛禽が見られ。冬季にはカモでミコアイサ、ヨシガモ、オシドリが見られる。冬季にはベニマシコ、オオジュリンが見られる。最近池の西側にはアオサギ、ダイサギ、ゴイサギのコロニーがあり繁殖地になっている。

40 水広公園 (緑区)

調査員 佐藤 武男

名古屋市東部の、中京競馬場北1 kmに位置する約6 haの公園。西側に水広下池、東側に林がある。林内には散策路が整備され、芝生広場とともに市民の憩いの場として利用されている。最近、周りは宅地造成され新築の家が多く建っている。水広下池では年中、釣人がいる。約30分で散策できる。



調査地の特色

水広下池の南側にはブラインドがあり野鳥観察ができる。

林はコナラ、アカマツがほとんどで、ところどころに竹林がある。冬にはドングリの実がたくさん落ちている。春・秋の渡りの中継地になっている。夏季にはセミがよく鳴いている。

41 成海神社・新海池 (緑区)

調査員 矢田 和子

成海神社は名鉄鳴海駅の北1 kmにある小規模な神社森である。西に天白川、南に扇川、南東に大高緑地と囲まれており名古屋市野鳥保護区に指定されている。近くの新海池は北側にヨシ原があり釣り人で賑わっている。野球場や広場もあり丘陵地には林もあるが北側の展望が良く多くの人達で賑わって市民の憩いの場となっている。ともに住宅地に囲ま



れている。

調査地の特色

鎮守の森としてクスノキやカシなどの常緑広葉樹が多い。近年神社の周りの樹木が伐採され整備されたがシジュウカラやメジロ、コゲラなどが一年を通してよく見られた。

新海池は春には主にアオサギやゴイサギが台座型の巣を造り賑やかになる。近くの大型ショッピングセンター西側の樹木や竹林のある私有地でもチュウサギやアマサギなどの営巣コロニーがあり早朝や夕暮時には多くの飛び交う姿を観察することができる。池ではヘラブナやモロコが多く釣り人で賑わっている。冬季にはカモ類もいろいろ見られオオバンが居つくようになった。

3月にヒレンジャク7羽、9月にコシアカツバメ21羽が確認できたのは突出した記録であった。

42 大高緑地 (緑区)

調査員 谷 幹雄 ・ 関上 裕文

名古屋市東南部に位置する約100 haの県営公園。国道1号線から入ると琵琶ヶ池中心に菖蒲園、梅林、若草山、遊具、野球場、バーベキュー広場、公園中央には管理事務所を中心に交通公園、プール、テニスコート、桜の園などがある。

公園南部は自然林が残り、四季を通じ憩いの場となっている。管理事務所主催行事や、多くのボランティア団体の活動も活発に行われている。

東側に環状2号線ができ、交通アクセスがよくなった。公園周辺は宅地化が進み、愛知県指定鳥獣保護区、名古屋市野鳥保護区として貴重な自然となりつ



つある。

調査地の特色

環境が多様であり、大規模な公園であることから、飛来する鳥類は多種にわたる。

冬は琵琶ヶ池に多くの水鳥が飛来する。飛来する種類は変化しているが最近ではマガモの越冬数が多い。

渡りの季節にはオオルリ、コマドリ、コルリ、ホトトギスなど多くの鳥の中継地点になっている。また、カラスがねぐらとして利用しており、数百単位の群れが自然休養林上空で確認できる。

その他、渡りの季節にはヒヨドリ、ムクドリ、ツグミなどが百羽単位で集結しているのを観察することができる。

最近では周辺の宅地化が進み、多くの人が散歩やレクリエーションに訪れ、鳥や自然に関心を持つ多くの人と接することが出来るようになってきた。

43 鷺津山 (緑区)

調査員 小川 和彦

鷺津山は JR 東海道本線大高駅の東に位置する。戦国時代、大高城の今川勢を牽制するため、織田方によって 1559 年（永禄 2 年）に砦が築かれた。現在は鷺津砦公園となり史跡として残されている。



調査地の特色

環境に変化はなく、照葉樹林、竹林は薄暗い。春の渡りの時期は、オオルリ、キビタキ、センダイムシクイ、クロツグミが観察された。

今回は、ミサゴが観察できた。冬鳥はウグイス、シロハラなどだが、1,2月に

は、40羽程度のメジロの群れが見られた。

44 氷上姉子神社 (緑区)

調査員 大原 一修

ヤマトタケルの草薙剣に縁が深く、熱田神宮の摂社で「お氷上さん」と呼ばれ人々の信仰を集めている。神社と火上山の森を含めた約80 haが調査区域である。近くに名古屋高速や知多半島道路、伊勢湾岸自動車道のインターチェンジ、大型ショッピングセンターがあり、最近急速に開発が進んでいる。特別緑地保全地区。名古屋市野鳥保護区。



調査地の特色

神社の森と火上山は常緑樹と落葉樹が混生し、野鳥のオアシスになっている。春にはキビタキ、オオルリ、冬にはジョウビタキ、ツグミ、シロハラなどの渡り鳥、1年を通してはヒヨドリ、メジロが多く見られ、運がよければオオタカ、ノスリ、ミサゴが上空を飛ぶのが見られる。

5年ほど前にナラ枯れの被害に遭ったコナラやクヌギが立ち枯れたり倒れたりして、野鳥の生息環境が悪くなっている。

45 明德緑地 (名東区)

調査員 浦上 力雄

名東区の北部に位置し、周囲を住宅地に囲まれているが、比較的自然が保たれた重要な緑のオアシスといえる。広さは18ha、釣りができる明德池や遊具広場、グラウンド、キャンプ場等が整備されているが、里山的樹林の残る貴重な都市公園である。



調査地の特色

樹木や昆虫の種類が豊富で、野鳥も多く生息していたが、近年特に野鳥の減少傾向が強い。

近年、古木・大木が伐採され、キツツキやカラ類等の森林性の野鳥が激減した。いつも池畔樹上にいたゴイサギの群れも激減した。餌を与える人がいるため、タヌキや野良ネコが定住している。

46 猪高緑地 (名東区)

調査員 渡辺 滋

猪高緑地は東名インターチェンジの南側に位置して、面積が66haの都市計画緑地である。雑木林の中に竹林が点在している。緑地内は散策路が整備されており、平日でもジョギング及び散歩の人々が数多く見られた。塚ノ杵池付近では雑木が伐採されて見通しが大変よくなった。



調査地の特色

池ではカワセミ，カルガモ，カイツブリ，オオバン，アオサギなどが数多く見られたが，前回と比べて鳥の数が減少したと思われる。

47 牧野ヶ池緑地 (名東区)

調査員 貴船 貢

牧野ヶ池緑地の敷地は 147 ha あり約半分の 75 ha が緑地公園，72 ha がゴルフ場として整備されている。ゴルフ場を取り囲むように公園の施設が散りばめられている。北部に江戸時代に作られた灌漑用のため池である牧野池があり，面積約 23 ha と名古屋市最大の広さである。池の周囲には遊歩道が整備されており，ジョギングをする人，散歩をする人など多くの人で賑わう。



愛知県指定鳥獣保護区。

調査地の特色

緑地公園には，ため池，湿地，樹林，竹林，芝生広場，草地などがあり，変化に富んだ環境となっている。ため池にはハス，スイレン，ガガブタ，ヒシ，などの水生植物が生えており，カルガモが留鳥として生息しているほか9月から3月にかけてヒドリガモ，オナガガモ，ヨシガモ，などのカモ類やオオバン，カンムリカイツブリ，ミコアイサなどの水鳥がやってきた。池のコイやブラックバスを狙ってミサゴも現れ上空からダイビングキャッチする様子も確認できた。小魚を餌とするアオサギ，ダイサギ，カワセミやカワウも観察された。樹林は植樹されたサクラ，ケヤキ，カエデなどの大木のほかは主に雑木林であり花の蜜や木の実，草の実さらにはそこに生息する昆虫を求めて来るヒヨ

ドリ，キジバト，メジロ，スズメ，シジュウカラなどを1年を通じて観察した。また秋から冬にかけてはシロハラ，ツグミ，ジョウビタキ，コサメビタキなどのヒタキ類が見られた。

48 農業センター・針名神社

(天白区)

調査員 古澤 穎一

農業センターは名古屋市東に位置し，家畜や野菜の農業公園であり，南東に隣接して四季を通じ緑豊かな名古屋市の荒池緑地がある。

針名神社は，農業センターの北西側の隣接している。名古屋市野鳥保護区となっていて，樹木の密な森がある。



調査地の特色

荒池緑地周辺の宅地化が進み，道路が整備され車が多く通るようになって，野鳥の繁殖も少なくなっている。10年前には20種を確認したが今年は15種に留まった。

針名神社は，春・秋の渡り鳥の休憩の地でもある。近年，神社の樹木が整理され，森が明るく見通しがよくなり，鳥が少なくなったように思われる。

49 相生山緑地 (天白区)

調査員 三枝 卓

広大な森林であり、畑や梅林が点在する。都市部では貴重な存在である。これは里山林とも言われ、元来、薪炭用材や落ち葉の採取など、人々の日常生活とともに管理されてきた。里山林を維持するには継続的な作業が重要なため、「オアシスの森」としてボランティアの人々によって管理活動がなされている。40年前はただの草原だったところも、立派な森に育った。散策する人もよく見られ、森林浴を楽しんでいるようだ。



調査地の特色

カラスの繁殖にも好適のようで、その数が非常に多い。

50 八事裏山 (天白区)

調査員 秋山 幸之朗

平和公園，東山公園から続く東部丘陵地の一番南に位置している。面積は約 13 ha ある。国道 153 号線のバイパスとして作られた山手植田線が中央部を走り、森が2つに分断されている。

愛知県指定鳥獣保護区。バイパスから北部分は東山公園天白溪湿地特別緑地保全地区。



調査地の特色

鳥種は、ヒヨドリやメジロなど林を活動場所にする鳥が多い。

植生は、常緑樹と落葉樹が混じっているため冬になってもあまり見通しはよくなる。

森の中央まで住宅地が入り込んでおり、市街化が進みつつある。車が多く、鳥の鳴き声が聞き取りにくい。

51 大根池 (天白区)

調査員 杉浦 繁夫

大根池の南にあるデイキャンプ場や芝生広場は都市公園化が進み土・日・祝日は特に大賑わいである。2020年11月より大根池の浚渫工事が始まり、2021年3月に完了した。

調査地の特色

大根池の東西には小高い丘の雑木林があり、ヒサカキなどの常緑低木やコナラやアキニレなどの落葉高木、マツやクスノキなどの針葉樹などが混在する。

大根池の周りにはヨシが生えているがその中にカワヤナギの木が増えつつある。池の中の小島にはサクラやナンキンハゼ、フジ、ヨシが生えていて、アオサギ、ダイサギ、モズなどの休憩場所になっている。

この調査地には雑木林に囲まれた池があり、渡り途中のキビタキ、センダイムシクイ、コサメビタキ等が見られた。冬にはシロハラ、ツグミ等が越冬する。池ではカルガモ、バンが常に見られる。



1 庄 内 川 河 口

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5									1				
カモ	マガン	10											1		準絶滅危惧
カモ	オカヨシガモ	26	53	48	11	15	6	6	2					2	
カモ	ヨシガモ	27						2							
カモ	ヒドリガモ	28	15	18	22	16	58	68	6				14	258	
カモ	アメリカヒドリ	29							1						
カモ	マガモ	30	56	51	168	165	53	31	10	13	13	31	51	91	
カモ	カルガモ	32	151	36	79	52	67	55	43	26	157	159	436	531	繁殖
カモ	ハシビロガモ	34	21	14	5	5	1		1				2	9	
カモ	オナガガモ	35	730	1480	1970	1360	35	15	1	1			234	1150	
カモ	シマアジ	36	2					3					6	28	
カモ	トモエガモ	37		2	4										絶滅危惧II類
カモ	コガモ	38	298	53	135	56	78	78	10				396	469	
カモ	ホシハジロ	42	36	24	75	63	59	26	5	1	2	2	1	19	
カモ	キンクロハジロ	46	531	95	301	125	258	36	13	1	2	1	2	38	
カモ	スズガモ	47	351	397	487	298	1020	846	287	18	25	16	14	301	
カモ	ホオジロガモ	57		1	1	1	1								
カモ	ウミアイサ	60						2							
カイツブリ	カイツブリ	62		1											
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	186	189	387	752	567	174	1			1	1	75	
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66	5	5	6	12	17	4							
ハト	キジバト	74	35	28	36	61	68	31	15	21	36	38	41	39	繁殖
ウ	カワウ	127	3680	2850	1960	2135	2680	1135	567	1250	867	1030	3570	5930	
サギ	ゴイサギ	139					1								
サギ	ササゴイ	141							1	2	4	3	1		
サギ	アオサギ	144	45	41	48	27	26	19	15	26	25	25	18	34	
サギ	ダイサギ	146	29	18	5	5	6	21	25	21	22	15	22	35	
サギ	コサギ	148	38	12	2	15	75	34	8	5	4	7	6	8	
サギ	カラシラサギ	150								1					
サギ	クロツラヘラサギ	154							1	1					絶滅危惧IA類
クイナ	オオバン	175	21	3	2	2	2						1	11	
カッコウ	ホトトギス	185							1						
アマツバメ	アマツバメ	192											2		
チドリ	ケリ	195	7	5	5	4	2	2			7	15	10	5	
チドリ	ムナグロ	197				1		2					1		
チドリ	ダイゼン	199	41	57	43	33	23	41	65	17	19	37	35	38	
チドリ	ハジロコチドリ	200	3	2	3	3		3						2	
チドリ	コチドリ	203			1			8	4	2	2	12	2		繁殖
チドリ	シロチドリ	204	25	23	38	22	25	7	2			4	11	65	
チドリ	メダイチドリ	205		1	1		1		4			2	5	8	

1 庄 内 川 河 口

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
チドリ	オオメダイチドリ	206											1	1	
ミヤコドリ	ミヤコドリ	209											1		
セイタカシギ	セイタカシギ	210							2						
シギ	タシギ	219	8	9	9	5	5	2						6	
シギ	オオハシシギ	221	3		4			4						1	
シギ	オグロシギ	223	6				1	2	2			3			
シギ	オオソリハシシギ	225	14					16	16		1		1	7	
シギ	チュウシャクシギ	227						63	78			2	2		
シギ	ダイシャクシギ	230		2	2	2	2	1							
シギ	ホウロクシギ	231	1					3	2			2	1		絶滅危惧II類
シギ	ツルシギ	232	4					2							
シギ	アカアシシギ	233			1									1	絶滅危惧II類
シギ	コアオアシシギ	234	3						1			15	4	2	
シギ	アオアシシギ	235	13	4	3	2		24	11	3	6	35	19	29	
シギ	キアシシギ	241						2	12			15	4		
シギ	ソリハシシギ	243						3	10	3	19	39	37	31	
シギ	イソシギ	244	6	5	9	8	7	4	5	1	3	5	5	5	
シギ	キョウジョシギ	246						2	4						
シギ	オバシギ	247	1					5	5			24	23	9	
シギ	コオバシギ	248	2					2	1			1	2	1	
シギ	トウネン	251	3					4	305			5	85	15	
シギ	ウズラシギ	258							1	1					
シギ	サルハマシギ	259							1					1	
シギ	ハマシギ	261	1270	1021	1120	1080	850	1020	2100				53	989	
シギ	キリアイ	264							1				2		
シギ	エリマキシギ	266	1									1	1		
シギ	アカエリヒレアシシギ	268							14						
カモメ	ユリカモメ	286	30	321	368	1050	1030	214	1					1	
カモメ	ズグロカモメ	287	31	34	30	22	33	2				1	1		絶滅危惧II類
カモメ	ウミネコ	293	112	16	26	15	13	2	1	23	211	269	194	113	
カモメ	カモメ	294	5	23	8	265	214	36							
カモメ	セグロカモメ	299	28	21	25	27	29	15					1	11	
カモメ	オオセグロカモメ	301	6	6	7	8	9	5						8	
カモメ	ハシブトアジサシ	303							1						
カモメ	コアジサシ	307						6	87	16	6	2			絶滅危惧II類
カモメ	アジサシ	314						2	2				2		
カモメ	クロハラアジサシ	316										1	1		
ミサゴ	ミサゴ	339	27	34	28	27	21	11	7	6	2	14	12	21	準絶滅危惧
タカ	トビ	342	2	1	1	1	1	3	3	2	3	2	2	2	
タカ	チュウヒ	349	2	2	2	1	1	1			2		1	1	絶滅危惧II類

1 庄 内 川 河 口

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
タカ	ハイロチュウヒ	350	1	1											
タカ	ハイタカ	355	1	1	1	1									準絶滅危惧
タカ	オオタカ	356	1	1	1	1							1	1	絶滅危惧II類
タカ	サシバ	357						4						1	
タカ	ノスリ	358	1				1	1						1	
カワセミ	カワセミ	383	1	1			1		1					1	
キツツキ	コゲラ	390	6	6	3	8	4	4	2	2	2	2	2		
ハヤブサ	チオウゲンボウ	401	2	1				1	2	2				2	
ハヤブサ	ハヤブサ	407	1	2	1	1	1	2	1		1	1	1	1	絶滅危惧II類
サンショウクイ	サンショウクイ	412						2	1						絶滅危惧II類
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418							4					1	
モズ	モズ	420	6	5	3	5	3	2						2	7 繁殖
カラス	ハシボソガラス	435	21	25	18	20	26	18	13	25	26	26	26	21	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	7	7	6	8	13	9	10	8	18	15	16	18	繁殖
シジュウカラ	ヤマガラ	442	2	2										3	9
シジュウカラ	ヒガラ	443													2
シジュウカラ	シジュウカラ	445	8	8	5	7	5	11	8	4	2	4	5	5	
ヒバリ	ヒバリ	452	2	2							2	1	1	2	
ツバメ	ショウドウツバメ	455											2	2	2
ツバメ	ツバメ	457					6	13	43	15	113	26	21	2	繁殖
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	57	68	102	146	102	268	158	19	15	23	56	297	
ウグイス	ウグイス	464	4	4	1	2	2	2							2
ウグイス	ヤブサメ	465						1						1	
ムシクイ	メボソムシクイ	477							3			1	2		
ムシクイ	エゾムシクイ	479						3	4						
ムシクイ	センダイムシクイ	480	1					4	4			1	1	2	
メジロ	メジロ	485	56	45	65	56	32	19	10					11	68
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						6	29	25	26	6	3		繁殖
セッカ	セッカ	499						1	3	2	2	2	3	2	
レンジャク	ヒレンジャク	501						5							
ムクドリ	ムクドリ	506	36	68	136	112	158	102	23	102	276	167	132	69	繁殖
ムクドリ	コムクドリ	508										32	21		
ヒタキ	マミジロ	513							1						
ヒタキ	クロツグミ	518						2	2						
ヒタキ	マミチャジナイ	520							1						
ヒタキ	シロハラ	521	8	6	5	15	14	8	1						2
ヒタキ	アカハラ	522	3					3	9						
ヒタキ	ツグミ	525	16	108	86	52	48	68	1						3
ヒタキ	ハチジョウツグミ	525.2					1								
ヒタキ	ノゴマ	533													1

1	庄	内	川	河	口
---	---	---	---	---	---

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	コルリ	534							1						
ヒタキ	ルリビタキ	536			1			1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	8	5	6	6	5	2						4	
ヒタキ	ノビタキ	542						4					2	5	
ヒタキ	イソヒヨドリ	549	1	1	1		1			2		1	1	2	
ヒタキ	エゾビタキ	552										2	3	3	
ヒタキ	サメビタキ	553											1	1	
ヒタキ	コサメビタキ	554	2					1	2				4	3	
ヒタキ	キビタキ	558						4	4		1		5	3	
ヒタキ	ニシオジロビタキ	560.2	1	1	1										
ヒタキ	オオルリ	561						3	1				1	1	
スズメ	スズメ	569	98	168	187	132	149	139	67	174	238	210	207	214	繁殖
セキレイ	キセキレイ	573	1	1	1	1		1					1		
セキレイ	ハクセキレイ	574	15	13	14	13	10	5	4	2	5	7	7	11	繁殖
セキレイ	セグロセキレイ	575	3	3	3	3	1	2	2	1	4	2	2	3	繁殖
セキレイ	ビンズイ	580	2	2				2							
セキレイ	タヒバリ	584	2		2	2	1								
アトリ	アトリ	586	3				2	2							
アトリ	カワラヒワ	587	35	45	68	63	58	38	21	12	23	15	13	69	繁殖
アトリ	ベニマシコ	592			1										
アトリ	シメ	600		2	2	1	2								
ホオジロ	ホオジロ	610	5	4			2	2	2		2	1	2		
ホオジロ	カシラダカ	617	2	1											
ホオジロ	アオジ	624	3	3	3	3	1	3	1						
ホオジロ	クロジ	625							1						
ホオジロ	オオジュリン	628	57	52	54	63	57	23							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	101	102	130	134	127	99	127	54	84	143	63	69	繁殖
観察種数		147	85	74	71	63	67	94	86	42	41	58	86	80	

2 新川河口・藤前地区

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26	88	39	15	26	15	5							
カモ	ヒドリガモ	28	25	9	9	44	52	25	4						5
カモ	マガモ	30	28	13	15	61	2	4			2	6	6	12	
カモ	カルガモ	32	116	116	81	75	33	52	12	5	125	255	449	109	
カモ	ハシビロガモ	34	2	2			6								
カモ	オナガガモ	35	308	404	94	566							9	102	
カモ	コガモ	38	65	25	16	23	39	67	18				3	122	
カモ	ホシハジロ	42	2	15		64	22						1	124	
カモ	キンクロハジロ	46	12	4	5	23		1				2	1	62	
カモ	スズガモ	47	1043	1367	623	410	607	495	104	1			1	410	
カモ	ホオジロガモ	57			1										
カモ	ミコアイサ	58		1											
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	105	172	381	388	575	47		1	1	1	1	55	
カイツブリ	ミミカイツブリ	65				2									
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66	2	2	1	15	11								
ハト	キジバト	74	3		3						2		5		
ウ	カワウ	127	3019	265	410	33	5300	550	94	1133	142	256	58	2420	
サギ	ササゴイ	141							1	2					
サギ	アオサギ	144	8	6	1	9	9	3	6	7	16	19	16	5	
サギ	ダイサギ	146	5	3	3	3	4	13	40	17	17	36	30	14	
サギ	チュウサギ	147												3	
サギ	コサギ	148	2	3	17	2	2	5	2		1	12	14	3	
サギ	カラシラサギ	150								1					
サギ	クロツラヘラサギ	154							1	1					
クイナ	オオバン	175		2	1	2	1							11	
チドリ	ケリ	195						1							
チドリ	ダイゼン	199	30	5			32	38	65	17		28	38	33	
チドリ	コチドリ	203						1							
チドリ	シロチドリ	204	10	9	5	33									
チドリ	メダイチドリ	205											2		
シギ	タシギ	219					1								
シギ	オグロシギ	223						1	2						
シギ	オオソリハシシギ	225						16	17				1	3	
シギ	チュウシャクシギ	227						9	247						
シギ	ダイシャクシギ	230		2											
シギ	ホウロクシギ	231						2	2						
シギ	アカアシシギ	233										4			
シギ	アオアシシギ	235						11	60			2	2	1	
シギ	キアシシギ	241							11			3	1		
シギ	ソリハシシギ	243							7			1	1		

2 新 川 河 口 ・ 藤 前 地 区

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	
シギ	イソシギ	244	2	2	2	2	2	1	5		5	2	1	1	
シギ	オバシギ	247						3	6				24	3	
シギ	コオバシギ	248						2	1				2		
シギ	トウネン	251						71	618						
シギ	ウズラシギ	258							1				3		
シギ	ハマシギ	261	818	363	25	1055	820	932	2155				19	57	
シギ	エリマキシギ	266											1		
カモメ	ユリカモメ	286	4	10	104	177	152	70	1						
カモメ	ズグロカモメ	287	6	4		8	10	1					1		
カモメ	ウミネコ	293	3		12	1				1	94	61	7		
カモメ	カモメ	294			1	159	69	26							
カモメ	セグロカモメ	299	2	7	2	10	5	2						2	
カモメ	オオセグロカモメ	301				1									
カモメ	コアジサシ	307						12	60	5	5				
カモメ	アジサシ	314								3					
カモメ	クロハラアジサシ	316					1						1		
ミサゴ	ミサゴ	339	9	5	5	5	4	5	3	2	4	7	8	6	
タカ	トビ	342	1	2			1	1				1	2	2	
タカ	チュウヒ	349			1		1	2							
タカ	オオタカ	356			1							1	1		
タカ	ノスリ	358					1	1						1	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401			1	2	2	1	2	3	2		2	1	
ハヤブサ	ハヤブサ	407		1				1				1		1	
モズ	モズ	420			1										
カラス	ハシボソガラス	435	17	5	3	3	3	2	7	3	4	3	5	2	
カラス	ハシブトガラス	436		3			1	3	1	1	1		1		
ツバメ	ツバメ	457					2	7	10	4	3				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	6	3	2	4	1	1			1		25	2	
ウグイス	ウグイス	464	1	1	1	1	1								
メジロ	メジロ	485			1		3	6							
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							5	6					
ムクドリ	ムクドリ	506	6	12	10	1			13	8	22	1			
ヒタキ	ツグミ	525			1	4	1	2							
ヒタキ	イソヒヨドリ	549	1					1						1	
スズメ	スズメ	569			20		17	4	3	1	3	1	11		
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	2	3	2	2	1			2	2	2	2	
アトリ	カワラヒワ	587			1		3	2		3					
ホオジロ	ホオジロ	610	1												
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	66	52	110	103	30	20	19	66	44	14	50	58 繁殖	
観察種数		79	35	36	39	35	40	47	35	23	21	24	38	32	

3 日 光 川 河 口

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5	1					1							
カモ	オカヨシガモ	26	140	4	2	1									
カモ	ヒドリガモ	28	5												
カモ	マガモ	30	3	31		17	16	2	1					2	
カモ	カルガモ	32	10	57	56	21	8	7	2	8	7	17	17	45	
カモ	ハシビロガモ	34	2	4		8								6	
カモ	オナガガモ	35	2	293	5										
カモ	コガモ	38	15	4	2		3	5	6						
カモ	ホシハジロ	42	5							2					1
カモ	キンクロハジロ	46				3	1								
カモ	スズガモ	47	2		3		1	12							8
カイツブリ	カイツブリ	62			1	1	2	1							
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	2	8	1	1	2							1	
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66					1								
ハト	キジバト	74	5	1	2	2	3	3	6	4	2	3	8	5	
ウ	カワウ	127	62	63	125	31	31	36	35	56	51	142	69	47	
サギ	ゴイサギ	139	1												
サギ	アオサギ	144	4	7	24	6	4	2	2	4	3	2	3	4	
サギ	ダイサギ	146	5	1	1	1	1	1	1	3	3	2	4	3	
サギ	コサギ	148	10	6	30		3	10			4		8	6	
クイナ	バン	174						1							
クイナ	オオバン	175	2	2	1			1	1						1
チドリ	ケリ	195						2	2						
チドリ	ダイゼン	199						41							
チドリ	シロチドリ	204	10												
チドリ	メダイチドリ	205							2						
シギ	オオソリハシシギ	225						15							
シギ	チュウシャクシギ	227						22	2						
シギ	キアシシギ	241							25						
シギ	ソリハシシギ	243							6						
シギ	イソシギ	244	1					1	1						1
シギ	トウネン	251							4						
シギ	ハマシギ	261	8	2				620							
カモメ	ユリカモメ	286		3	15		41								
カモメ	ズグロカモメ	287		1											
カモメ	カモメ	294		12	16	26	50	3							
カモメ	シロカモメ	296			1										
カモメ	セグロカモメ	299		3	2	3									
ミサゴ	ミサゴ	339	3	3	2	3	2	2			1	1	3	3	
タカ	トビ	342	2									2	1	2	

3	日	光	川	河	口
---	---	---	---	---	---

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
タカ	ハイタカ	355		1											
タカ	ノスリ	358	1												1
カワセミ	カワセミ	383										1			1
モズ	モズ	420	3	1	2	2	1						1		3
カラス	ハシボソガラス	435	2	4	3	7	6	4	3	4	4	7	4	47	営巣3ヶ所
カラス	ハシブトガラス	436	4	1			1					2	4		2
シジュウカラ	シジュウカラ	445													2
ツバメ	ツバメ	457						15	24	12	11	4	6		幼鳥を見る
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	16	17	28	24	32	19	13	3			19	47	
ウグイス	ウグイス	464	2	1	1		1	3							
メジロ	メジロ	485	5	10	20	5	7	7							6
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							3	9					幼鳥を見る
セッカ	セッカ	499									1				
ムクドリ	ムクドリ	506	2		11	62	7	20	2	3	5	6	34	49	
ヒタキ	シロハラ	521			2										
ヒタキ	ツグミ	525	3	8	20	19	2	2							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	2	1	1	3								
スズメ	スズメ	569	40	38	10	10	11	31	26	23	22	17	47	63	
セキレイ	キセキレイ	573													1
セキレイ	ハクセキレイ	574	1	3	2	2	1	2	3	1	1		1	1	
セキレイ	セグロセキレイ	575													1
アトリ	カワラヒワ	587	14	20	8	13	9		2		3		11	12	
アトリ	ベニマシコ	592		2	5	2	3	2							
アトリ	シメ	600				2									
ホオジロ	ホオジロ	610			1	1	2								
ホオジロ	アオジ	624				1									
ホオジロ	オオジュリン	628		18	13	6	6	3							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8				20	10							5	
観察種数		68	36	33	33	30	32	32	23	13	14	13	21	26	

4 庄内川 明德橋～名四国道

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5		1											
カモ	マガン	10												1	
カモ	オカヨシガモ	26	51	62	45	26	17	12	2						
カモ	ヒドリガモ	28	12	8	15	14	14	5	2						15
カモ	マガモ	30	29	40	59	51	50	8	4		4	8	5	10	
カモ	カルガモ	32	101	63	101	70	68	31	10	13	55	53	44	35	繁殖
カモ	ハシビロガモ	34		2				1	1						
カモ	オナガガモ	35	27	10	14	14	1	1							
カモ	シマアジ	36						5							5
カモ	コガモ	38	227	311	311	203	102	120	20				105	210	
カモ	アメリカコガモ	38.2		1	1	1									
カモ	ホシハジロ	42	29	80	64	22	22	10							
カモ	キンクロハジロ	46	106	277	299	110	151	70	105			2	5	13	
カモ	スズガモ	47	39	103	57	218	69	18	31					2	
カイツブリ	カイツブリ	62					2								
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	2	3	2	13	10								
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66				2	3								
ハト	キジバト	74	10	2	10	6	15	6	4	4	6	6	6	4	
ウ	カワウ	127	37	50	71	79	108	55	64	110	208	103	103	70	繁殖
サギ	ゴイサギ	139						2							
サギ	ササゴイ	141								2	2	2	1		
サギ	アオサギ	144	17	5	8	4	8	15	12	18	17	11	22	5	繁殖
サギ	ダイサギ	146	6	5	1	1	13	11	6	2	13	8	10	4	
サギ	チュウサギ	147										1			
サギ	コサギ	148	4	4	2	4	9	9	4	4	8	8	7	6	
クイナ	バン	174										1			
クイナ	オオバン	175	15	27	14	17	16	3							
チドリ	ケリ	195		1		4	1	1		9	10	10	8	2	
チドリ	ダイゼン	199	1				2		2			2			
チドリ	ハジロコチドリ	200	2	1	3		3								
チドリ	コチドリ	203	4	2	2	2		2			1	1	1		
チドリ	シロチドリ	204		2				1		2	2		1		繁殖
セイタカシギ	セイタカシギ	210	2	1	6		4	6							
シギ	タシギ	219	8	8	2	3	6	6	2					6	
シギ	オオハシシギ	221	3	2	6		2	4				1	1	4	
シギ	チュウシャクシギ	227							4				2		
シギ	ツルシギ	232				1	4	4	2					1	
シギ	アカアシシギ	233	3									1	2	3	
シギ	コアアシシギ	234	2	2	2	1	2	1				2		2	
シギ	アオアシシギ	235	12	8	5	5	12	12	18		14	14	17	28	

4 庄内川 明德橋～名四国道

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
シギ	キアシシギ	241							6			4	2		
シギ	ソリハシシギ	243							6		1	5	4		
シギ	イソシギ	244		2	1	1	5	5		1	2	3	2	4	
シギ	トウネン	251							2						
シギ	ハマシギ	261				6			4					1	
シギ	エリマキシギ	266		1					2						
カモメ	ユリカモメ	286	4		8	30	17	5							
カモメ	ズグロカモメ	287					2								
カモメ	ウミネコ	293							1			5	2		
カモメ	カモメ	294				4	4								
カモメ	セグロカモメ	299	5					1							
カモメ	コアジサシ	307							2						
ミサゴ	ミサゴ	339		2	1				1	1				1	
タカ	トビ	342		1	1			1							
タカ	チュウヒ	349	2	3			2	1		1	1	1	1	2	
タカ	ハイイロチュウヒ	350	1	1											
タカ	ハイタカ	355		1		1	1								
タカ	オオタカ	356				1	1								
カワセミ	カワセミ	383						1				1			
キツツキ	コゲラ	390												1	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401		1			1	1				1		2	
ハヤブサ	ハヤブサ	407					1								
サンショウウイ	サンショウウイ	412												4	
モズ	モズ	420											1		
カラス	ハシボソガラス	435	8	18	13	10	19	18	8	13	8	10	7	18	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	1				1			2					
ツリスガラ	ツリスガラ	439			1										
シジュウカラ	シジュウカラ	445					4								
ヒバリ	ヒバリ	452			1	2	3	2	1						
ツバメ	ショウドウツバメ	455												4	
ツバメ	ツバメ	457				1		10	5	11	22	6	24	2	
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	51	12	8	18	18	20	10		18	18	18	13	
ウグイス	ウグイス	464		1	1	1		1							
メジロ	メジロ	485	2		4						1	1	2	5	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							12	14	14	15	2		繁殖
セッカ	セッカ	499											2	1	
ムクドリ	ムクドリ	506				25	17		10	37	25	12	20	11	
ヒタキ	ツグミ	525		4	10	6	18	4							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	2		1	2							1	
ヒタキ	ノビタキ	542												2	

4 庄内川 明德橋～名四国道

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	イトヒヨドリ	549	1			1	1						1	1	
スズメ	スズメ	569	105	52	40	62	108	23	10	3	10	22	13	12	
セキレイ	ハクセキレイ	574	5	4	8	5	3	6	4		4	5	5	5	
セキレイ	セグロセキレイ	575						1					1	1	
セキレイ	タヒバリ	584		2		1	4								
アトリ	カワラヒワ	587	18	53	15	20	21	27	15	17	14	16	14	10	
アトリ	ベニマシコ	592		1	3	1	1								
ホオジロ	ホオジロ	610	5	2	1	2	4	1				1		1	
ホオジロ	カシラダカ	617		1		1									
ホオジロ	アオジ	624				1									
ホオジロ	オオジュリン	628	25	20	26	30	28	12						2	
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	20	35	38	60	30	30	24	25	30	30	20	30	
観察種数		92	41	50	42	49	53	48	35	20	26	36	38	41	

5 庄内川 新前田橋～明德橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	31	107	158	169	152	148	56	52	276	273	169	296	
観察種数		81	49	54	54	55	54	56	43	30	30	27	33	35	

6 横 井 山 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5		1				2	3	2	1	1			1
カモ	オカヨシガモ	26	2		2			6							
カモ	ヒドリガモ	28	12	24	89	21	19	27							
カモ	マガモ	30	21	13	3	31	28	1							
カモ	カルガモ	32	6	3	14	4	14	5		2					
カモ	コガモ	38	3	7	5	15	21	22							
カモ	ホシハジロ	42	8	19	11	6	25	8							
カモ	キンクロハジロ	46	6	6	53	42	33	81							
カモ	スズガモ	47		2											
カイツブリ	カイツブリ	62	1					2							
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	3	13	8	2	2	1							
ハト	キジバト	74	6	19	18	15	16	19	8	4	10	1	8	7	
ウ	カワウ	127	13	220	58	56	21	13	10	6	5	14	7	7	
サギ	アオサギ	144	2	3	2	2		1	1	1	3	1	1	2	
サギ	ダイサギ	146	1	1				7	2	2	5	1	1	2	
サギ	チュウサギ	147									1				
サギ	コサギ	148						2	2	1			1		
クイナ	オオバン	175	8	9	2	6	7	2							
カッコウ	ホトトギス	185													1
カッコウ	カッコウ	188													1
チドリ	ケリ	195						1	2		2	9	1		
シギ	ホウロクシギ	231								1					
シギ	コアオアシシギ	234	1												
シギ	イソシギ	244	2	2	1	2	2	2	2	2		2		1	
カモメ	ユリカモメ	286		2	10	1									
カモメ	セグロカモメ	299	1	2	2	4		1							
ミサゴ	ミサゴ	339	1	1		1	1	1	1						1
タカ	オオタカ	356		1	1										
カワセミ	カワセミ	383						2	2						
キツツキ	コゲラ	390	1	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	
ハヤブサ	ハヤブサ	407													1
サンショウクイ	サンショウクイ	412							1						
モズ	モズ	420	4	2											3
カラス	ハシボソガラス	435	30	45	37	26	61	60	43	71	44	25	18	18	
カラス	ハシブトガラス	436	30	12	13	8	52	40	53	61	14	30	15	31	
シジュウカラ	ヤマガラ	442													1
シジュウカラ	シジュウカラ	445	1	3	2	2	3	2	5	8	2	2	2	4	
ヒバリ	ヒバリ	452	1				1			3					
ツバメ	ツバメ	457						4	7	7	15	2			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	16	31	31	22	12	20	63	2	2	1	15	114	

6 横 井 山 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ウグイス	ウグイス	464	1	2	1	1	2			1					
ウグイス	ヤブサメ	465												1	
ムシクイ	エゾムシクイ	479						1	2						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						1	3						
ムシクイ	ムシクイ属の種	481.2	3									2	1	1	
メジロ	メジロ	485	11	17	10	11	15	20	1				10	14	
セッカ	セッカ	499							1		1				
ムクドリ	ムクドリ	506	6	6	25	6	28	4	11	19	121	21	53	4	
ヒタキ	クロツグミ	518						1	2						
ヒタキ	シロハラ	521	2	3	3	2	2	3							
ヒタキ	アカハラ	522	1					2	3						
ヒタキ	ツグミ	525	1	51	118	25	6	4							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3	1	1	1	1								
ヒタキ	エゾビタキ	552											2	2	
ヒタキ	サメビタキ	553											1		
ヒタキ	コサメビタキ	554						1					1	1	
ヒタキ	キビタキ	558						5	3				1		
ヒタキ	オオルリ	561						2	1						
スズメ	スズメ	569	6	38	23	25	20	18	39	35	54	18	22	22	
セキレイ	ハクセキレイ	574	4	6	3	5	5	1	1		1	3	1	5	
アトリ	カワラヒワ	587	1		2	1	6	6	9	21	6	1	2		
アトリ	シメ	600	3	2	4	1	1	1							
ホオジロ	ホオジロ	610	1				1	1	2	1					
ホオジロ	アオジ	624	1					3							
ホオジロ	オオジュリン	628					5								
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	54	110	90	27	40	5	31	10	39	23	11	64	
観察種数		66	40	35	32	31	33	44	32	21	19	18	23	25	

7 庄内川 枇杷島大橋～万場橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5	1	1				3	5	3					
カモ	オカヨシガモ	26	8												
カモ	マガモ	30	23	36	25	10	2	2	2			1		2	
カモ	カルガモ	32	205	312	215	180	70	29	17	4		16	7	37	
カモ	ハシビロガモ	34			1										
カモ	オナガガモ	35	2												
カモ	コガモ	38	8	10	4	10		3					2	3	
カモ	ホシハジロ	42		1											
カモ	キンクロハジロ	46		134	9										
カモ	スズガモ	47			10	9	15	1							
カモ	カワアイサ	59	6	18	2	37	1	3					1		
カイツブリ	カイツブリ	62	2	2		1	1	1	1						
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	2	3		4									
ハト	キジバト	74	2	6	12	8	5	19	10	5	6	2	8	9	
ウ	カワウ	127	2		36	3		8	8	6		3	5	6	
サギ	ササゴイ	141								2					
サギ	アオサギ	144	4		2	2	1	2	3	3	3	1	5	5	
サギ	ダイサギ	146			5	13		4	5				8	27	
サギ	コサギ	148					1	12	9				9		
クイナ	オオバン	175	12	22	3	13	2								
チドリ	ケリ	195				1		2	6						営巣確認
チドリ	イカルチドリ	202	1						3						
チドリ	コチドリ	203	7					2	1	2			4		
シギ	タシギ	219							1						
シギ	イソシギ	244		1				1					1		
カモメ	ユリカモメ	286			1										
カモメ	カモメ	294			1										
カモメ	セグロカモメ	299				4	1	1							
カモメ	コアジサシ	307							6						
ミサゴ	ミサゴ	339	1		1	2		1							
タカ	トビ	342		1	1			3				1			
タカ	ハイタカ	355			1										
タカ	オオタカ	356												1	
タカ	ノスリ	358			1	1									
カワセミ	カワセミ	383		1									2		
キツキ	コゲラ	390	1						4						
キツキ	アカゲラ	393			3										
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401							1	1			2		
サンショウウイ	サンショウウイ	412						2							
モズ	モズ	420	5	2	3		1	4	4	1	1	1	8	7	繁殖給餌あり

7 庄内川 枇杷島大橋～万場橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	
カラス	ハシボソガラス	435	3	6	6	23	3	8	11	8	9	23	15	5	繁殖給餌あり
カラス	ハシブトガラス	436	3	9		17	3	5	3	8	8	5	26	9	繁殖給餌あり
シジュウカラ	ヤマガラ	442	1												
シジュウカラ	シジュウカラ	445			8			1		18					繁殖給餌あり
ヒバリ	ヒバリ	452				4	3	9	6	3	1		4	12	営巣確認
ツバメ	ツバメ	457					3	17	12	22	18	7			
ツバメ	イワツバメ	461	2				9	37	43	56					営巣確認
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	42	21	46	43	28	29	12	5	10	4	53	98	
ウグイス	ウグイス	464	4	4	3	3	3	1							
ムシクイ	エゾムシクイ	479						1	1						
メジロ	メジロ	485				1	15	3					20	13	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						3							
セッカ	セッカ	499						4	7	2	1	2		1	
ムクドリ	ムクドリ	506			4	136	20	52	17	89	21	6	37	5	
ムクドリ	コムクドリ	508						1				1	4		
ヒタキ	シロハラ	521					1	1							
ヒタキ	アカハラ	522				1		5	1						
ヒタキ	ツグミ	525		1	15	37	19	21	1					3	
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4												
ヒタキ	ノビタキ	542												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554						1					1	1	
ヒタキ	キビタキ	558						8	2					3	
ヒタキ	オオルリ	561						2							
スズメ	スズメ	569	6	48	17	17		27	15	226	68	28	67	28	
セキレイ	キセキレイ	573		1										1	
セキレイ	ハクセキレイ	574	4	9	7	7	8	3	1		5	5	3	5	
セキレイ	セグロセキレイ	575	1	2	3	6	3	2	2	2	1	1	2	5	
アトリ	カワラヒワ	587	5	3	48	36	22	7	9	2	5	2	7	13	
アトリ	ベニマシコ	592					1								
アトリ	シメ	600				1	2	3							
ホオジロ	ホオジロ	610	4		2	3		6	8		3	2			
ホオジロ	カシラダカ	617	2												
ホオジロ	アオジ	624	5	2	11	4	8	13	2						
ホオジロ	オオジュリン	628					1								
ハト	カワラバト (ドバト)	外8		6	17	65	7	22	17	22	12	5	13	16	
観察種数		75	32	27	33	33	30	48	36	22	17	19	27	25	

8	庄	内	緑	地
---	---	---	---	---

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5			1		1	1	1	1				1	
カモ	ヨシガモ	27		1											
カモ	ヒドリガモ	28				6		21							
カモ	マガモ	30	63	60	49	52	49	12		1			11	32	
カモ	カルガモ	32			2	2		5	2		1			4	
カモ	オナガガモ	35		3											
カモ	コガモ	38			1										
カモ	ホシハジロ	42					2								
カモ	キンクロハジロ	46		3	5	2	2								
カモ	スズガモ	47		4											
カモ	カワアイサ	59	1												
カイツブリ	カイツブリ	62	2										1	1	
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64			2										
ハト	キジバト	74	7	4	13	8	22	15	10	4	8	2	8	6	
ウ	カワウ	127		1	4	8	4	2	2	1	11	23	100		
サギ	ゴイサギ	139						1							
サギ	ササゴイ	141								3	2				
サギ	アオサギ	144	2	2	4	3			1	1	1	2	3	5	
サギ	ダイサギ	146		1	1	3	1	1	2		3	12	25	15	
サギ	チュウサギ	147						1	1						
サギ	コサギ	148			1	1				1	1	2	3		
クイナ	バン	174			1	1	1							1	
クイナ	オオバン	175	1		1	1	1								
カッコウ	ホトトギス	185							1						
カッコウ	ツツドリ	187							2						
チドリ	コチドリ	203						1		1					
シギ	ヤマシギ	212												1	
シギ	イソシギ	244	1	1	1								1		
カモメ	ユリカモメ	286			11	10									
カモメ	コアジサシ	307						2	1	1					
ミサゴ	ミサゴ	339	2			2	1								
タカ	トビ	342									1			1	
タカ	オオタカ	356			1									1	
カワセミ	カワセミ	383										1	1	1	
キツキ	コゲラ	390	2	4	2			1	1	3	2		1	2	繁殖
ハヤブサ	ハヤブサ	407	1	1		1	1	2					1		
カササギ ヒタキ	サンコウチョウ	418							1				1		
モズ	モズ	420	4	1	1	1	1						4	4	
カラス	ハシボソガラス	435	51	48	58	53	51	29	30	26	16	25	17	28	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	11	21	10	16	11	18	15	9	5	5	5	8	

8	庄	内	緑	地
---	---	---	---	---

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
シジュウカラ	ヤマガラ	442						8	6			2	1	3	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	12	10	5	4	3	7	6	7	3	4	11	8	繁殖
ヒバリ	ヒバリ	452							1					1	
ツバメ	ツバメ	457						8	20	18	8				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	40	49	41	33	51	55	7	8	7	4	20	50	
ウグイス	ウグイス	464	1				1	1							
ウグイス	ヤブサメ	465										1	1		
ムシクイ	メボソムシクイ	477	2												
ムシクイ	エゾムシクイ	479						3							
ムシクイ	センダイムシクイ	480						8	1			1	1		
メジロ	メジロ	485	9	12	26	7	3	5	6	2			15	13	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						1							
セッカ	セッカ	499						1	1	1	2				
レンジャク	ヒレンジャク	501				4									
ムクドリ	ムクドリ	506	2	10	5	6	20	42	34	62	85	30	85	7	繁殖
ムクドリ	コムクドリ	508											2		
ヒタキ	トラツグミ	514												1	
ヒタキ	クロツグミ	518						2						2	
ヒタキ	シロハラ	521		2	3	6	9	4						1	
ヒタキ	アカハラ	522						3							
ヒタキ	ツグミ	525	5	87	47	31	28	22	2					7	
ヒタキ	ハチジョウツグミ	525.2			1										
ヒタキ	ノゴマ	533						1							
ヒタキ	コルリ	534						1	1						
ヒタキ	ルリビタキ	536		1				2							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	2	1	2	3	2							1	
ヒタキ	ノビタキ	542												1	
ヒタキ	エゾビタキ	552											3		
ヒタキ	コサメビタキ	554						2	1				4	3	
ヒタキ	キビタキ	558							4				2	1	
ヒタキ	オオルリ	561						3	1					1	
スズメ	スズメ	569	28	90	70	57	43	27	47	59	35	48	26	43	
セキレイ	ハクセキレイ	574	4	4	6	3	4	4	1	3	3	6	3	4	
セキレイ	セグロセキレイ	575	4	3	2	1	1	1	2	1	2	1	2	1	
アトリ	アトリ	586												1	
アトリ	カワラヒワ	587	12	7	57	13	38	12	8	9	2	2	3	1	
アトリ	ベニマシコ	592				1									
アトリ	シメ	600	1		1		3	2	4						
ホオジロ	ホオジロ	610	4	2	1	1	2	1		1				1	
ホオジロ	アオジ	624	1		1	1	2	1							

8	庄	内	緑	地
---	---	---	---	---

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ（アイガモ）	外7.4										1	4	6	
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	70	124	109	82	76	146	46	51	26	23	42	69	
観察種数		82	29	29	36	33	30	43	34	24	22	20	33	37	

9 庄内川水分橋～庄内橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5	5	3		1	2	8	6	3	1			2	繁殖
カモ	オカヨシガモ	26		7	4										
カモ	ヒドリガモ	28	2		31	1	40	7						2	
カモ	マガモ	30	17	3	23	14	3	2	3	2				4	
カモ	カルガモ	32		35	28	4	19	7	4			5	23	28	
カモ	ハシビロガモ	34			2										
カモ	コガモ	38		18	11	20	5	9						1	
カモ	ホシハジロ	42			1										
カモ	キンクロハジロ	46		2		1									
カモ	カワアイサ	59				4	3								
カイツブリ	カイツブリ	62	4	10	7	6	5						1	6	
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	3	5	5	9	5	1							
ハト	キジバト	74	1	2	4	9	2	6	6	7	3	3	14	5	
ウ	カワウ	127	179	130	60	15	7	7	9	13	27	22	170	485	
サギ	ゴイサギ	139											5		
サギ	ササゴイ	141							3	2	5				
サギ	アオサギ	144	2	4	3	6			4	3	1	4	4	7	
サギ	ダイサギ	146	47	29	22	21	4	1	1	1	3	6	38	30	
サギ	コサギ	148	12		2		4		1			5	10	2	
クイナ	バン	174		2									1		
クイナ	オオバン	175	8	24	26	35	40	4							
チドリ	ケリ	195							3	5					
チドリ	コチドリ	203	2	2	1	5	1	5	9	10		6			繁殖
シギ	イソシギ	244							3		1		2	3	
カモメ	コアジサシ	307							4	2					
ミサゴ	ミサゴ	339			1	1								2	
タカ	トビ	342		1						1	1				
タカ	オオタカ	356				1								1	
タカ	ノスリ	358			1										
カワセミ	カワセミ	383	2	2		1		1					1	2	
キツキ	アリスイ	388												1	
キツキ	アカゲラ	393	1												
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401	1		1			1				1			
モズ	モズ	420	6	4	1	2	2	1	4				1	12	
カラス	ハシボソガラス	435	3	9	4	17	8	18	11	10	8	7	5	8	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	1	2		5	3	5	1	4	4	1	9	33	
シジュウカラ	シジュウカラ	445							1	4			1		
ヒバリ	ヒバリ	452	1		2		4	9	6	9		1	1	1	繁殖
ツバメ	ショウドウツバメ	455											4		
ツバメ	ツバメ	457						15	16	9	13	14			

9 庄内川水分橋～庄内橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ツバメ	イワツバメ	461					16	3	19	9	7				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	15	34	18	35	13	12	8	4	3	7	18	89	
ウグイス	ウグイス	464	1	4	4	2	4	5						1	
メジロ	メジロ	485		2				1	1				13	3	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							9	4			1	繁殖	
セッカ	セッカ	499						6	10	6	5	5	1	1	繁殖
ムクドリ	ムクドリ	506		32	31	622	14	59	39	169	96	4	18	54	
ムクドリ	コムクドリ	508						1							
ヒタキ	ツグミ	525		14	43	51	15	19							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3	3	2	3	3								
ヒタキ	ノビタキ	542												5	
ヒタキ	コサメビタキ	554												3	
スズメ	スズメ	569	112	43	40	48	21	17	28	30	19	40	85	20	
セキレイ	キセキレイ	573												2	
セキレイ	ハクセキレイ	574	6	8	4	12	9	5	1		2	1	7	15	
セキレイ	セグロセキレイ	575	3	4	2	5	1	3	3	2	1	2	7	6	
セキレイ	ピンズイ	580												1	
アトリ	カワラヒワ	587	13	67	32	2	18	13	17	4	18	7	2	7	
アトリ	ベニマシコ	592		1				1							
アトリ	シメ	600		2											
ホオジロ	ホオジロ	610			5	2	2	1	4	1	1	3		1	繁殖
ホオジロ	カシラダカ	617												2	
ホオジロ	アオジ	624		2	7	9	4	3							
ハト	カワラバト (ドバト)	外8	2	2	3	17	6	5	7	14	8	3	2	4	
観察種数		64	27	34	34	33	31	34	31	26	21	21	27	36	

10 庄内川 松川橋～水分橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5						2		3		1	1	1	
カモ	ヒドリガモ	28		4	12			6							
カモ	マガモ	30			12					6			13	12	
カモ	カルガモ	32	6	4	6		4	10	5	6	8	8	33	9	
カモ	コガモ	38	25	42	32	22	22	10							
カモ	カワアイサ	59		26	32	12	14	2							
カイツブリ	カイツブリ	62	5	6	8	2	2	2					1	2	
ハト	キジバト	74	14	24	12	6	4	2	2	4	4	2	3	6	
ウ	カワウ	127	162	123	64	8	8	5	4	24	6	3	5	186	
サギ	ササゴイ	141								1					
サギ	アオサギ	144	10	8	16	8	8	2	3	6	6	3	6	18	
サギ	ダイサギ	146	3	8	20	4	2	2	5	3	2	1	6	36	
サギ	コサギ	148	28	40	24	12	7	1	1	1	2	2	1	6	
クイナ	オオバン	175		6	18	2	22			2					
チドリ	ケリ	195	3				5	6		2	2				
チドリ	シロチドリ	204											2	4	
シギ	トウネン	251	2	1		2	1								
カモメ	コアジサシ	307								2	2				
ミサゴ	ミサゴ	339			2	1							2	1	
タカ	トビ	342	2	4	2	2	1						1		
タカ	オオタカ	356	1	1	1		1								
タカ	ノスリ	358	1	1	1										
カワセミ	カワセミ	383	1	1		1	1	1						2	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401	1	1	1				1						
ハヤブサ	ハヤブサ	407			1										
モズ	モズ	420	5	2	3	2		3	6	4	2		2	10	
カラス	ハシボソガラス	435	6	6	3	3	2	4		12	8		1	4	
カラス	ハシブトガラス	436	29	26	28	8	14	24	34	22	16	6	10	66	
ヒバリ	ヒバリ	452	3	8	7	4	6	4	8		2			8	
ツバメ	ツバメ	457						111	108	141	126	86			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	22	24	42	20	12	8	4	14	6	4	26	26	
ムシクイ	センダイムシクイ	480												1	
セッカ	セッカ	499								6	2		4		
ムクドリ	ムクドリ	506	6	92	136	29	8	36	42	42	44	2	19	13	
ヒタキ	ツグミ	525	1	74	37	15	12	16	2	12	2		1		
ヒタキ	ジョウビタキ	540	5	2	6	2									
ヒタキ	ノビタキ	542	1											8	
ヒタキ	イソヒヨドリ	549			1								1	1	
ヒタキ	オオルリ	561						1							
スズメ	スズメ	569	42	34	42	6	12	24	36	32	34	16	58	24	

10 庄内川 松川橋～水分橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
セキレイ	ハクセキレイ	574	37	10	18	14	12	4	2	6	8	4	6	16	
セキレイ	セグロセキレイ	575	7	6	6		2	7	8	4	4		2	4	
アトリ	カワラヒワ	587	10	36	46	12	6	4	1	9	6	5			
ホオジロ	ホオジロ	610		1				2		2				1	
ホオジロ	カシラダカ	617			4										
ホオジロ	アオジ	624						1							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	40	16	12	8	18	14	12	24	22	7	8	14	
観察種数		47	29	31	33	25	26	29	19	26	22	15	24	26	

11 庄内川竜泉寺 吉根橋～東名阪

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5		2					6	4	1				
カモ	オカヨシガモ	26		1											
カモ	マガモ	30										2			
カモ	カルガモ	32		19	28	11	4	6	5	5			1	30	
カモ	トモエガモ	37		1											
カモ	コガモ	38	6	18	13	7	3	2							
カモ	カワアイサ	59		2			3								
カイツブリ	カイツブリ	62	1	8	2	2	4	1							4
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64			1		1	1							
ハト	キジバト	74	4	5	3	7	7	7	9		7	2	9	13	
ウ	カワウ	127	2	7	2	3	1	3	8	5	5	4	53	6	
サギ	アオサギ	144		2	2	2	1			1	2		1	2	
サギ	ダイサギ	146	4	20	3	2	2	4	2		1		5	4	
サギ	チュウサギ	147							5						
サギ	コサギ	148						2	1					2	
クイナ	バン	174													2
クイナ	オオバン	175	1	19	2	27	19	6							
チドリ	ケリ	195	2			3	2	5	6	7	2				
チドリ	イカルチドリ	202				1				1		2			
チドリ	コチドリ	203							1						
カモメ	カモメ	294				1									
ミサゴ	ミサゴ	339	2				1						1	3	
タカ	トビ	342		1	2	1	3	2	1	1					
タカ	ハイタカ	355		2											
タカ	オオタカ	356	1			2					1		1		
タカ	ノスリ	358		1	1	1									
カワセミ	カワセミ	383		2	1	1	1	1		1			1		
キツツキ	コゲラ	390		3	1	2	1	2	3	2	2		3	1	
キツツキ	アカゲラ	393			1		1								
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401	1			1									
ハヤブサ	ハヤブサ	407					1								
モズ	モズ	420	2	3	3	1	2	1					4	5	
カラス	ハシボソガラス	435	46	5	8	18	7	15	18	9	19	10	28	40	
カラス	ハシブトガラス	436	8	54	20	15	11	8	9	8	5	2	16	4	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	1	2	2	2	1	4		1			1	4	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	3	10	4	4	5	6	11	10	3	1	7	9	
ヒバリ	ヒバリ	452	5		5			4	5	1					
ツバメ	ツバメ	457						22	50	24	41	12	7		
ツバメ	コシアカツバメ	459										5	17		
ツバメ	イワツバメ	461						9	3						

11 庄内川竜泉寺 吉根橋～東名阪

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	41	61	17	22	28	35	15	12	15	9	30	180	
ウグイス	ウグイス	464	4	5	4	2	7	5							
ウグイス	ヤブサメ	465						5	2						
エナガ	エナガ	466		8		4		8	3						
ムシクイ	オオムシクイ	476							1						
ムシクイ	エゾムシクイ	479												1	
ムシクイ	センダイムシクイ	480							1						
メジロ	メジロ	485	20	40	10	17	9	11	9	7	13	6	22	80	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							4	7					
セッカ	セッカ	499							1						
ムクドリ	ムクドリ	506		15	2	1		9	15	7	1	2	2	80	
ヒタキ	トラツグミ	514				1									
ヒタキ	クロツグミ	518						1							
ヒタキ	シロハラ	521		1	1	3	1	2							
ヒタキ	ツグミ	525	1	76	1	4	3	23							
ヒタキ	コマドリ	530						1							
ヒタキ	ルリビタキ	536					1								
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	1		1	2								
ヒタキ	ノビタキ	542												9	
ヒタキ	キビタキ	558						2		1					
ヒタキ	オオルリ	561						1							
スズメ	スズメ	569	9	78	20	15	4	9	30	12	17	15	140	375	
セキレイ	キセキレイ	573											1	2	
セキレイ	ハクセキレイ	574	8	5	4	3	3	3	1	3	2	3	5	8	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2		1		1	1	3	2	2	5	5	8	
アトリ	カワラヒワ	587	1		4	13	3	11	9	25	6			25	
アトリ	ベニマシコ	592		1											
アトリ	シメ	600		2	2	8	13	12							
ホオジロ	ホオジロ	610	2	6	3	2	2	3		2	1				
ホオジロ	アオジ	624	2	4	3	3	2	3							
キジ	コジュケイ	外1											1	1	
ハト	カワラバト（ドバト）	外8		20	13	3	1		4	8	1	2	10	24	
観察種数		72	27	37	34	38	37	41	31	26	21	15	25	27	

12 庄内川 東谷橋～吉根橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5				2	4	5	7	3	2	2			4
カモ	オカヨシガモ	26	4												
カモ	ヨシガモ	27		6		18	15	6							
カモ	ヒドリガモ	28		1	1	1	6	2							
カモ	マガモ	30			2	5	4								
カモ	カルガモ	32	4	11	13	3	6	7	10	11	5	15	10	14	
カモ	ハシビロガモ	34				1	6	2							
カモ	コガモ	38	85	60	69	68	67	58	9						26
カモ	ホオジロガモ	57				1									
カモ	カワアイサ	59		1	15	12	7	2							
カイツブリ	カイツブリ	62	18	14	11	11	9	2		1				2	2繁殖
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	1	1	1										
ハト	キジバト	74	2	23	9	24	6	11	10	5	11	16	6	18	
ウ	カワウ	127	192	51	85	9	8	59	107	33	164	425	250	169	
サギ	ゴイサギ	139								1					
サギ	アオサギ	144	8	4	9	5	2	2	6	4	6	7	5	4	
サギ	ダイサギ	146	15	10	36	4	3	11	7		3	9	14	23	
サギ	コサギ	148			1	1		4				2	1	1	
クイナ	ヒクイナ	170							2						
クイナ	バン	174													2
クイナ	オオバン	175		1	3		1								
チドリ	ケリ	195					1		4						
チドリ	イカルチドリ	202		5	2	3	2	2	7	1	16	6			6繁殖
チドリ	コチドリ	203				2		5	1	3					
シギ	タシギ	219					1								
シギ	クサシギ	239	2	1			1								
シギ	イソシギ	244		2	2							4		4	
ミサゴ	ミサゴ	339	2		3	1		1	1			1	1	2	
タカ	トビ	342	1	2	2	1	2	2	2	1	2				3
タカ	ツミ	354													1
タカ	ハイタカ	355	2	1	3		2								
タカ	オオタカ	356			1	1	2			1	1	1			
タカ	ノスリ	358	2	1	2	1	3								12
カワセミ	カワセミ	383	7	3	2	3	6	2	2	1	4	3	6	9	
キツツキ	アリスイ	388			1										
キツツキ	コゲラ	390	1		1					1	1		4	2	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401	2	1											
ハヤブサ	ハヤブサ	407		1	1						1	1			1
サンショウウカイ	サンショウウカイ	412							1			1			
モズ	モズ	420	12	9	3	7	9	9	4	8	4	4	8	20	繁殖

12 庄内川 東谷橋～吉根橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カラス	ハシボソガラス	435	13	12	9	19	8	13	12	20	16	10	9	20	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	4	5	8	15	7	3	5	5	8	3	4	2	
シジュウカラ	ヤマガラ	442				1			1			2	1		
シジュウカラ	シジュウカラ	445	3	5	4	3	2	2	9	4	1	3	3	7	繁殖
ヒバリ	ヒバリ	452		11	5	8	8	6	10	8	7	6	2	14	繁殖
ツバメ	ツバメ	457					11	50	55	68	55	56	11	1	繁殖
ツバメ	コシアカツバメ	459											7		
ツバメ	イワツバメ	461		17			5	42	4	14	3	5	13	12	
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	102	72	85	81	45	27	57	33	25	20	45	80	
ウグイス	ウグイス	464	11	10	4	8	8	2				1		4	
エナガ	エナガ	466												15	
ムシクイ	エゾムシクイ	479						2							
メジロ	メジロ	485	13	22	12	12	15	2	6	13	13	5	67	18	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						6	10	11	2				
セッカ	セッカ	499										2	2		
レンジャク	キレンジャク	500				1	3								
レンジャク	ヒレンジャク	501				4	49								
ムクドリ	ムクドリ	506	27	8	19	34	22	28	32	26	5	3	4	51	繁殖
ムクドリ	コムクドリ	508										3			
ヒタキ	シロハラ	521	2	1		2	1	1							
ヒタキ	ツグミ	525	1	33	22	25	22	14							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	10	5	3	4	3	1						10	
ヒタキ	ノビタキ	542											1	18	
ヒタキ	イソヒヨドリ	549	2									1	1	3	
ヒタキ	キビタキ	558							2						
スズメ	スズメ	569	33	81	59	75	35	31	68	54	62	39	228	150	繁殖
セキレイ	キセキレイ	573	1			1	1						1	2	
セキレイ	ハクセキレイ	574	8	8	6	5	14	6	21	6	3	12	3	8	繁殖
セキレイ	セグロセキレイ	575	20	16	15	18	11	9	7	16	16	14	11	18	繁殖
セキレイ	ビンズイ	580		1	2	2		1						6	
セキレイ	タヒバリ	584	13	8	17	11	5							18	
アトリ	カワラヒワ	587	13	63	62	76	27	9	12	6	10	8	9	27	
アトリ	ベニマシコ	592	2	4		5	3								
アトリ	シメ	600	1	6	2	2	1								
アトリ	イカル	602											1		
ホオジロ	ホオジロ	610	20	25	26	33	27	16	16	18	18	11	2	13	
ホオジロ	カシラダカ	617			3	16	21								
ホオジロ	アオジ	624	13	9	13	14	12	3							
ホオジロ	オオジュリン	628				8	10								
キジ	コジュケイ	外1					1					1		5	

12 庄内川 東谷橋～吉根橋

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	7	9	32	16	60	20	14	15	36	24	25	23	
観察種数		81	40	45	46	51	53	42	34	30	30	35	33	44	

13 矢 田 川 橋 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30		2	5	6	2	1	2	1					
カモ	カルガモ	32	1		4			2	4	1	6				
カモ	カワアイサ	59			2										
ハト	キジバト	74					1		1		3		1	3	
ウ	カワウ	127			9	1		1	350					560	
サギ	アオサギ	144							1	1	1		1	3	
サギ	ダイサギ	146	1		6	2			2		2	2	2	8	
サギ	コサギ	148			39	3	1		1						
チドリ	コチドリ	203	3	1	4	1		2	1						
シギ	イソシギ	244			1	3		3	2				2	2	
カモメ	ユリカモメ	286	1												
タカ	トビ	342					1							1	
カワセミ	カワセミ	383				1									
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401					1		1					1	
モズ	モズ	420		1										2	
カラス	ハシボソガラス	435	21	18	6	17	11	8	6	6	5	4	15	13	
カラス	ハシブトガラス	436							2				3		
ヒバリ	ヒバリ	452	1			1	8	9	8	6	3	1			
ツバメ	ショウドウツバメ	455						3	8	1	3	5			
ツバメ	ツバメ	457					5	25	20	8	12	3			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	2		3	14	3	2	3		5		5	10	
ムクドリ	ムクドリ	506	7	1	38	180	57	38	37	41	21	15	10	21	
ヒタキ	ツグミ	525			4	3	20	12							
ヒタキ	ジョウビタキ	540		1											
スズメ	スズメ	569	52	50	35	23	46	16	19	23	18	5	195	95	
セキレイ	キセキレイ	573	1		1										
セキレイ	ハクセキレイ	574	18	14	17	10	7	9	6	3	5	2	3	19	
セキレイ	セグロセキレイ	575	5	4	5	2	4	4	4	2	2		7	5	
アトリ	カワラヒワ	587	5	8	3	1		3	11	11	9	12	28	7	
ホオジロ	アオジ	624		1		3	3								
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	25	8	2	52	62	20	68	101	7	14	15	24	
観察種数		31	14	12	18	18	16	17	22	13	15	10	13	16	

14 堀 川 白 鳥 付 近

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	カルガモ	32	6	7	5	11	12	4	1				2	3	
カモ	ハシビロガモ	34				9	13								
カモ	ホシハジロ	42	29	70	48	135	50	3	2						
カモ	キンクロハジロ	46	36	56	89	128	140	44	2						
カモ	スズガモ	47		4	7	6	7								
カイツブリ	カイツブリ	62		1											
ハト	キジバト	74	1		6	1	2	3	3	3	1	5	3	5	
ウ	カワウ	127	3		4			40	6	50	5		1	16	
サギ	アオサギ	144		1	1		1	1	1	1	1			1	
サギ	ダイサギ	146												2	
サギ	コサギ	148	1										1		
クイナ	オオバン	175		6		16	11								
シギ	イソシギ	244	2	1	2										
カモメ	ユリカモメ	286	130	10	165	45	25	39							
カモメ	カモメ	294					1								
タカ	オオタカ	356					1								
カワセミ	カワセミ	383											1		
キツキ	コゲラ	390						1	1					2	
サンショウクイ	サンショウクイ	412							1						
モズ	モズ	420											1	1	
カラス	ハシボソガラス	435	11	23	18	32	19	10	8	3	5	15	13	20	
カラス	ハシブトガラス	436	7	22	10	14	6	17	11	4	10	13	15	15	
シジュウカラ	シジュウカラ	445		1	2		1	1	1		2		1	2	
ツバメ	ツバメ	457						3	1	4	3				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	32	17	29	19	5	15	13	6	8		12	41	
ウグイス	ウグイス	464	1		1		1								
ムシクイ	メボソムシクイ	477							1						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						2							
メジロ	メジロ	485	8	1	3	2	1	9	2				1	6	
ムクドリ	ムクドリ	506	1	10	8	7	4	14	20	6	21	7	7	6	
ヒタキ	シロハラ	521			1	1									
ヒタキ	ツグミ	525			3	2	3	1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	5		1		1								
ヒタキ	イソヒヨドリ	549												1	
ヒタキ	キビタキ	558						1					1		
スズメ	スズメ	569	62	30	40	45	39	45	48	34	45	78	82	75	
セキレイ	ハクセキレイ	574	6	7	5	3	4	3	2	1	1	1	3	3	
セキレイ	セグロセキレイ	575		1											
アトリ	カワラヒワ	587		1				4	2	2	1				
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	33	45	38	38	39	58	45	13	14	35	69	55	

14 堀 川 白 鳥 付 近

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
観察種数		40	18	20	22	18	23	22	20	12	13	7	16	17	

15 堀川上中流

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	ヨシガモ	27				3	4	3							
カモ	ヒドリガモ	28		1	7	10	18	2							1
カモ	マガモ	30		17	7	12	11								
カモ	カルガモ	32	2	8	7	11	4	2	2		8	25	30	2	
カモ	ハシビロガモ	34			3	2									
カモ	オナガガモ	35		4											
カモ	コガモ	38	50	110	81	85	80	51	3	3				14	48
カモ	ホシハジロ	42	29	37	64	68	130	32							4
カモ	キンクロハジロ	46	46	32	105	149	122	49	1						11
ハト	キジバト	74	3		3	4	2	3	9	4	7		2	2	
ウ	カワウ	127	5	20	6	3	3	12	9	5	5	7	3	6	
サギ	ササゴイ	141							1		1				
サギ	アオサギ	144	2	5	2	2		11	3	4	1	2	1	1	
サギ	コサギ	148					1								
クイナ	オオバン	175		1	1	2	4								
シギ	イソシギ	244						1				2	1		
カモメ	ユリカモメ	286		2	1	11	4								
カモメ	カモメ	294					15								
カモメ	セグロカモメ	299				1	1								
カワセミ	カワセミ	383	2	1	2		1	1		1					
キツツキ	コゲラ	390							1						1
モズ	モズ	420													1
カラス	ハシボソガラス	435	2	6	7	4	4	11	9	6	7	8	5	8	
カラス	ハシブトガラス	436	11	8	2	6	2	3	3	3			2	1	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	1				4	2	1			1	5	1	
ツバメ	ツバメ	457						7	8	17	5	5			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	16	15	3	13	7	5	3	2	2		2	14	
ウグイス	ウグイス	464	2		1										
メジロ	メジロ	485		2	2	1		1							
ムクドリ	ムクドリ	506	3	7	3	10	7	1	4	2	2	25	8	2	
ヒタキ	シロハラ	521			1			1							
ヒタキ	ツグミ	525		4	1	2	2	1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3			1	1								
ヒタキ	イソヒヨドリ	549						2	2				1	2	
スズメ	スズメ	569	8	6	13	15	6	16	23	22	15	11	29	12	5月に営巢
セキレイ	キセキレイ	573		1			1	1						1	
セキレイ	ハクセキレイ	574	3	7	5	6	2	3	2	2	6	5	4	6	
セキレイ	セグロセキレイ	575			1			2	1			1			
アトリ	カワラヒワ	587		2				2							4月に求愛給餌
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	1	11	6	10	4	11	23	12	16	4	24	4	

15 堀 川 上 中 流

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
観察種数		40	18	23	25	24	26	27	19	13	12	12	15	20	

16 黒川

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	ヨシガモ	27		23	23	16	16	11							
カモ	マガモ	30	2	4	8	2	5	3							
カモ	カルガモ	32	4	9	6	5	5	2					14	6	
カモ	オナガガモ	35		5	15	3									
カモ	コガモ	38	56	63	93	32	64	44	2					33	
カモ	ホシハジロ	42	21	83	69	34	19	5							
カモ	キンクロハジロ	46	8	55	52	33	48	28							
ハト	キジバト	74	3	14	7	27	21	4	5	3	3	2	6	15	
ウ	カワウ	127		15	54	1		1	3	4	4		2	3	7月16日衰弱個体成鳥1幼鳥1 死体幼鳥1 大雨が原因か?
サギ	ゴイサギ	139	1												
サギ	ササゴイ	141							1				1		
サギ	アオサギ	144		4	15	4					2	3	1		
サギ	ダイサギ	146		3	2	1					1				
サギ	コサギ	148		5	7	1	1	2			1		1	2	
カモメ	ユリカモメ	286			4										
カワセミ	カワセミ	383	2	1	4	6						3		5	
キツツキ	コゲラ	390			1	2	2	1		1	1	2		1	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401							1						
モズ	モズ	420				1								1	
カラス	ハシボソガラス	435	2	4	2	5	5	10	11	6	7	10	9	13	
カラス	ハシブトガラス	436		3	2	27	6	1	2	1	3	11	2	4	
シジュウカラ	ヤマガラ	442											1		
シジュウカラ	シジュウカラ	445			2	4	3	4	19	15	2	5	24	10	
ツバメ	ツバメ	457						9	8	7	6				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	23	26	37	29	21	86	15	19	8	12	16	34	
ウグイス	ウグイス	464	3	4	2	2	1	2							
ウグイス	ヤブサメ	465	1												
ムシクイ	メボソムシクイ	477												3	
ムシクイ	エゾムシクイ	479						1							
ムシクイ	センダイムシクイ	480						1							
メジロ	メジロ	485	4	35	23	49	13	91		3			5	9	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							1						
ムクドリ	ムクドリ	506	2	16	15	160	30	20	11	10	47	4	5	8	
ヒタキ	クロツグミ	518												1	
ヒタキ	シロハラ	521					1								
ヒタキ	ツグミ	525		6	5	4	14	1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	2	6	5	3	4							5	
ヒタキ	コサメビタキ	554						4		1			1	1	
ヒタキ	キビタキ	558						1						2	
スズメ	スズメ	569	17	65	19	66	15	55	70	53	50	29	19	32	

16

黒

川

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項	
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	
セキレイ	キセキレイ	573	2		2	4	1	1					2	2		
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	1	7		1	3	3	2	3	3	5	6		
アトリ	カワラヒワ	587	2	1			2	10	2	6						
ホオジロ	アオジ	624	2	3	5	5	5	8								
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	15	36	9	41	33	8	17	8	15	17	35	44		
観察種数		45			21	26	29	28	25	29	16	15	15	12	18	23

17 大 江 川 河 口

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26		3	5	2	5								
カモ	ヨシガモ	27				4									
カモ	ヒドリガモ	28	23	50	93	142	149	34							13
カモ	マガモ	30	6	13	12	8	8	4	2	2			2	11	
カモ	カルガモ	32	25	13	12	14	14	6	2	11	9	8	10	23	
カモ	ハシビロガモ	34	6	37	135	17	7	7							7
カモ	オナガガモ	35	17	18	38	46	19								13
カモ	コガモ	38	54	48	112	122	108	43	1				7	58	
カモ	ホシハジロ	42	266	291	67	239	353	4	3	2	2	1	2	51	
カモ	キンクロハジロ	46	208	472	498	328	581	137	59	2	1				18
カモ	スズガモ	47				39	13	112	13						2
カイツブリ	カイツブリ	62									1				2
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	11	27	102	321	378	37	1	1		1			1
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66		1											
ハト	キジバト	74	5	7	15	4	6	5	5	6	4	3	6	7	
ウ	カワウ	127	79	183	30	1395	131	110	21	101	49	84	233	300	
サギ	ゴイサギ	139									1				
サギ	ササゴイ	141						1	7	6	6	2			
サギ	アオサギ	144	21	25	22	28	19	6	4	2	2	7	12	32	
サギ	ダイサギ	146	5	4	2			1	3	2	2	12	17	6	
サギ	コサギ	148	2	2			1	4	4	4	2	1	2	4	
クイナ	オオバン	175	4		1		1								
チドリ	ケリ	195	1	4	4	5	3		1			4	4		
チドリ	イカルチドリ	202		1	2	1						1	1	1	
チドリ	コチドリ	203						3	3	1	1	1			
シギ	タシギ	219		2	2	2	2								
シギ	キアシシギ	241							4			4	4		
シギ	イソシギ	244	2	3	1	1	2	2	2	2	1	2	2	3	
シギ	ハマシギ	261		5	2										
カモメ	セグロカモメ	299		1	2	2	3	1							
カモメ	コアジサシ	307							18	15	2				
ミサゴ	ミサゴ	339	1	2	1		1	1	1				1		
タカ	ハイタカ	355		1											
タカ	オオタカ	356			1										
カワセミ	カワセミ	383	1		1	1	1	1			1	2	1	2	
ハヤブサ	ハヤブサ	407			1					1					
モズ	モズ	420	3		1	1		1							1
カラス	ハシボソガラス	435	7	10	14	6	5	2	6	6	6	2	6	4	5/15 2羽巣立ち
カラス	ハシブトガラス	436	3	5	3	4	2	4	2	4	4	2	4	12	
シジュウカラ	シジュウカラ	445			2				2			2	1	2	

17 大 江 川 河 口

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ツバメ	ツバメ	457						2	4	4	8	3	1		
ツバメ	イワツバメ	461								2					
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	59	20	31	28	25	20	17	6	10	2	4	71	
ウグイス	ウグイス	464	1	1				3	2						
メジロ	メジロ	485	1	2	3	6	2	6					1	2	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							1	2	1				
ヨシキリ	コヨシキリ	493							1						
ムクドリ	ムクドリ	506	46	30	36	12	68	50	43	51	30	105	135	40	
ムクドリ	コムクドリ	508										8			
ヒタキ	シロハラ	521					1	1							
ヒタキ	ツグミ	525	1	1	5	30	7	2							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3	2	2	2	2							4	
ヒタキ	ノビタキ	542	1											1	
ヒタキ	イソヒヨドリ	549	2				2	1	2	1	1			1	
スズメ	スズメ	569	41	50	32	12	7	50	28	98	28	18	51	44	数ヶ所で繁殖
セキレイ	キセキレイ	573	1											2	
セキレイ	ハクセキレイ	574	5	3	6	2	2	4	1	2	2	9	6	6	
セキレイ	セグロセキレイ	575	3	2	1	1	1	1				2	2	2	
アトリ	アトリ	586	8												
アトリ	カワラヒワ	587	17		2	2	2	5	5	4		2	2	2	
ホオジロ	アオジ	624			1										
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	3	6	6	4	5	4	3	2	2	2	4	16	
観察種数		62	37	36	40	34	36	36	33	27	25	27	27	35	

18 大 江 川 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	2	3	3	3	3								
カモ	カルガモ	32	68	52	53	55	41	13	2	5	4	8	29	32	
ハト	キジバト	74	13	8	7	20	12	22	8	8	10	6	6	8	
ハト	アオバト	78					1								
ウ	カウウ	127	3	20	3						1	1		1	
サギ	ササゴイ	141						3	14	70	52	13	3		
サギ	アオサギ	144					1		1				1	1	
サギ	ダイサギ	146	1												
ミサゴ	ミサゴ	339	1					1							
タカ	ツミ	354			1										
タカ	ハイタカ	355					1								
タカ	オオタカ	356						1							1
キツツキ	コゲラ	390	3	4	2	4	3	4	6	5	4		2	2	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401									1				
サンショウクイ	サンショウクイ	412						1	1			1	1		
モズ	モズ	420	2			1		1					1	2	
カラス	カケス	427													1
カラス	ハシボソガラス	435	10	20	7	23	17	12	20	10	8	18	16	18	
カラス	ハシブトガラス	436	4	13	8	4	2	2	2	4	2	4	2	3	
シジュウカラ	ヤマガラ	442											2	2	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	10	3	4	4	7	8	6	5	9	4	4	6	
ツバメ	ツバメ	457					1	2	4	2	4	4			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	45	51	50	22	25	35	20	20	6	5	40	145	
ウグイス	ウグイス	464	2	1			2	1	1					1	
ウグイス	ヤブサメ	465											1	1	
ムシクイ	オオムシクイ	476	2						6	1			1	1	
ムシクイ	メボソムシクイ	477							1				1		
ムシクイ	エゾムシクイ	479						2	2						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						2	2			1			
メジロ	メジロ	485	22	37	30	6	19	26	6	4	6		2	45	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						1		1					
レンジャク	ヒレンジャク	501					11								
ムクドリ	ムクドリ	506	12	29	15	6	8	20	11	150	20	40	15	20	
ムクドリ	コムクドリ	508											4		
ヒタキ	クロツグミ	518						1						1	♂
ヒタキ	シロハラ	521	2	2	3	11	12	11							
ヒタキ	アカハラ	522	1				1	1							
ヒタキ	ツグミ	525	2	11	130	3	3	6							
ヒタキ	ルリビタキ	536					1	1	1						
ヒタキ	ジョウビタキ	540	2		1	1	2						1	2	♂1 ♀1

18 大 江 川 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	エゾビタキ	552												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554												1	2
ヒタキ	キビタキ	558	1						3	5				1	2
ヒタキ	オオルリ	561							2	1					1 <small>♂冬</small>
スズメ	スズメ	569	21	10	25	15	12	11	22	10	27	15	24	45	
セキレイ	キセキレイ	573													2
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	2	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2	1							1	1	1	1	
アトリ	カワラヒワ	587	7	2		4	5	4	4	4	2	2	2	28	
アトリ	シメ	600	1			1	1	1							
ホオジロ	アオジ	624	3			2	3	3	1						
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	62	20	30	48	70	28	34	30	31	48	36	38	
観察種数		52	28	19	18	20	27	32	26	17	18	17	27	29	

19 天 白 川 河 口

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5										1			
カモ	オシドリ	24													1
カモ	オカヨシガモ	26				1	2								
カモ	ヒドリガモ	28	15	26	46	31	36	32	1						2
カモ	マガモ	30	10	18	5	10	14	1							1
カモ	カルガモ	32	34	31	17	36	13	21	5	10	13	13	13		29
カモ	ハシビロガモ	34	11	10	36	14	12								
カモ	オナガガモ	35	52	46	59	77									31
カモ	コガモ	38	29	12	13	3	9	16							13
カモ	ホシハジロ	42	301	291	439	275	204	16	1						13
カモ	キンクロハジロ	46	52	71	284	181	325	77							27
カモ	スズガモ	47	258	237	239	242	144	137	34						1
カモ	クロガモ	54		1											
カモ	ミコアイサ	58				1									
カモ	ウミアイサ	60	1												
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	13	35	90	154	74	3							1
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66		2	4	1									
ハト	キジバト	74	1			4	1	5		2	3	1	2	3	
ウ	カワウ	127	48	128	74	124	95	20	45	205	278	195	151	1086	
サギ	ササゴイ	141						1		3	5				婚姻色成鳥(6月)、幼鳥(7月)
サギ	アオサギ	144	10	5	7	5	3	3	1	3	6	10	11	8	幼鳥を多く確認(8月)
サギ	ダイサギ	146		2		1	1	7	3	2	8	10	4	5	
サギ	コサギ	148	2	4		5	7	3	8		7	6	7	7	
クイナ	オオバン	175	63	116	106	103	101	1							24
チドリ	ケリ	195		4		2		2						1	
セイタカシギ	セイタカシギ	210												1	
シギ	チュウシャクシギ	227						5	8	1	1				
シギ	アオアシシギ	235						1	1						
シギ	キアシシギ	241							6		1	1	3		
シギ	ソリハシシギ	243							5			2	1		
シギ	イソシギ	244	9	10	13	5	8	8	7	1	10	7	12	13	幼鳥を多く確認(7月)
シギ	キョウジョシギ	246							5						
シギ	トウネン	251							7						
シギ	ハマシギ	261	65	52											
カモメ	ユリカモメ	286	1	4	192	4	3	101							
カモメ	ウミネコ	293	2	3	1	1						2			
カモメ	カモメ	294		2	17		5								
カモメ	セグロカモメ	299	2	3		1	4	1							
カモメ	オオセグロカモメ	301		3	1	1									
カモメ	コアジサシ	307						3	11		2				求愛給餌(5月)

19 天 白 川 河 口

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ミサゴ	ミサゴ	339	6	4	2		1	1					2	3	
タカ	トビ	342	1			2	1			1		1			
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401	1	1	1									1	
ハヤブサ	ハヤブサ	407								1					
モズ	モズ	420	1			1								1	
カラス	ハシボソガラス	435	9	10	5	4	7	45	25	25	54	18	20	29	
カラス	ハシブトガラス	436	5	1	6		3	35	4	5	6	3	16	17	
シジュウカラ	シジュウカラ	445				1						1		2	
ツバメ	ツバメ	457					2	3	3	11	5	2			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	8	6	7	9	4	10		2		2	1	35	
ウグイス	ウグイス	464	1												
メジロ	メジロ	485	4	3	11	3	1							8	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492									1				
ムクドリ	ムクドリ	506	9	5	4	5	14	11	11	54	93	26	67	8	幼鳥を多く確認（7月）
ヒタキ	ツグミ	525			1	2		7							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1											2	
ヒタキ	イソヒヨドリ	549	1	1	1	1	1					2		1	
スズメ	スズメ	569	17	1	19	50	6	29	7	41	13	11	32	9	
セキレイ	ハクセキレイ	574	6	14	12	14	7	5	2	6	4	6	4	14	雛への給餌（7月）
アトリ	カワラヒワ	587	6	2				4	1	1	4	2	1	2	
ホオジロ	オオジュリン	628		2											
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	10	6	12	5	13	11	9	6	17	5	20	17	
観察種数		62	37	38	31	37	32	33	24	19	21	22	20	32	

20 天 白 川 緑 地

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	ヒドリガモ	28	1		23		6	9							
カモ	マガモ	30	7	8	5	5			1						
カモ	カルガモ	32	24			10	3	7	8	7	8	20	21	12	
カモ	コガモ	38	18	13		20	9	11							
カイツブリ	カイツブリ	62	2	1		2	1								
ハト	キジバト	74	13	6	3	7	2	3	7	3	1	4	6	6	
ウ	カワウ	127	3	5			5	7	2	2	2	3	6	12	
サギ	ササゴイ	141								1	3	6	2		
サギ	アオサギ	144	1	2	1		1	1	2	1	4	5	4	5	
サギ	ダイサギ	146	12				1	2	1	2	4	4	6	5	
サギ	コサギ	148					4	6	2	1	5	4	3	2	
クイナ	バン	174		1	1	2	1	1							
クイナ	オオバン	175	5	5	4	5	4	4					2	3	
チドリ	イカルチドリ	202	2					1							
チドリ	コチドリ	203						2	3						
シギ	イソシギ	244	3		1			1	2				2	2	
タカ	オオタカ	356	1												
カワセミ	カワセミ	383	2	1	3	1		1	1			2		1	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401												1	
モズ	モズ	420	3		4		1	1	1			1	2	4	
カラス	ハシボソガラス	435	16	7	12	16	16	8	12	4	5	1	11	9	
シジュウカラ	シジュウカラ	445											2		
ツバメ	ツバメ	457						7	16	9	21	4	2		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	11	6	6	2		2	5	2	2	1	6	6	
メジロ	メジロ	485		1				2	1						
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							1						
ムクドリ	ムクドリ	506	83	17	67	24	13	9	38	4	1	8	24	10	
ヒタキ	シロハラ	521				1									
ヒタキ	ツグミ	525			6	3	1	9	1						
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1											2	
ヒタキ	コサメビタキ	554											1		
スズメ	スズメ	569	39	4	15	2	7	13	37	27	12	13	44	26	
セキレイ	キセキレイ	573	2					1							
セキレイ	ハクセキレイ	574	9	3	3	9	2	4	4	1	4	1	6	4	
セキレイ	セグロセキレイ	575	5	3	2		3	6	2		1		2		
アトリ	カワラヒワ	587	16		3			1	12	5	1	3		11	
ホオジロ	ホオジロ	610		1											
ホオジロ	アオジ	624	1	2	5		10	5						1	
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	19	3			5	26	24	7	3	17	14	8	
観察種数		39	26	19	18	15	20	28	23	15	16	17	20	20	

21 東 山 公 園 植 物 園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	カルガモ	32						2	2						2
ハト	キジバト	74	7	4	5	6	4	11	9	8	5	4	3	5	繁殖
ハト	アオバト	78	3		2			3							1
ウ	カワウ	127	2	1	1			2	2						1
サギ	アオサギ	144	3	2	1	1	1	3	2						1
サギ	ダイサギ	146	1	1				2	1						
サギ	コサギ	148					1	1							
カッコウ	ホトトギス	185						2							
カッコウ	ツツドリ	187						3							1
ミサゴ	ミサゴ	339				1		1	1						
タカ	トビ	342						1							
タカ	ハイタカ	355	1	1	1			1							
タカ	オオタカ	356	1							1					
タカ	ノスリ	358	1	1				1							
フクロウ	アオバズク	374									1				
カワセミ	カワセミ	383						1	2						2
キツツキ	コゲラ	390	5	4	5	4	7	9	9	7	5	2	3	5	繁殖
キツツキ	アカゲラ	393		1		1		1							
キツツキ	アオゲラ	397						1	1						1
サンショウウイ	サンショウウイ	412						8	2				3		
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418						1							
カラス	カケス	427				1		2							
カラス	ハシボソガラス	435	11	8	9	11	14	17	19	26	19	13	13	14	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	9	12	11	19	19	21	22	20	18	11	18	13	繁殖
シジュウカラ	ヤマガラ	442	6	7	6	5	7	9	8	7	4	1	1	2	繁殖
シジュウカラ	シジュウカラ	445	8	10	9	9	10	15	16	12	6	2	4	5	繁殖
ツバメ	ツバメ	457					6	9	9	3	1		1		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	25	25	22	28	22	33	25	23	19	16	11	35	繁殖
ウグイス	ウグイス	464	4	4	5	4	6	6	1						2
ウグイス	ヤブサメ	465						1							
エナガ	エナガ	466	9	11	18	9	8	11	9	8	5	4	5	6	繁殖
ムシクイ	メボソムシクイ	477						2							
ムシクイ	エゾムシクイ	479						3	1						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						5							
メジロ	メジロ	485	15	13	11	23	12	28	28	16	12	4	10	4	繁殖
レンジャク	ヒレンジャク	501				2									
ムクドリ	ムクドリ	506	3	2				7	8	5	2		2	2	
ムクドリ	コムクドリ	508						1							
ヒタキ	トラツグミ	514			1		1								
ヒタキ	シロハラ	521	5	6	5	7	6	5	1						

21 東 山 公 園 植 物 園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し, 種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種, 不明種, 交雑種, 家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが, ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	アカハラ	522						1							
ヒタキ	ツグミ	525		2	2	3	2	3	1						
ヒタキ	コマドリ	530						4							
ヒタキ	ルリビタキ	536	3	3	3	2	2	1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3	2	3	2	2	2							
ヒタキ	エゾビタキ	552												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554												1	
ヒタキ	キビタキ	558						8	6	2	1		1	1	繁殖
ヒタキ	オオルリ	561						2							
スズメ	スズメ	569	3	3		2		9	7				3	6	
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	1	2	1	2	1	2	1				1	
アトリ	カワラヒワ	587	18	15	19	23	33	23	20	15	9	3	5	9	繁殖
アトリ	マヒワ	588						1							
アトリ	ウソ	599						1							
アトリ	シメ	600		1	2	1		2							
アトリ	イカル	602	1	2				6	2					2	
ホオジロ	アオジ	624	1	3	3	4	4	3							
ハト	カワラバト (ドバト)	外8	3	4		7	5	11	10	8	10	6	13	9	
観察種数		58	27	28	23	25	22	52	29	16	15	11	16	26	

22 平 和 公 園 一 帯

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	ヒドリガモ	28	1	2		9									
カモ	マガモ	30	18	24	32	2	10								6
カモ	カルガモ	32	3			2		4	3	3			1	4	
カモ	ハシビロガモ	34												1	
カモ	トモエガモ	37			1										
カモ	コガモ	38	4	14			6	4							2
カモ	ホシハジロ	42	1												
カイツブリ	カイツブリ	62								1	1	1			
ハト	キジバト	74	2			6	4	2		5					
ウ	カワウ	127	1		3	6	4	3	1	2	1		1		
サギ	アオサギ	144		1		1		1					1		
サギ	ダイサギ	146		1		2									
サギ	コサギ	148				2							1		
クイナ	オオバン	175		1											
カッコウ	ホトトギス	185							2						
ミサゴ	ミサゴ	339	1												
タカ	オオタカ	356	1			1		1		1	1		1	1	
カワセミ	カワセミ	383	1						1	1	1			1	
キツツキ	コゲラ	390	8	1	1	5	1	4	4	3	4		1	4	
サンショウウクイ	サンショウウクイ	412						5							
モズ	モズ	420	1		1	1						1		6	
カラス	カケス	427	1		3	1		3							16
カラス	ハシボソガラス	435	13	4		6	10	9	6	6	10	9	3	11	
カラス	ハシブトガラス	436	10	10	22	10		15	12	10	13	12	9	10	
カラス	カラス属の種	437.2		6	1		11	5	3	4			2	1	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	6	5	5	2	3	1		2		1	5	4	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	21	15	7	21	11	12	8	20	5	14	26	49	
ツバメ	ツバメ	457						19	21	15	23	7			
ツバメ	イワツバメ	461										8			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	70	56	75	80	52	60	19	12	9	6	21	69	
ウグイス	ウグイス	464	6	4	2	4	2	10	12	10	9		1	2	
エナガ	エナガ	466				1		1		17			1		
ムシクイ	センダイムシクイ	480						6							
メジロ	メジロ	485	78	15	17	38	49	9	5	44	10	26	41	53	
ムクドリ	ムクドリ	506		5	10	10	32	24	15	1	4	16	30		
ヒタキ	クロツグミ	518							1						
ヒタキ	シロハラ	521	3	5	8	3	3	2							
ヒタキ	アカハラ	522						3							
ヒタキ	ツグミ	525	2	4	15	1		1							
ヒタキ	コマドリ	530						2							

22 平和公園一帯

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	ルリビタキ	536	2		2										
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	1		3	2								1
ヒタキ	コサメビタキ	554											1		
ヒタキ	キビタキ	558						5	4	1	2				1
ヒタキ	オオルリ	561						1							
スズメ	スズメ	569	100			15	4	20	30	16	23	22	24	5	
セキレイ	キセキレイ	573		1											
セキレイ	ハクセキレイ	574	1	3		1			1		2	4	3	2	
セキレイ	セグロセキレイ	575	5				1				1		2	1	
アトリ	カワラヒワ	587						2	2	1					
アトリ	シメ	600						5							
ホオジロ	アオジ	624	4	4		8	1	1							
ホオジロ	クロジ	625		1											
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	2			15		1						7	3
観察種数		54	29	23	17	28	18	32	19	21	17	13	21	23	

23 城 山 八 幡

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74			1		4	3	1	2	2	2	1	2	
ハト	アオバト	78			2										
ウ	カワウ	127							2						
キツキ	コゲラ	390	1		1								1	2	
カラス	ハシボソガラス	435		1		1	3	1				5			
カラス	ハシブトガラス	436	2	3	4	3	1	3	4	4	9		3	2	
シジュウカラ	ヤマガラ	442						1					5		
シジュウカラ	シジュウカラ	445						2		4				4	
ツバメ	ツバメ	457							3	2	1				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	26	23	23	13	21	6	4	4			5	25	
ウグイス	ウグイス	464		1	3		5	1	2		1				
ムシクイ	エゾムシクイ	479							2						
ムシクイ	センダイムシクイ	480							2						
メジロ	メジロ	485	14	7	14	8	7	7	2	2	6			13	
ムクドリ	ムクドリ	506								1					
ヒタキ	シロハラ	521			1	1	2								
ヒタキ	ツグミ	525		6	4										
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	1	1		1								
ヒタキ	キビタキ	558							1						
スズメ	スズメ	569							6	1				2	
セキレイ	ハクセキレイ	574			1				2						
セキレイ	セグロセキレイ	575							4						
アトリ	カワラヒワ	587							1			1			
アトリ	シメ	600	1		3	1	3		1						
ホオジロ	ホオジロ	610					1								
ホオジロ	アオジ	624		1	3	1	1	1							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8			1	5									
観察種数		27	6	8	14	8	11	9	15	8	5	3	5	7	

24 名 古 屋 城 一 帯

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26	8	1		2									
カモ	ヨシガモ	27	10	18	22	17	20	18	1						1
カモ	ヒドリガモ	28	3	4											1
カモ	マガモ	30	8	18	8	7	2								2
カモ	カルガモ	32	4	6	5	4	6	4	2				2		2
カモ	ハシビロガモ	34	8	8	3	5	1								
カモ	オナガガモ	35	66	73	38	55	34	1	1						6
カモ	コガモ	38	13	26	15	54	57	13							29
カモ	ホシハジロ	42	12	18	5	29	44	18	1	1					4
カモ	キンクロハジロ	46	6	19	4	41	72	17							6
カイツブリ	カイツブリ	62	1	2	2		2	2							
ハト	キジバト	74	13	8	11	18	23	14	9	6	3	3	7	7	
ハト	アオバト	78	3												
ウ	カワウ	127	15	51	61	12	4	6	4	8	2	2	4	4	
サギ	ササゴイ	141							1		1				
サギ	アオサギ	144	4	3	3	11	18	16	9	6	2	2	3	3	
サギ	ダイサギ	146	6	2	8	2									
サギ	コサギ	148	3	1	1	2	1								
クイナ	クイナ	166				1		1							
クイナ	バン	174	2	3	3	3	2								2
クイナ	オオバン	175	20	16	6	10	10	3					1		
カッコウ	ジュウイチ	184							1						
シギ	ヤマシギ	212					1								
カモメ	ユリカモメ	286	1	67	133	99	39								
カモメ	セグロカモメ	299				1	2								
ミサゴ	ミサゴ	339							1						
タカ	ハイタカ	355				1									
タカ	オオタカ	356	1		1										
タカ	ノスリ	358	2												
カワセミ	カワセミ	383	2	3	3	2	1	1					1	3	
キツキ	コゲラ	390	2	3	4	1		4	2				2	4	
キツキ	アカゲラ	393				1									
ハヤブサ	チゴハヤブサ	404													1
モズ	モズ	420	2	1	1	2	1	1	1				1	2	
カラス	ハシボソガラス	435	14	9	15	19	15	16	12	11	6	6	16	8	
カラス	ハシブトガラス	436	23	17	12	12	21	27	17	13	8	12	15	13	
シジュウカラ	ヤマガラ	442													9
シジュウカラ	シジュウカラ	445	4	4	14	5	3	3	6		2	4	5	7	
ツバメ	ツバメ	457						23	13	4	5				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	27	23	37	38	36	27	6		3	2	6	47	

24 名 古 屋 城 一 帯

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ウグイス	ウグイス	464	3	1	3	2	3	6	1					1	
ウグイス	ヤブサメ	465						1					1		
ムシクイ	メボソムシクイ	477	2										1	2	
ムシクイ	エゾムシクイ	479							1						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						1	2				1	1	
メジロ	メジロ	485	12	17	15	12	15	8		16		2	1	17	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492	1							1			1		
ヨシキリ	コヨシキリ	493												1	
ムクドリ	ムクドリ	506	8	7	9	27	7	38	6	3	3	7	8	8	
ヒタキ	クロツグミ	518						1	1						
ヒタキ	マミチャジナイ	520						1							
ヒタキ	シロハラ	521		2	3	7	3	6	1						
ヒタキ	アカハラ	522						4	7						
ヒタキ	ツグミ	525	10	19	25	5	7	15	5					1	
ヒタキ	コルリ	534							1						
ヒタキ	ジョウビタキ	540	3	3	3	3	3							1	
ヒタキ	ノビタキ	542												1	
ヒタキ	エゾビタキ	552											1	1	
ヒタキ	コサメビタキ	554							1				3	8	
ヒタキ	キビタキ	558						2					3	2	
ヒタキ	オジロビタキ	560				1									
ヒタキ	オオルリ	561						1					1		
スズメ	スズメ	569	68	88	52	41	41	32	17	21	18	61	37	53	
セキレイ	キセキレイ	573	2	1		1		1						1	
セキレイ	ハクセキレイ	574	6	7	4	7	5	1						2	
セキレイ	セグロセキレイ	575	1	4	2	1		1	1			1	1	2	
セキレイ	ビンズイ	580			1			3	2						
アトリ	アトリ	586			1										
アトリ	カワラヒワ	587	10	16		2		2	3	1	3	1	2	2	
アトリ	シメ	600	6	1	6	2		1	2						
アトリ	イカル	602			3										
ホオジロ	ホオジロ	610		2											
ホオジロ	アオジ	624	5	4	2	1	2	3	2					1	
カモ	コブハクチョウ	外7	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
カモ	マガモ (アヒル)	外7.3	1	1		1								1	
ハト	カワラバト (ドバト)	外8	39	22	87	52	138	53	28	10	8	9	39	52	
観察種数		76	46	43	41	45	35	42	35	14	14	14	27	42	

25 中 村 公 園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30					2	5							
カモ	カルガモ	32						6	2						
カモ	マガモ×カルガモ	32.2							9	8					繁殖：子ガモ8羽
ハト	キジバト	74	3	5	2	4	8	2	5	3	1	1	3	2	
ウ	カワウ	127	1				1		2					2	
サギ	アオサギ	144												1	
サギ	ダイサギ	146			1	2	2	1	1	1		1	1		
サギ	コサギ	148		1	1	1	1								
カワセミ	カワセミ	383	1		1		1								
キツツキ	コゲラ	390					2	1		2				1	
モズ	モズ	420				1	1							1	
カラス	ハシボソガラス	435	15	18	15	8	8	13	7	2	2	9	6	8	
カラス	ハシブトガラス	436	16	27	7	6	12	12	5	5	5	7	5	6	
シジュウカラ	ヤマガラ	442											2	5	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	5				6		3	1			9	8	
ツバメ	ツバメ	457					1	1	5	6					
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	48	42	35	16	16	12	8	5	4	7	20	29	
ウグイス	ウグイス	464		2		2	1	1							
ムシクイ	センダイムシクイ	480						3							
メジロ	メジロ	485	21	1	11	10	19	13	3				21	11	
ムクドリ	ムクドリ	506		32	1	2	12	11	7	9	1	4	11	5	
ヒタキ	クロツグミ	518						1							
ヒタキ	シロハラ	521		5	2	4	3	2							
ヒタキ	ツグミ	525		25	6	3	2	1						1	
ヒタキ	ジョウビタキ	540	2		1		1								
ヒタキ	エゾビタキ	552												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554						1					2		
ヒタキ	キビタキ	558						2	2				1		
ヒタキ	オオルリ	561						3					3	1	
スズメ	スズメ	569	5	22	29	34	21	26	19	24	25	32	19	8	
セキレイ	ハクセキレイ	574	7	3	2	2	4	1	2				1	3	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2	3	2	2					1		2	2	
アトリ	カワラヒワ	587	2	1			14	7	4	1			5	1	
アトリ	シメ	600			1										
アトリ	イカル	602	1				36								
ハト	カワラバト (ドバト)	外8	43	36	36	36	62	48	37	34	38	10	48	52	
観察種数		36	15	15	17	16	24	23	17	13	8	8	17	20	

26 白 川 公 園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74							15	8			1		1
ウ	カワウ	127							1						4月：1羽のみ上空を通過した。
キツツキ	コゲラ	390				1							1	1	
カラス	ハシボソガラス	435	34	37	38	32	36	2	5	2	27	12	9	13	ごみの収集日か否かで差が大きい
カラス	ハシブトガラス	436	11	11	13	10	12	4	6		5	9	1	6	ごみの収集日か否かで差が大きい
シジュウカラ	シジュウカラ	445	2	2	2	2	2	1				3	3	5	
ツバメ	ツバメ	457						3			5				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	25	21	27	6	8	6	3		2		8	20	
メジロ	メジロ	485	11	2	11	2	2								
ムクドリ	ムクドリ	506	2			13		14	8		7		14		
ヒタキ	シロハラ	521			1	1		1							
ヒタキ	ツグミ	525		2	23	2	2	1							
スズメ	スズメ	569	32	46	43	47	45	58	84	83	44	50	50	57	南側のソテツの幹に集まる（葉を刈った跡が穴に）
セキレイ	ハクセキレイ	574	4	4	4	3	3							2	
アトリ	カワラヒワ	587						4							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	52	52	43	40	52	97	44	47	68	78	94	45	えさやりする人がたまにいる
観察種数		16	9	9	10	12	9	13	7	3	7	6	8	9	

27 鶴 舞 公 園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	1												
カモ	カルガモ	32	15	15	17	16	6	7	4		3		3	6	近くで繁殖
カモ	キンクロハジロ	46		7	10	3	1								
ハト	キジバト	74	15	20	50	20	10	5	11	7	2		4	8	近くで繁殖
ハト	アオバト	78	6												
ウ	カワウ	127		1			1	1	1					1	
サギ	ササゴイ	141								1	2				幼鳥1羽
サギ	アオサギ	144			1		1	1						1	
サギ	ダイサギ	146										1			
サギ	コサギ	148		1	1										
タカ	ハイタカ	355	1												
タカ	ノスリ	358					1								
カワセミ	カワセミ	383	2	1			1	2	1	2	2		3	3	
ブッポウソウ	ブッポウソウ	387											1		初認です
キツツキ	コゲラ	390	4	1	4	1	2	2	3					1	
モズ	モズ	420			2										
カラス	ハシボソガラス	435	27	20	25	8	5	26	38	8	4	12	21	17	
カラス	ハシブトガラス	436	50	200	80	49	12	6	7	7	10	23	45	29	
シジュウカラ	ヤマガラ	442											1	4	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	4	2	2	2	7	8	10	7			5	10	
ツバメ	ツバメ	457						5	2	1	2	4			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	120	100	90	21	29	15	6	1	5	2	22	68	
ウグイス	ウグイス	464					1	1							
ムシクイ	オオムシクイ	476							4						
ムシクイ	メボソムシクイ	477	6						2						
ムシクイ	エゾムシクイ	479						1	1						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						2					1		
ムシクイ	ムシクイ属の種	481.2	11											1	野外識別不可
メジロ	メジロ	485	36	30	44	4	29	6	1		2		1	25	
レンジャク	ヒレンジャク	501				30									
ムクドリ	ムクドリ	506	10	1	4	6	6	21	7	28	6	13	22	4	近くで繁殖
ヒタキ	クロツグミ	518	2					1						3	
ヒタキ	マミチャジナイ	520	3											2	
ヒタキ	シロハラ	521	2	4	3	9	9	2						2	
ヒタキ	アカハラ	522	1												
ヒタキ	ツグミ	525	8	30	40	7	8	2							
ヒタキ	ツグミ属の種	525.3	6											1	
ヒタキ	コマドリ	530						1							
ヒタキ	ルリビタキ	536	1					1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	2		3	2								

27 鶴 舞 公 園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	コサメビタキ	554													2
ヒタキ	キビタキ	558	3					3	2						1
ヒタキ	オオルリ	561						2							
ヒタキ	ヒタキ科の種	563.3	1												1
スズメ	スズメ	569	50	40	40	47	37	47	51	70	22	27		40	近くで繁殖
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	1	3	1	4	4						3	茶屋で繁殖
セキレイ	セグロセキレイ	575	1												
アトリ	カワラヒワ	587	28	2			4	11	7	2	2		1		近くで繁殖
アトリ	シメ	600	3	3			3	1							
アトリ	イカル	602	4												1
アトリ	アトリ科の種	602.3	3												
ホオジロ	アオジ	624						1							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	100	200	120	47	47	75	44	57	24	9	17	65	
観察種数		53	33	21	18	17	23	29	19	12	13	8	14	25	

28 興 正 寺

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	カルガモ	32								1					
ハト	キジバト	74	1	3	7	17	8	7	5	2	4	5	7	3	
ハト	アオバト	78							1						
キツキ	コゲラ	390		1	2			2	2	1	1			3	
キツキ	アカゲラ	393		1		1	1								
カササギ ヒタキ	サンコウチョウ	418							1						
カラス	ハシボソガラス	435	7	4	2	7	9	7	7	8	5	1	6	6	
カラス	ハシブトガラス	436	7	10	12	13	25	15	7	14	7	9	9	13	
シジュウ カラ	ヤマガラ	442		1	2	1							1	1	
シジュウ カラ	シジュウカラ	445	2	1	5			4	9	4		9	3	8	
ツバメ	ツバメ	457							3		2				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	10	18	14	11	9	12	5	8	4	7	13	25	
ウグイス	ウグイス	464	3	1	1	2	1	1		1					
エナガ	エナガ	466			5									1	
メジロ	メジロ	485	8	11	14	29	10	17	5	1	5	12	8	11	
ムクドリ	ムクドリ	506					1	1	1						
ヒタキ	シロハラ	521	1		2	3	1	2							
ヒタキ	アカハラ	522						1							
ヒタキ	ツグミ	525		2				4							
ヒタキ	コマドリ	530						1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540			1										
ヒタキ	サメビタキ	553												1	
ヒタキ	キビタキ	558						1	3	2	1			5	
スズメ	スズメ	569					1	6	9	15	2	2	15		
セキレイ	ハクセキレイ	574	2												
アトリ	カワラヒワ	587						1	3						
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	10	13		7	20	5					3	3	
観察種数		27	10	12	12	10	11	17	14	11	9	7	9	12	

29 瑞穂公園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26		1		2									
カモ	マガモ	30				5		6			1		1		
カモ	カルガモ	32	4	13	13	4	12	13	16	7	19	6	15	5	
カモ	ハシビロガモ	34	2	7	7	7									
カモ	コガモ	38	63	74	82	100	112	94					7	41	
カモ	ホシハジロ	42	2												
カモ	キンクロハジロ	46	1	3	4	2									
カイツブリ	カイツブリ	62	1	1		1									
ハト	キジバト	74	9	9	22	6	22	17	18	12	7	9	13	14	
ウ	カワウ	127	1	3	5	2		2	3	3	5	5	10	8	
サギ	ゴイサギ	139	1	3	1			1	2				1	2	
サギ	ササゴイ	141								2	2				
サギ	アオサギ	144	1	3	2	1		1	2	4	3	4	8	6	
サギ	ダイサギ	146			2			1	2		2		5	2	
サギ	コサギ	148	5	4	4	5	2	12	17	5	8	9	8	6	
クイナ	クイナ	166					1	1							
クイナ	パン	174	1		1	1									
クイナ	オオパン	175			1	9	4	1							
カッコウ	ツツドリ	187							1						
チドリ	ケリ	195	2	3	4	2						2	8	9	
チドリ	イカルチドリ	202				3					1		2	3	
チドリ	コチドリ	203						2	2	2					
シギ	イソシギ	244		1	2	1		1							
カモメ	ユリカモメ	286		5	5										
ミサゴ	ミサゴ	339		1											
カワセミ	カワセミ	383		2	1	2	2	1	3	1	5	2	2	4	
キツツキ	コゲラ	390		1		2		2	3	2			4	1	
モズ	モズ	420		1	2	1	3						4	4	
カラス	ハシボソガラス	435	8	15	7	9	10	14	7	28	12	9	12	21	
カラス	ハシブトガラス	436	5	3	1	3		1		1	2	1	4	1	
シジュウカラ	ヤマガラ	442											5	3	
シジュウカラ	シジュウカラ	445		3	3	9	3	2	14	16	2	1	10	10	
ツバメ	ツバメ	457						27	32	32	3	2			
ツバメ	イワツバメ	461						1							
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	36	47	105	24	15	30	10	7	6	2	17	78	
ウグイス	ウグイス	464	2	2	1	2	2								
エナガ	エナガ	466		7											
ムシクイ	オオムシクイ	476							3					2	
ムシクイ	メボソムシクイ	477							1					2	
ムシクイ	エゾムシクイ	479												1	

29	瑞	穂	公	園
----	---	---	---	---

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ムシクイ	センダイムシクイ	480												1	
メジロ	メジロ	485		8	16	49	23	4	8	3	1		43	27	
ムクドリ	ムクドリ	506	5	49	135	72	58	23	56	86	29	20	115	30	
ヒタキ	シロハラ	521			1	2	1	2							
ヒタキ	ツグミ	525	1	3	10	12	6	5							
ヒタキ	ジョウビタキ	540			4	3	2								
ヒタキ	ノビタキ	542												1	
ヒタキ	イソヒヨドリ	549						1	1	2	1				
ヒタキ	エゾビタキ	552												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554											4	3	
ヒタキ	キビタキ	558												6	
ヒタキ	オオルリ	561											2	1	
スズメ	スズメ	569	124	133	86	39	66	47	55	45	73	21	168	186	
セキレイ	キセキレイ	573	1	1	1		1						2	4	
セキレイ	ハクセキレイ	574	8	11	3	7	10	7	5	2	2	4	7	11	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2	2	4	4	5	4	4	1	1	1	4	6	
アトリ	カワラヒワ	587	2	5	8		7	6	17	7	6		2	2	
アトリ	シメ	600				1	2	2							
ホオジロ	アオジ	624	4	4	6	3	6	2						2	
ホオジロ	オオジュリン	628			15	58	36	1							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	40	28	44	62	26	49	15	14	33	25	59	58	
観察種数		61	26	34	35	36	26	34	25	22	23	17	30	35	

30 熱 田 神 宮

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74	7	11	45	51	25	23	5	11	8	2	6	7	
ウ	カワウ	127	9			1	3	8							
サギ	ミゾゴイ	137						1							
サギ	アオサギ	144												1	
タカ	オオタカ	356				1									
キツツキ	コゲラ	390			2		4	1							
カラス	ハシボソガラス	435	15	8	11	11	8	13	14	9	9	9	11	16	
カラス	ハシブトガラス	436	17	17	9	8	16	11	10	11	6	6	8	15	
シジュウカラ	ヤマガラ	442					2								5
シジュウカラ	シジュウカラ	445		2		3	6	4	2	2					4
ツバメ	ツバメ	457						5	2	3					
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	55	37	33	32	27	36	5	10	2	5	12	61	
ウグイス	ウグイス	464	3		1	2	5	2							
ムシクイ	センダイムシクイ	480												1	
メジロ	メジロ	485	120	12	12	4	10	6	2					20	20
ムクドリ	ムクドリ	506								4					
ヒタキ	クロツグミ	518						1							
ヒタキ	シロハラ	521	1	2	8	11	10	13							
ヒタキ	アカハラ	522			1			1							
ヒタキ	ツグミ	525	10	4	25	2	2								
ヒタキ	ルリビタキ	536		2	1										
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1		1	1	1								1
ヒタキ	コサメビタキ	554												1	
ヒタキ	キビタキ	558						3	1						
ヒタキ	オオルリ	561							2						
スズメ	スズメ	569	18	3	4	2	4	10	16	12	7	1	4	4	
セキレイ	キセキレイ	573	4												
セキレイ	ハクセキレイ	574			1	2	2	1							2
アトリ	カワラヒワ	587		5			5								
アトリ	シメ	600	2	9		1	5	1							
ホオジロ	アオジ	624	1	1	1	2	3								
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	20	50	37	12	19	23	10	5		17	23	32	
観察種数		32	15	14	16	17	19	19	11	9	5	6	9	12	

31 高座結御子神社・高蔵公園

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74	2	1	1	2	3	9	7	2	3	2	5	6	
キツツキ	コゲラ	390	1			2	1	1	1						
モズ	モズ	420		2		1		1					1	2	
カラス	ハシボソガラス	435	8	50	6	6	7	5	9	12	12	10	12	6	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	5	11	5	7	4	5	8	4	4	3	4	10	
シジュウカラ	ヤマガラ	442											4		
シジュウカラ	シジュウカラ	445	2	2	3	5	1	7	2	1		2	4	2	
ツバメ	ツバメ	457							1						
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	50	62	70	33	29	29	7	9	5	5	13	45	
ウグイス	ウグイス	464		1			1	1							
ムシクイ	メボソムシクイ	477							2						
ムシクイ	センダイムシクイ	480							1						
メジロ	メジロ	485	23	25	16	18	7	4	3					8	
ムクドリ	ムクドリ	506		13	5	9	4	7	4	3	7	3	3		
ヒタキ	マミチャジナイ	520						2							
ヒタキ	シロハラ	521		5	4	3	6	2							
ヒタキ	ツグミ	525		9	8	4	5	2							
ヒタキ	ジョウビタキ	540					1							1	
ヒタキ	キビタキ	558							1					1	
スズメ	スズメ	569	32	37	21	17	27	38	37	35	25	62	50	34	
セキレイ	ハクセキレイ	574	5	2	2	1	2							2	
アトリ	カワラヒワ	587	1				1	2	1						
アトリ	イカル	602							1						
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	12	24	20	35	23	11	2		2		8	19	
観察種数		24	11	14	12	14	16	16	16	7	7	7	10	12	

32 戸 田 川

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	1		2										11月1♂
カモ	カルガモ	32	17	24	16	11	13	6	1	1					
カモ	ハシビロガモ	34			8	3	3	1							
カモ	コガモ	38	10	15	23	13	20	7	4	1					6月1♀
カモ	キンクロハジロ	46		8	7	6	3	2							
カモ	スズガモ	47			3	1									
カモ	ミコアイサ	58		3	17	10	7								12月3♀ 1月9♂ 2月5♂
カイツブリ	カイツブリ	62	25	17	11	14	9	7		1	1				5
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	1	1	1	1	1		2	1	1		1	1	
ハト	キジバト	74	13	15	14	8	18	9	5	6	3	5	11	7	
ウ	カワウ	127	6	8	23	37	34	21	4	2	2	5	4	5	
サギ	ゴイサギ	139	1					1				1	1	6	4月幼鳥 9月幼鳥
サギ	アオサギ	144	1	2	1	1		1	1	1		3	3	2	
サギ	ダイサギ	146	1					2	1			2			
サギ	コサギ	148	6	2	7	9	10	2					1	9	
クイナ	バン	174		1	2		1	1							
クイナ	オオバン	175	1	2	4	7	3	1						1	
チドリ	ケリ	195						1	2						4月声 5月声
チドリ	コチドリ	203	1					2							
シギ	イソシギ	244		1			1								
カモメ	ユリカモメ	286			1	1									
カモメ	セグロカモメ	299					1								
タカ	ハイタカ	355	1	1											
カワセミ	カワセミ	383	1	1	1	1	2	2					1	1	4月1♂1♀
モズ	モズ	420	4	2	3	4	2	2	1	1			2	4	11月声 12月声 9月声 10月声
カラス	ハシボソガラス	435	9	11	21	16	10	7	5	9	5	6	4	3	
カラス	ハシブトガラス	436	2	34	41	25	10	5	3	8	4	7	6	5	
シジュウカラ	シジュウカラ	445						2			2		2		
ヒバリ	ヒバリ	452							3						
ツバメ	ツバメ	457						6	6	8	8	2			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	32	24	22	17	39	24	16	8	11	4	7	16	
ウグイス	ウグイス	464		2											
ムシクイ	ムシクイ属の種	481.2											2		
メジロ	メジロ	485	2	3	7	16	32	9							
ムクドリ	ムクドリ	506	12	6	12	21	15	39	28	92	120	79	50	13	8月79+
ヒタキ	シロハラ	521				1	2								
ヒタキ	ツグミ	525	2	6	11	17	21	25							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	2	3	2	1								11月1♀
ヒタキ	コサメビタキ	554												2	
ヒタキ	オオルリ	561						2							

32 戸 田 川

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
スズメ	スズメ	569	7	17	10	8	54	38	27	39	26	19	13	9	
セキレイ	ハクセキレイ	574	5	7	7	9	6	3						2	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2	3	2									1	
アトリ	カワラヒワ	587	3	2	20	8	8	8	4	3	2	2			
アトリ	ベニマシコ	592					1								
アトリ	シメ	600					1	1							
ホオジロ	ホオジロ	610					1								
ホオジロ	アオジ	624						2							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	75	45	54	71	77	37	17	2	4	22	20	11	
観察種数	49		28	29	30	28	31	32	18	16	13	13	16	19	

33 南 陽 町

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26		6	12	8	7								
カモ	ヨシガモ	27		16	24										
カモ	ヒドリガモ	28		52	21	2	2								
カモ	マガモ	30												1	
カモ	カルガモ	32				1	1	4	5	3				17	
カモ	ハシビロガモ	34	110	76	52	110	97	133	1					34	
カモ	オナガガモ	35	230	657										8	
カモ	シマアジ	36						2							
カモ	コガモ	38		76	15	8	9	17	8				1	51	
カモ	ホシハジロ	42		7	8	10	4								
カモ	キンクロハジロ	46		21	28	12	10	14							
カイツブリ	カイツブリ	62		1			1	1							
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66		1	1										
ハト	キジバト	74	2	6		1		3	3		3	5	5	8	
ウ	カワウ	127		3	2	4	5	2	3	5	7	3	3	4	
サギ	ササゴイ	141									1				
サギ	アマサギ	143								4	6	2		10	
サギ	アオサギ	144	9	7	4	6	1	1	8	13	10	10	22	12	
サギ	ダイサギ	146	5	1				5	6	11	27	22	83	25	
サギ	チュウサギ	147	3					24	27	17	31	12	168	122	
サギ	コサギ	148	6	3	6	1	2	9	8	5	4	4	8	28	
クイナ	オオバン	175			1		1								
チドリ	ケリ	195	9	4			9	7	11	5	3	1	3	24	
チドリ	ハジロコチドリ	200	2	3	1	3									
チドリ	コチドリ	203	6	10	6	9									
セイタカシギ	セイタカシギ	210	4											1	
シギ	タシギ	219				1								1	
シギ	コアオアシシギ	234	4												
シギ	アオアシシギ	235		2					1						
シギ	イソシギ	244		1				1							
シギ	オジロトウネン	253	1												
シギ	ハマシギ	261	9	7	2										
カモメ	ユリカモメ	286		4											
ミサゴ	ミサゴ	339		2	1	1								1	
タカ	オオタカ	356	1		1									1	
カワセミ	カワセミ	383		1									1		
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401			1										
ハヤブサ	コチョウゲンボウ	403		1	1										
ハヤブサ	ハヤブサ	407		1											
モズ	モズ	420	1	3	1	3	2						4	1	

33

南 陽 町

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カラス	ハシボソガラス	435	34	6	7	8	8	77	4	6		4	315	215	
カラス	ハシブトガラス	436						2	1	2			15	6	
ヒバリ	ヒバリ	452		2		2		1				1			
ツバメ	ツバメ	457						10	8	3	11	5			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463			2	4	5	1			1		5	6	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							3	4					
ムクドリ	ムクドリ	506	1	55	23	75	5	10	4	11	8	13	16	199	
ヒタキ	ツグミ	525				6	5	10							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1												
ヒタキ	ノビタキ	542												4	
スズメ	スズメ	569	67	48	9	33	9	7	24	4	15	77	367	126	
セキレイ	キセキレイ	573	1												
セキレイ	ハクセキレイ	574	11	7	1	9	7	3	2	3	5	2	15	21	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2									1			
セキレイ	タヒバリ	584	3	8	1	2									
アトリ	カワラヒワ	587	1						4	3	13		66	64	
ハト	カワラバト（ドバト）	外8			17		10	30	11	30	1	1	31	6	
観察種数		57	25	33	27	24	21	24	20	17	16	16	18	27	

34 見 晴 台 ・ 笠 寺 公 園

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74	1	2	4	4	1	2	8	11	4	3	8	6	
ハト	アオバト	78		1										1	
ウ	カワウ	127		1				6		3				1	
サギ	アオサギ	144						1		2					
サギ	ダイサギ	146						1							
カッコウ	ツツドリ	187											2		
タカ	ハイタカ	355	1												
キツツキ	コゲラ	390		1				1					1		
モズ	モズ	420					1	1							1
カラス	ハシボソガラス	435	3	12	6	2	4	8	5	7	3	4	6	5	
カラス	ハシブトガラス	436		1							2				
シジュウカラ	ヤマガラ	442											2	3	
シジュウカラ	シジュウカラ	445				3	2	1	1					3	
ツバメ	ツバメ	457						6	8	8	4	3			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	18	22	15	17	23	3	4	2	2	2	15	38	
ムシクイ	メボソムシクイ	477							2						
ムシクイ	センダイムシクイ	480							2						
メジロ	メジロ	485	15	6	2	4	2						8	7	
ムクドリ	ムクドリ	506	2	9	20	7	6	11	18	92	35	20	35	10	
ヒタキ	シロハラ	521	1	1	1	1	2								
ヒタキ	ツグミ	525		15	98	2	8	2	1						
ヒタキ	ジョウビタキ	540		1				1							
ヒタキ	エゾビタキ	552											3		
ヒタキ	サメビタキ	553											1		
ヒタキ	コサメビタキ	554											1		
ヒタキ	キビタキ	558						1	2				2		
ヒタキ	オオルリ	561						2							
スズメ	スズメ	569	4	14	10	13	2	18	38	34	25	5	112	60	
セキレイ	ハクセキレイ	574	1	3	1	1	1							1	
アトリ	カワラヒワ	587	2	25	23	36	60	6	6	2			7		
アトリ	シメ	600		1	1	1	12								
ホオジロ	アオジ	624				2	2								
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	4	13	24	14	6	5	5	15	7	43	12	12	
観察種数		33	11	17	12	14	15	18	13	10	8	7	15	13	

35 東 谷 山

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	ヤマドリ	4						1							
カモ	オシドリ	24	4	1	1	3	2	2	1	1					
カモ	カルガモ	32	4	4	5	4	2		3					2	
カモ	キンクロハジロ	46	2	1											
カモ	ミコアイサ	58			1	1	2								
カイツブリ	カイツブリ	62	3	2	4	4	3	2	2	2	2	2	2	3	繁殖
ハト	キジバト	74	3	2	2	5	1	3	9		1	6	6	3	
ハト	アオバト	78	3			1								1	
ウ	カワウ	127	1	7	3	2	3	7	2	5	2	1	1	25	
サギ	ササゴイ	141												1	
サギ	アオサギ	144		1	2			2	1	1	1	1	1	1	
サギ	ダイサギ	146	1		1	1	1	1	1	1	1				
クイナ	オオバン	175		1											
カッコウ	ホトトギス	185							5	3	1				
カッコウ	ツツドリ	187						1	1						
ヨタカ	ヨタカ	189	2									1	4	5	
チドリ	ケリ	195						2	1						
シギ	ヤマシギ	212	4	3	3	3	5	3						5	
ミサゴ	ミサゴ	339	1				1						1	1	
タカ	ハチクマ	340								2		1	1		
タカ	トビ	342	5	1	2	2	2	1	1		1	1	1	3	
タカ	ツミ	354	1											2	
タカ	ハイタカ	355	1	1	1	1	1	3							
タカ	オオタカ	356	1		1	1	1	2	1	2	3	1	1	2	
タカ	サシバ	357							1						
タカ	ノスリ	358	11	3	1	1	1	2		1			1	1	
フクロウ	フクロウ	372	1		2	1	1	1	3				2	1	
カワセミ	カワセミ	383	1		1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	
キツキ	コゲラ	390	12	11	14	8	13	9	19	19	5	2	10	8	
キツキ	アカゲラ	393			1		1	1					2	1	
キツキ	アオゲラ	397	4	1	3	3	1	1	5	1	1	3	3	3	
ハヤブサ	ハヤブサ	407		1											
サンショウクイ	サンショウクイ	412						2	6	2		2	2		
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418							2	1	1		1		
モズ	モズ	420	3	2	2	2	1	1	3	1	2	1	10	6	
カラス	カケス	427	4	4	7	6	2	2	1	1			9	14	
カラス	ハシボソガラス	435	30	7	3	3	3	5	10	7	7	10	12	6	
カラス	ハシブトガラス	436	7	8	11	12	5	13	9	8	7	10	9	8	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	15	8	19	13	13	14	20	15	7	14	19	17	繁殖
シジュウカラ	ヒガラ	443											1		

35 東 谷 山

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
シジュウカラ	シジュウカラ	445	13	9	14	7	7	8	13	17	3	6	12	14	繁殖
ツバメ	ツバメ	457						4	21	15	20	20	3	1	繁殖
ツバメ	コシアカツバメ	459										4			
ツバメ	イワツバメ	461			2	5		6	2			1			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	90	104	108	71	40	41	44	64	33	26	80	101	
ウグイス	ウグイス	464	6	3	2	3	6	7	8	10	6	3	2	3	
ウグイス	ヤブサメ	465						8	12	6	5		1		繁殖
エナガ	エナガ	466	15	34	22	8	8	18	24	24	19	2	9	28	繁殖
ムシクイ	オオムシクイ	476							5	3					
ムシクイ	エゾムシクイ	479						2	2						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						7	7	1	1				
ムシクイ	ムシクイ属の種	481.2											1		
メジロ	メジロ	485	178	92	105	43	26	34	45	44	66	56	42	105	
レンジャク	ヒレンジャク	501					16								
ミソサザイ	ミソサザイ	504	1	1	1	1	2				1	1	2	2	
ムクドリ	ムクドリ	506		2	3	15	3	19	4	2			60	37	
ヒタキ	トラツグミ	514			1	1	1	1							
ヒタキ	シロハラ	521	10	15	18	10	6	12	2						
ヒタキ	ツグミ	525	30	10	35	13	1	7	1						
ヒタキ	コマドリ	530						1							
ヒタキ	コルリ	534							1						
ヒタキ	ルリビタキ	536	5	3	6	3	3	3							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	7	5	4	4	3							8	
ヒタキ	サメビタキ	553												2	
ヒタキ	コサメビタキ	554										1	2	1	
ヒタキ	キビタキ	558	1					11	18	14	10	1	3	3	繁殖
ヒタキ	オオルリ	561						5	5	1	2				
スズメ	スズメ	569	17	35	6	16	10	9	15	8	14	28	26	7	
セキレイ	キセキレイ	573	1	1	1			1						2	
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	3	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	
セキレイ	セグロセキレイ	575	4	3	2	2	2	2	1	1	4	1	3	5	
アトリ	カワラヒワ	587	1	6	2	5	10	8	7	3	40	5		2	
アトリ	ウンソ	599			2		1								
アトリ	シメ	600			1			1	5						
アトリ	イカル	602	14	1	1	1		5	5	1	1	1		7	
ホオジロ	ホオジロ	610	6	5	5	5	4	4	1		2		3	5	
ホオジロ	カシラダカ	617				2		1							
ホオジロ	アオジ	624	12	4	6	4	4	9						1	
ホオジロ	クロジ	625	10	4	9	2	2	5						4	
キジ	コジュケイ	外1	1	2	1	1	3	2	2	1	1		1	2	

35 東 谷 山

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	カワラバト（ドバト）	外8				2	2								
チメドリ	ソウシチョウ	外25	20	31	24	16	10	7	2		4		2	10	
観察種数		82	47	42	49	47	47	56	50	37	35	32	42	46	

36 大村池・大久手池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	8	2	11										
カモ	カルガモ	32	36	17	6	5	10	4							4
カモ	オナガガモ	35			4										3
カモ	コガモ	38					2								
カモ	ミコアイサ	58			2										
カイツブリ	カイツブリ	62		2	1	1	2	1	1						
ハト	キジバト	74	2	1			1	1	1	1	3	2			2
ウ	カワウ	127	1	17	1	2	3	3	7	3					
サギ	ゴイサギ	139			1										
サギ	アオサギ	144	1	2	2			1	1	1	1	1	1	1	
サギ	ダイサギ	146	2	3	2	2	1	2			3	2	1	1	
クイナ	バン	174							1		1				
クイナ	オオバン	175	4	2	2		1	1							2
チドリ	コチドリ	203				1									
ミサゴ	ミサゴ	339		1											1
タカ	トビ	342				1			2						1
キツツキ	コゲラ	390		1		1	1	1	2	2					
モズ	モズ	420	1											1	1
カラス	ハシボソガラス	435	2	2		2		8	4	9	6	4	13	4	
カラス	ハシブトガラス	436	2									2			
シジュウカラ	コガラ	441			1				10						
シジュウカラ	ヤマガラ	442			1			3	10		1				
シジュウカラ	ヒガラ	443							5						
シジュウカラ	シジュウカラ	445			2			2	15		2				3
ヒバリ	ヒバリ	452						1							
ツバメ	ツバメ	457						10	10	9	3				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	5	11	13	3	5	12	23	11	5	10	13	21	
ウグイス	ウグイス	464					3	4	5	1	1				
エナガ	エナガ	466			3	1				1					
メジロ	メジロ	485						3	10	6	2			5	
ムクドリ	ムクドリ	506		64	3			8	4	5				2	
ヒタキ	シロハラ	521						1							
ヒタキ	ツグミ	525			3	1									1
ヒタキ	ルリビタキ	536							1						
ヒタキ	ジョウビタキ	540													1
ヒタキ	イソヒヨドリ	549								1					
スズメ	スズメ	569							12	8		4	40	9	
セキレイ	ハクセキレイ	574	3			1			1	2	2	1	2	4	
セキレイ	セグロセキレイ	575		1			1		1				3	2	
アトリ	カワラヒワ	587	1	11					3	5		3			3

36 大 村 池 ・ 大 久 手 池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ホオジロ	ホオジロ	610			2	2		1	1					1	
ホオジロ	アオジ	624				2								1	
キジ	コジュケイ	外1						1							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8		3											
観察種数		44	13	16	18	14	11	20	23	15	12	9	12	18	

37 小 幡 緑 地

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	36	29	43	37	33	3							
カモ	カルガモ	32	9	3	4	12	7	5	1						
カモ	ハシビロガモ	34	5	2	5	2	2	2							
カモ	オナガガモ	35	39	44	38	50	25	2						2	
カモ	コガモ	38	3		2		9	5							
カモ	ホシハジロ	42	40	36	35	36	36	29							
カモ	キンクロハジロ	46	1	1											
カモ	ミコアイサ	58					1								
カイツブリ	カイツブリ	62	1	2	3	4	3	3	1	2		1			
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	1	1	1	2	2								
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66		1	1	1									
ハト	キジバト	74	10	3	10	9	14	11	6	9	8	5	8	9	
ウ	カワウ	127	6	6	10	8	7	3	2	2	4	1			
サギ	ササゴイ	141										1			
サギ	アオサギ	144	2	2	2		1	2	1	1	1	1		1	
サギ	ダイサギ	146	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	
クイナ	バン	174			1	1	1								
クイナ	オオバン	175	6	10	7	4	7	2							
カモメ	ユリカモメ	286		1											
ミサゴ	ミサゴ	339			1	1									
タカ	トビ	342					1			1					
タカ	ハイタカ	355			1	1									
タカ	オオタカ	356			1			1							
カワセミ	カワセミ	383							1	1		1	1	1	
キツツキ	コゲラ	390	3	1	2	7	4	4	6	4	3	4	4	3	
キツツキ	アカゲラ	393	1	1		1	1							1	
サンショウクイ	サンショウクイ	412											4		
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418											3	1	
モズ	モズ	420	1											1	
カラス	カケス	427	6		4			1						3	
カラス	ハシボソガラス	435	9	8	10	6	16	10	15	14	22	11	12	8	
カラス	ハシブトガラス	436	20	26	17	9	16	25	22	27	16	15	10	18	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	4	5	2	3	4	2	5		3	4	3	11	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	5	7	8	11	18	10	13	10	6	6	7	19	
ツバメ	ツバメ	457						15	14	12	15				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	135	110	74	47	39	55	31	32	26	19	21	75	
ウグイス	ウグイス	464	6	2	6	2	6	4	7	1	1		1		
エナガ	エナガ	466		7	1		2	1	9				22	2	
ムシクイ	メボソムシクイ	477												1	
ムシクイ	センダイムシクイ	480						7				1			

37 小 幡 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
メジロ	メジロ	485	87	80	75	29	43	13	53	26	19	60	42	61	
レンジャク	ヒレンジャク	501					11								
ミソサザイ	ミソサザイ	504			2										
ムクドリ	ムクドリ	506	1	3	6	6	6	10	16	8	13	12			
ヒタキ	シロハラ	521	3	4	7	11	11	9							
ヒタキ	アカハラ	522						1							
ヒタキ	ツグミ	525	2	2	8	9	5	10							
ヒタキ	ルリビタキ	536	2	4	2	2									
ヒタキ	ジョウビタキ	540	8	3	5	5	4								
ヒタキ	ノビタキ	542												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554												6	
ヒタキ	キビタキ	558						1	2	4		1	2	1	
ヒタキ	ニシオジロビタキ	560.2	1												
ヒタキ	オオルリ	561						1							
スズメ	スズメ	569	12	14	34	16	28	18	83	52	16	27	10	12	
セキレイ	キセキレイ	573	1				1								
セキレイ	ハクセキレイ	574	1	2	2	2	2	1							
セキレイ	セグロセキレイ	575	2	2	2			2		1	1	1	2	2	
セキレイ	ビンズイ	580						1							
アトリ	カワラヒワ	587	1	15	7		21	11	10	3	7				
アトリ	シメ	600			1		1	7							
ホオジロ	アオジ	624		1	4	1	5	5							
キジ	コジュケイ	外1					1	1	1	1				1	
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	2	20	19	8		4	5	13	15	4	1		
観察種数		64	37	36	41	33	38	40	23	22	18	20	19	23	

38 戸 笠 池 ・ ほ ら 貝 池

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26	68	6	17	4	16								4
カモ	ヨシガモ	27	3												
カモ	ヒドリガモ	28	76	10	5	3	2	2							61
カモ	マガモ	30	4	2	2										
カモ	カルガモ	32	13	18	21	12	11	9	4	3	1	3	10	9	
カモ	ハシビロガモ	34	9	21	2	2	1	2							
カモ	コガモ	38	13	3		4	4	3							10
カモ	ホシハジロ	42	12	4	9	5	18								2
カモ	キンクロハジロ	46		1	2			2							
カモ	ミコアイサ	58		1	1										
カイツブリ	カイツブリ	62	1	3	5	4	4	3	2	4	2		1	1	
ハト	キジバト	74	5	2	7	6	7	11	7	3	7	7	6	8	
ウ	カワウ	127	2		3	3	2	1	2	1	1	2	1	4	
サギ	ゴイサギ	139								1	1				
サギ	アマサギ	143								3	1				
サギ	アオサギ	144	1	1	1	1		1	2	3	3	3	1	2	
サギ	ダイサギ	146							4	3	8	26	2	1	
サギ	チュウサギ	147							3	2	1				
サギ	コサギ	148			1						1	4		1	
クイナ	ヒクイナ	170				1		1	1	1				1	
クイナ	バン	174	3	1	5	9	3	5	2			2	1	5	
クイナ	オオバン	175	29	14	12	9	8	12							13
チドリ	コチドリ	203								2					1
シギ	イソシギ	244											1		
シギ	アカエリヒレアシシギ	268											18		
カワセミ	カワセミ	383	1			2	1	1	2	1	1		1		
キツツキ	アリスイ	388		1		1									
キツツキ	コゲラ	390					1	2	1	2	1		1		
モズ	モズ	420	2	2	3	3	2	1			1		1	6	
カラス	ハシボソガラス	435	9	8	13	11	13	7	11	17	8	7	7	6	
カラス	ハシブトガラス	436	2		1	1	3	2	2	1	1	1	2	3	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	3	2		2		4	2	2		3	2	3	
ツバメ	ツバメ	457						7	14	22	14	14		2	
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	18	16	22	22	24	20	16	14	13	5	12	29	
ウグイス	ウグイス	464		1	1	1	3	1						1	
メジロ	メジロ	485	6	9	6	8	8	6	3		3		1	5	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							3	4	2				
ムクドリ	ムクドリ	506	12	26	16	26	15	27	15	19	27	12	52	15	
ヒタキ	シロハラ	521				1		1							
ヒタキ	ツグミ	525		1	2	3	5	7							

38 戸 笠 池 ・ ほ ら 貝 池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	1		3									
ヒタキ	サメビタキ	553													2
ヒタキ	コサメビタキ	554													1
ヒタキ	キビタキ	558							2						1
ヒタキ	オオルリ	561							1						
スズメ	スズメ	569	29	12	2	19	2	21	22	15	15	9	16	26	
セキレイ	キセキレイ	573		1											
セキレイ	ハクセキレイ	574	3	5	2	2	2	2	1	1	1				6
セキレイ	セグロセキレイ	575	4	4	1	1		2	1	1	1	2	1	3	
アトリ	カワラヒワ	587						6	7	5	1				
アトリ	シメ	600	1		1	1									
ホオジロ	アオジ	624		1	6	5									
ホオジロ	オオジュリン	628				10	7								
ハト	カワラバト(ドバト)	外8	4	8	14	7	5	5	3	3	5		4	5	
観察種数		54	28	30	29	33	25	32	24	25	25	15	21	31	

39 勅 使 ヶ 池

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
キジ	キジ	5			2		2	4	3						
カモ	マガン	10			1	1							2	1	迷鳥
カモ	オシドリ	24		6	6	16	8	4						6	
カモ	オカヨシガモ	26	4	6			6	5							
カモ	ヨシガモ	27		4	2		2								
カモ	ヒドリガモ	28			22	6	11	11					12		
カモ	マガモ	30	55	63	102	96	66	6				1	1	8	
カモ	カルガモ	32	46	31	36	53	33	11	2	2	7	43	17	32	
カモ	ハシビロガモ	34	9	102	122	133	334	56							
カモ	オナガガモ	35	6		165	220	2								
カモ	コガモ	38	9	6	74	61	65	79	7					4	
カモ	ホシハジロ	42	11	6	3		11	5							
カモ	キンクロハジロ	46						13						1	
カモ	ミコアイサ	58	6	20	32	26	6								
カイツブリ	カイツブリ	62	15	18	22	17	15	18	28	46	22	24	31	9	繁殖
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	36	31	26	21	15	2						1	
ハト	キジバト	74	4	8	6	9	8	9	8		6	12	6	6	
ハト	アオバト	78												1	
ウ	カワウ	127	93	98	126	39	23	36	26	27	38	39	77	120	
サギ	ゴイサギ	139						46	55	33	23	18	15	6	繁殖
サギ	アオサギ	144	5	2	3	11	7	7	16	17	11	25	16	6	繁殖
サギ	ダイサギ	146			1	2	2	2	11	24	63	33	21	3	繁殖
サギ	チュウサギ	147										1			
クイナ	ヒクイナ	170						2	2						
クイナ	バン	174	2	2	1	1	2	6	6	2	2	2	3	2	
クイナ	オオバン	175	43	23	36	32	45	8						16	
チドリ	ケリ	195						2							
シギ	イソシギ	244											1	1	
カモメ	コアジサシ	307								17	2	2			
カモメ	クロハラアジサシ	316											2		
ミサゴ	ミサゴ	339			3	2						1		1	
タカ	ハイタカ	355					1								
タカ	オオタカ	356			1		1	1							
タカ	サシバ	357									1				
タカ	ノスリ	358			1									1	
カワセミ	カワセミ	383	2		2	2	2	1			3	3	6	3	
キツキ	コゲラ	390			2	3	1	4	3			3		3	
キツキ	アカゲラ	393											1		
サンショウウイ	サンショウウイ	412										2			
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418							1						渡り

39 勅 使 ヶ 池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
モズ	モズ	420			1	1		2			1		2	5	
カラス	カケス	427				2								3	
カラス	ハシボソガラス	435	6	4	6	3	6	5	11	4	8	12	4	4	
カラス	ハシブトガラス	436	12	6	8	5	6	8	22	11	19	34	5	16	
シジュウカラ	シジュウカラ	445		31	11	11	6	4	8		2	21	6	11	
ツバメ	ツバメ	457						16	23	28	32	24	6		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	45	55	52	62	33	41	61	37	29	44	25	32	
ウグイス	ウグイス	464		3	3	2	2								
エナガ	エナガ	466		12											
ムシクイ	オオムシクイ	476						4							渡り
ムシクイ	メボソムシクイ	477							5						渡り
ムシクイ	エゾムシクイ	479						2							
ムシクイ	センダイムシクイ	480						2	5						渡り
メジロ	メジロ	485	13	31	33	36	26	6	11		3	11	27	16	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							12	8		2	1		繁殖
セッカ	セッカ	499							2						
ムクドリ	ムクドリ	506			6		5	4	4	6	6	36	21		
ムクドリ	コムクドリ	508											15		秋の渡り
ヒタキ	シロハラ	521			3	2	1	5							
ヒタキ	ツグミ	525	11	20	5	21	17	6							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	1	2	1	1								
ヒタキ	コサメビタキ	554											1		
ヒタキ	キビタキ	558						2	7	1					渡り
スズメ	スズメ	569					8	15	58	22	11	18	121		
セキレイ	キセキレイ	573										1			
セキレイ	ハクセキレイ	574	3		1	1	2			1	4	4	6	5	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2		2		1	2	3			2	2	2	
アトリ	カワラヒワ	587			2			6	6	11	2	3		6	
アトリ	ベニマシコ	592		1											
アトリ	シメ	600		1				1							
ホオジロ	ホオジロ	610				2	2		3						
ホオジロ	アオジ	624					1								
キジ	コジュケイ	外1									2		1	2	
ハト	カワラバト (ドバト)	外8										22			
観察種数		74	24	27	39	33	39	42	29	18	23	29	30	32	

40 水 広 公 園

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オシドリ	24												2	
カモ	マガモ	30	7	4	5	4	2								
カモ	カルガモ	32	2		2								1	4	
カモ	ホシハジロ	42			2										
カイツブリ	カイツブリ	62	1		2	2	3	2	2					1	
ハト	キジバト	74	2	6	6	6	8	4	3	2	2	6	3	2	
ウ	カワウ	127	1		1		1	1	1					1	
サギ	アオサギ	144	1				1	1	1				1	3	
サギ	ダイサギ	146		1				1	2			1		1	
クイナ	オオバン	175		8	9	13	12	6							
カワセミ	カワセミ	383						1				1	1		
キツツキ	コゲラ	390		3	4	2		1	1	1				2	
カササギ ヒタキ	サンコウチョウ	418									2				
モズ	モズ	420		1	1	1	1						1	2	
カラス	ハシボソガラス	435	2	2	3	3	1	2	3			3		2	
カラス	ハシブトガラス	436		2	2	3	5	6	5		2	5	2	5	繁殖あり
シジュウカラ	シジュウカラ	445		7	6	6	6	2		7				8	
ツバメ	ツバメ	457						5	13	16	10	12			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	12	44	21	26	26	26	21	26	8	11	7	18	
ウグイス	ウグイス	464		2	2		2							2	
エナガ	エナガ	466												2	
メジロ	メジロ	485	16	58	31	16	22	2	2	6			8	6	
ムクドリ	ムクドリ	506						4	11	11	2				
ムクドリ	コムクドリ	508										6			
ヒタキ	シロハラ	521		5	4	3	2	3							
ヒタキ	ツグミ	525		6	3	3	2	2							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	1	2	1									
ヒタキ	キビタキ	558													5 秋の渡り
スズメ	スズメ	569	8	6	6			15	23	26	6	11	6	11	
セキレイ	ハクセキレイ	574		2	2	1	1						1	3	
セキレイ	セグロセキレイ	575								1					
アトリ	カワラヒワ	587	8	5	5		6		6		3			2	
アトリ	シメ	600		3											
ホオジロ	アオジ	624			1			6							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8										2			
観察種数		35		12	19	22	15	17	19	14	9	8	10	11	19

41 成海神社・新海池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	2	16	17	11	9								
カモ	カルガモ	32	31	36	22	24	7	8	9	10	6	39	13	14	ヒナを確認
カモ	コガモ	38		4	5	4		9							
カモ	ホシハジロ	42		1											
カモ	キンクロハジロ	46	1		4										
カイツブリ	カイツブリ	62	10	4	3	6	5	5	6	8	5	4	7	11	巣とヒナを確認
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64		1	1	2	2								
ハト	キジバト	74	3	6	6	7	9	4	4	2	3	3	4	5	
ウ	カワウ	127	4	2	3	2	6	3	5	3	2		1	2	
サギ	ゴイサギ	139						62	78	33	7	3	2		巣とヒナを確認
サギ	アマサギ	143							2	8	3		1		
サギ	アオサギ	144	3	3	4	16	44	33	49	18	9	7	2	1	巣とヒナを確認
サギ	ダイサギ	146						2	3	3	1	2	1		
サギ	チュウサギ	147						2	21	20	6	9	25		
サギ	コサギ	148				1	1	1	3	3	6	2	5		
クイナ	バン	174	1	1		2		2	1						
クイナ	オオバン	175	7	18	23	17	14	2						6	
カモメ	コアジサシ	307									2				
ミサゴ	ミサゴ	339			1	1							1	1	
タカ	ハイタカ	355		1			1							1	
タカ	オオタカ	356						1							
カワセミ	カワセミ	383	1		1		1					2	1	1	
キツツキ	コゲラ	390	1	3	2		1	4	2	2		2		2	
モズ	モズ	420				1	1	1						2	
カラス	ハシボソガラス	435	11	14	14	15	18	6	17	8	7	2	9	5	巣とヒナを確認
カラス	ハシブトガラス	436	3	5	7	4	7	5	3	3	1	2	2	3	
シジュウカラ	ヤマガラ	442		2	2		3						1	6	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	3	2	2		4	6	3	4		3	4	9	
ツバメ	ツバメ	457						4	8	6	4	3	5		
ツバメ	コシアカツバメ	459							3				21		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	29	48	31	21	18	17	20	9	4	3	8	22	
ウグイス	ウグイス	464				1	3	1							
エナガ	エナガ	466						2						3	
ムシクイ	メボソムシクイ	477						1						1	
ムシクイ	エゾムシクイ	479							1						
ムシクイ	センダイムシクイ	480						2	1						
メジロ	メジロ	485	36	13	47	16	21	8	3				7	31	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							1						
レンジャク	ヒレンジャク	501					7								
ムクドリ	ムクドリ	506	5	21	5	9	9	3	14	52	7	5	3	11	

41 成海神社・新海池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	シロハラ	521		6	2	3	5	2							1
ヒタキ	アカハラ	522						1	2						
ヒタキ	ツグミ	525		3	2	1	2	5							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	1		1	1	1							1
ヒタキ	エゾビタキ	552												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554						1				1	1		
ヒタキ	キビタキ	558						1	1						1
ヒタキ	オオルリ	561						1							
スズメ	スズメ	569	49	65	52	54	22	22	25	42	9	29	28	17	
セキレイ	ハクセキレイ	574	4	5	3	3	3	2	6	2	1		1	1	ヒナを確認
セキレイ	セグロセキレイ	575	1	3		1	1	1							
アトリ	カワラヒワ	587	3		7	3	5	7	5	4		3	2	5	
ホオジロ	ホオジロ	610						1							
ホオジロ	アオジ	624		1	2	1	1	2							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	19	65	35	25	35	38	16	33	36	6	54	33	
観察種数		55	23	28	27	28	31	40	29	21	19	20	27	27	

42 大 高 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オシドリ	24													2
カモ	ヒドリガモ	28	5	2											
カモ	マガモ	30	46	55	37	38	30								8
カモ	カルガモ	32	25	19	4	4	6	5	4	2	4	2	3	5	
カモ	ハシビロガモ	34	2												
カモ	オナガガモ	35	3												
カモ	コガモ	38	2	2	2	1	4	8					1	1	
カモ	ホシハジロ	42	5	7	7	7	2							1	
カモ	キンクロハジロ	46	6	6	13	1	3								
カモ	スズガモ	47		1											
カモ	ミコアイサ	58	2	3	1	11	8								
カイツブリ	カイツブリ	62	4	5	5	7	5	4	5	6	5	5	5	5	6/24親子給餌
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	1	1	2							3			
ハト	キジバト	74	7	45	55	57	45	13	13	5	6	6	9	9	
ハト	アオバト	78			1			1	1						
ウ	カワウ	127	4	5	6	7	4	3	3	5	3	1	5	4	
サギ	ミゾゴイ	137					1	1							
サギ	ゴイサギ	139	1	3	3	3	4	1	4	2	4	6	1	3	
サギ	ササゴイ	141											1		
サギ	アオサギ	144	2	2	4	3	2	2	7	3	2	3	3	2	
サギ	ダイサギ	146		1	2	1	1	7	3	2	4	3	3	1	
サギ	コサギ	148	1	2	1	2	1	1	1	1	2	4	6	1	
クイナ	バン	174	3	3	3	3	3	1	2				1	3	
クイナ	オオバン	175	6	6	5	6	4	1						1	
カッコウ	ホトトギス	185							1						
カッコウ	ツツドリ	187						1	1						
ヨタカ	ヨタカ	189												1	
チドリ	ケリ	195							1						
シギ	ヤマシギ	212				1									
シギ	イソシギ	244											1		
カモメ	コアジサシ	307							3	3					
ミサゴ	ミサゴ	339	2		1	1	1				1				
タカ	トビ	342										1			
タカ	ツミ	354												1	
タカ	ハイタカ	355		1	1	1		1							
タカ	オオタカ	356	1	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	
フクロウ	コミミズク	376			1										
カワセミ	カワセミ	383	2	1	2	2	2	1	1	2	2	2	3	2	6/12幼鳥
キツツキ	コゲラ	390	5	5	5	6	4	5	6	6	3	3	3	3	
キツツキ	アカゲラ	393		1	1	2	1							1	

42 大 高 緑 地

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハヤブサ	ハヤブサ	407		1	1		1								
サンショウウクイ	サンショウウクイ	412						2	5			2	10		
カササギヒタキ	サンコウチョウ	418							1				1		
モズ	モズ	420	2	2	1	3	1	1	1	4	1	1	1	4	6/7幼鳥
カラス	カケス	427			2		2	3						2	
カラス	ハシボソガラス	435	7	25	20	31	27	20	49	50	24	30	22	56	
カラス	ハシブトガラス	436	80	100	37	236	175	41	48	30	16	13	28	35	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	1	7	4	3	5	2		1		2	9	4	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	14	12	12	9	13	15	20	10	13	11	14	14	4/30幼鳥5
ツバメ	ショウドウツバメ	455											3		
ツバメ	ツバメ	457					19	17	20	19	26	26	23	1	
ツバメ	コシアカツバメ	459									2	14	5		
ツバメ	イワツバメ	461					12	7	7	8	3				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	32	80	105	45	49	57	80	27	27	10	28	61	
ウグイス	ウグイス	464	2	5	3	2	8	6	4	2				2	
ムシクイ	オオムシクイ	476							4	2				1	
ムシクイ	メボソムシクイ	477							2				1		
ムシクイ	エゾムシクイ	479						4	6			3	1		
ムシクイ	センダイムシクイ	480						5	6			1	2	1	
メジロ	メジロ	485	54	75	81	65	60	50	34	29	53	32	81	74	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492						1	1	1	1	1			
ムクドリ	ムクドリ	506	20	30	5	50	18	70	19	100	41	20	30	4	
ムクドリ	コムクドリ	508						20	12			5	80		
ヒタキ	トラツグミ	514						1							
ヒタキ	クロツグミ	518						2						4	
ヒタキ	シロハラ	521	2	20	12	22	9	12	1					1	
ヒタキ	アカハラ	522			1	1		3	1						
ヒタキ	ツグミ	525	50	38	111	16	12	15						1	
ヒタキ	コマドリ	530						1	1						
ヒタキ	コルリ	534						1	1						
ヒタキ	ルリビタキ	536		2	1			2							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	4	3	4	4							1	
ヒタキ	ノビタキ	542											1		
ヒタキ	エゾビタキ	552											1	1	
ヒタキ	サメビタキ	553												1	
ヒタキ	コサメビタキ	554									1	1	3	3	
ヒタキ	キビタキ	558	1					7	5	3	4	1	1	4	
ヒタキ	オオルリ	561						2	1				1	1	
スズメ	スズメ	569	30	41	25	26	30	44	60	66	47	40	35	25	6/18幼鳥
セキレイ	キセキレイ	573	2		1		1	1				1	1	2	

42 大 高 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4、5、9、10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
セキレイ	ハクセキレイ	574	7	3	4	2	3	3	1	1	1	1	3	5	
セキレイ	セグロセキレイ	575	2	2	2	1		1	1	1	2	1	1	2	
セキレイ	ビンズイ	580						4							
アトリ	アトリ	586												30	
アトリ	カワラヒワ	587	40	35	31	3	28	14	6	5	7	1	1	5	
アトリ	シメ	600	3	4	2	3	5	5	2						
アトリ	イカル	602							1						
ホオジロ	ホオジロ	610						1	2	1			1		
ホオジロ	アオジ	624	6	6	11	9	12	8	1						
ホオジロ	クロジ	625	2					4							
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	5	30	46	50	30	13	3	5	12	11	50	40	
観察種数		91	44	44	48	42	44	56	50	32	30	36	44	49	

43 鷺 津 山

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74	2	1	2	3	3	3	1		2	2	6	7	
ウ	カワウ	127		4	3	1			1	1				2	
ミサゴ	ミサゴ	339					1								
キツキ	コゲラ	390	3	1	2	1	1	1							
カラス	ハシボソガラス	435	5	4	3	3	3	5	4	4	7	5	4	6	
カラス	ハシブトガラス	436		1	2	4		2	2	1			1	3	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	2	1				2						2	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	6		4		2		6			2		5	
ツバメ	ツバメ	457						3	4	3	1				
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	32	27	17	13	20	5	7	8	2	2	36	28	
ウグイス	ウグイス	464		1	1	2	2								
ムシクイ	センダイムシクイ	480						1	1						
メジロ	メジロ	485	31	9	44	35	13	3		2		2	12	5	
ムクドリ	ムクドリ	506		1				11	1					5	
ヒタキ	クロツグミ	518						1							
ヒタキ	シロハラ	521		2	3	3	3								
ヒタキ	ツグミ	525		1				1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540				1									
ヒタキ	キビタキ	558						3	3	1			1		
ヒタキ	オオルリ	561							1						
スズメ	スズメ	569	2					9	8	2		8	2	2	
セキレイ	キセキレイ	573												1	
セキレイ	ハクセキレイ	574				1								1	
アトリ	シメ	600			1		1								
ホオジロ	アオジ	624				5		2							
キジ	コジュケイ	外1							1						
ハト	カワラバト（ドバト）	外8		2	5			2							
観察種数		27		8	13	12	12	10	16	13	8	4	6	7	12

44 氷 上 姉 子 神 社

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	カルガモ	32					5			3					
カモ	ホシハジロ	42			1										
カイツブリ	カイツブリ	62	2	7	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	ヒナ幼鳥
ハト	キジバト	74	4	4	5	13	4	4	3	1	3	3	3	7	
ウ	カワウ	127	72	80	46	75	446	102	51	38	7	3	9	22	
サギ	ゴイサギ	139							1	1					
サギ	アオサギ	144			1	1	2	1	1		1		1		
サギ	ダイサギ	146					1		1	1					
クイナ	バン	174	2	2											
カモメ	コアジサシ	307							1						
ミサゴ	ミサゴ	339			1	1									
タカ	トビ	342			3			1	1						
タカ	オオタカ	356	1					1	1				1	1	
タカ	ノスリ	358		1	1									1	
キツキ	コゲラ	390	5	2	4	3	6	3	6	3	1	1	1	1	
モズ	モズ	420	4				2	1	7				2	5	幼鳥
カラス	ハシボソガラス	435	6	5	6	8	6	5	8	3	5	2	3	7	
カラス	ハシブトガラス	436	6	9	10	51	10	9	7	6	5	5	8	7	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	2	2			3			1			1	3	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	3	2	2	10	2	3	3	3	2		2	4	
ツバメ	ツバメ	457					2	6	13	23	10		7		ヒナ幼鳥
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	43	71	88	53	34	35	21	14	11	8	62	47	幼鳥
ウグイス	ウグイス	464	1	5	2	5	4	2	4						
メジロ	メジロ	485	36	41	40	53	15	48	10	27	9	8	36	29	
ムクドリ	ムクドリ	506	9	3	6	6	7	13	8	9	2	2	15	25	営巣幼鳥
ムクドリ	コムクドリ	508											15		
ヒタキ	クロツグミ	518						1							
ヒタキ	シロハラ	521	1	2	5	7	2	5	1					3	
ヒタキ	ツグミ	525	2	7	16	12	16	7							
ヒタキ	コマドリ	530						1							
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1	1	1	1	1								
ヒタキ	コサメビタキ	554												5	
ヒタキ	キビタキ	558						1	3	2					
ヒタキ	オオルリ	561						2							
スズメ	スズメ	569	7	5	36	7	4	17	8	8	11	3	6	10	幼鳥
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	2	1				1	1				1	
アトリ	カワラヒワ	587								3					
アトリ	シメ	600						7							
アトリ	イカル	602						1							
ホオジロ	ホオジロ	610	2	2			1		1	1	1				

44 氷 上 姉 子 神 社

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ホオジロ	アオジ	624	2		2	2				2					
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	14	3	1	12	12	2				2	2	3	20
観察種数		42	23	21	22	19	22	27	24	21	15	12	17	20	

45 明 徳 緑 地

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	マガモ	30	3		6	11	8								
カモ	カルガモ	32		2	2			2	2	1				2	
カモ	ホシハジロ	42	1	4	14	5	2	1							
カモ	キンクロハジロ	46			1										
カイツブリ	カイツブリ	62	2	3	3	3	3	4	4	5	2			1	5月営巣抱卵 6月幼鳥3羽含む
ハト	キジバト	74	5	2	9	9	3	5	4	1	3	2		1	
ウ	カワウ	127			2	7	7	2	3						
サギ	ゴイサギ	139	3	4	8	5	3	3	1	1				2	1
サギ	アオサギ	144	1	1	1	1	1						2	1	1
サギ	ダイサギ	146			3	1	1	1	1	1			1	1	1
サギ	チュウサギ	147										1			
サギ	コサギ	148			1	1									
クイナ	オオバン	175		1											
タカ	ハイタカ	355		1	1										
タカ	ノスリ	358													2
カワセミ	カワセミ	383	2	2	3	2	2	2	2	3	2	2	1	1	
キツツキ	コゲラ	390	3	9	7	4	6	2	7	8	2			2	3
キツツキ	アオゲラ	397	1												11月♂
モズ	モズ	420	1		1	2	1	1					5		2 8月幼鳥4羽含む
カラス	カケス	427	1	1											2
カラス	ハシボソガラス	435	11	6	9	50	15	10	7	10	12	8	4	5	
カラス	ハシブトガラス	436	7	3	2	10	4	10	3	1	1	2	1	1	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	2	2	3	2	2	4	1					1	5
シジュウカラ	シジュウカラ	445	7	3	9	6	8	5	5	57	3	4	3	4	6月幼鳥混在
ツバメ	ツバメ	457					2	9	6	9	19	5	9		
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	56	48	50	50	20	25	16	12	15	10	7	25	
ウグイス	ウグイス	464	3	2	3	1	3	3	5		1				
エナガ	エナガ	466	2	6					4					2	
ムシクイ	センダイムシクイ	480							1			1			
メジロ	メジロ	485	30	60	32	30	50	19	2	50	4	18	30	25	6月幼鳥混在
ムクドリ	ムクドリ	506				10		3	15	25	7		30		6月幼鳥混在
ヒタキ	シロハラ	521		2	7	6	4	1							
ヒタキ	アカハラ	522						1	1						
ヒタキ	ツグミ	525		1	5	4	2	1	1						
ヒタキ	ルリビタキ	536		1	1		1								
ヒタキ	ジョウビタキ	540	4	3	3	4	1								
ヒタキ	コサメビタキ	554													1
ヒタキ	キビタキ	558							7	3					
スズメ	スズメ	569	2			1		5	20	5	6	3	3		
セキレイ	キセキレイ	573													1

45 明 徳 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
セキレイ	ハクセキレイ	574	6	1	1	2	2								3
セキレイ	セグロセキレイ	575	2					1	2	2	1	1	1	2	5月幼鳥1羽含む 8月幼鳥
アトリ	カワラヒワ	587		6				2	4		2				
アトリ	シメ	600				2		4	6						
アトリ	イカル	602							1						
ホオジロ	アオジ	624	2	2	1										
ハト	カワラバト（ドバト）	外8		6	15	1		5	1				5		
観察種数		47	24	27	29	27	24	27	28	17	16	14	19	19	

46 猪 高 緑 地

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	ヒドリガモ	28						4							
カモ	マガモ	30						2							
カモ	カルガモ	32	3	5	3	3	2	3	2		2				
カモ	コガモ	38						3							
カモ	ホシハジロ	42	2	8	5	5	2								
カイツブリ	カイツブリ	62	1				2								
ハト	キジバト	74	16	5	13	12	16	16	13	26	17	12	14	23	
ウ	カワウ	127		1	3	6		3							1
サギ	アオサギ	144		1	1	1	1	1	2		1	1	1		
サギ	ダイサギ	146				2		1				1			
サギ	コサギ	148	1	1		1	1								
クイナ	オオバン	175	5	11	6	6	6	4	1						
タカ	トビ	342													1
タカ	ハイタカ	355				1									1
カワセミ	カワセミ	383	1		2	1	1	1		1	1	1			1
キツツキ	コゲラ	390	3		3	6	3	2	2			2	1	3	
キツツキ	アオゲラ	397				1									
モズ	モズ	420				1									2
カラス	カケス	427				2									2
カラス	ハシボソガラス	435	18	12	12	14	12	33	17	22	21	24	13	26	
カラス	ハシブトガラス	436				2		2							
シジュウカラ	ヤマガラ	442	2	1	1	2		1	1			1			
シジュウカラ	シジュウカラ	445	23		16	17	16	23	28	12	19	21	18	23	
ツバメ	ツバメ	457		4				22	31	26	22	13			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	32	26	18	18	14	26	22	19	18	16	26	28	
ウグイス	ウグイス	464				1	3	3	11	3	3	2	1		
エナガ	エナガ	466	3		9	7	5	13	6	12	18	17	12	18	
メジロ	メジロ	485	26	15	22	23	12	18	18	18	27	22	12	16	
ムクドリ	ムクドリ	506	16	8	7	6	8	6	16	14	9	7	8	11	
ヒタキ	トラツグミ	514					1								
ヒタキ	シロハラ	521		2	5	4	2	3	2						
ヒタキ	ツグミ	525		16	3	6	1	2							
ヒタキ	ルリビタキ	536			1	1	1								
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1		1	1	3		1						
ヒタキ	エゾビタキ	552													3
ヒタキ	コサメビタキ	554													3
スズメ	スズメ	569	7	6	8	9	6	6	33	16	12	16	17	21	
セキレイ	キセキレイ	573		1	2	1	1								1
セキレイ	ハクセキレイ	574		1	1	1	1	1							
セキレイ	セグロセキレイ	575							2	1	1	1	1		

46 猪 高 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
アトリ	カワラヒワ	587							2						
ホオジロ	アオジ	624			3	4	2								
キジ	コジュケイ	外1							2	1	2	2	1		
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	7												
観察種数		44	18	18	23	31	25	25	20	13	15	17	13	18	

47 牧 野 ヶ 池 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26		2											
カモ	ヨシガモ	27	40	20	3	5									10
カモ	ヒドリガモ	28	30	30	15	25	12							5	60
カモ	マガモ	30	5	10	15	8									3
カモ	カルガモ	32	20	20	16	25	5	4	3		4	11	5	5	
カモ	ハシビロガモ	34	2	6											
カモ	オナガガモ	35	50	15	35	20	6	3	2	2	2	2	5	15	
カモ	コガモ	38	1	1	5			2					3	2	
カモ	ホシハジロ	42		5											
カモ	キンクロハジロ	46	11												
カモ	ミコアイサ	58		7	15	20									
カイツブリ	カイツブリ	62	4	6	10	10	10	3	2						2
カイツブリ	カンムリカイツブリ	64	7	12	8	5	5								2
カイツブリ	ハジロカイツブリ	66		1											
ハト	キジバト	74	2	2	2	5	6	3	3	1	1	3	3	3	
ウ	カワウ	127	5	16	30	15	15								4
サギ	アオサギ	144	4	3	3	6	1	2	3	2	2		3	3	
サギ	ダイサギ	146	2	3	5	4	1	2	2		1		1	2	
サギ	コサギ	148			2	4	2								
クイナ	オオバン	175	30	25	30	20	11	5					1	10	
カッコウ	ホトトギス	185							1						
カモメ	ユリカモメ	286		12	4										
ミサゴ	ミサゴ	339		1	1			1							
タカ	オオタカ	356		1											
カワセミ	カワセミ	383	1	1	3	2	1		1		1				2
キツキ	コゲラ	390	5	3	5	3	2	2	2				4	8	
モズ	モズ	420													2
カラス	カケス	427	2		2			2			1		1	1	
カラス	ハシボソガラス	435	10	2	5	5	9	10	15	3	8	3	9	8	
カラス	ハシブトガラス	436	8	11	21	15	4	22	17	15	9	6	11	6	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	5		3			2	2				3	10	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	6	2	9	4		8	5			7	12	7	
ツバメ	ツバメ	457						7	5	4	13	1			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	50	35	40	22	22	10	20	4	6	5	37	15	
ウグイス	ウグイス	464	5	4	5	6	7	9							
エナガ	エナガ	466		4		1						3		5	
ムシクイ	メボソムシクイ	477													1
ムシクイ	センダイムシクイ	480													1
メジロ	メジロ	485	20	11	20	10	10	7	5	18		10	23	30	
ムクドリ	ムクドリ	506					2	8	1	12	1	55		5	

47 牧 野 ヶ 池 緑 地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	シロハラ	521	2	2	5	4	2								
ヒタキ	ツグミ	525	2	2	7	2	6								
ヒタキ	ジョウビタキ	540		5	3	2									
ヒタキ	エゾビタキ	552													1
ヒタキ	サメビタキ	553											1	1	
ヒタキ	コサメビタキ	554											2	3	
ヒタキ	キビタキ	558							1					1	
スズメ	スズメ	569	10	2	5	5	8	18	13	54	8	9	23		
セキレイ	キセキレイ	573		1								1			
セキレイ	ハクセキレイ	574	7	3	1	1	1	2	1				2	1	
セキレイ	セグロセキレイ	575		2	2								1	2	
アトリ	カワラヒワ	587	1	3	5			5	16						
アトリ	シメ	600			1	1									
ホオジロ	アオジ	624	5	4	5	3	2								
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	8	2	21	36	10	4	5			1	10	5	
観察種数		55	32	40	37	31	25	24	22	10	13	14	22	34	

48 農業センター・針名神社

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オシドリ	24		6	36	12	7								
カモ	オカヨシガモ	26	18	8	4			2							
カモ	ヒドリガモ	28	2	2	2	2									
カモ	マガモ	30		16	21	16									
カモ	カルガモ	32	18	8	10	8	8	2	2	3			3	4	
カモ	ハシビロガモ	34	5	2	4	4									
カモ	オナガガモ	35	1	1											
カモ	コガモ	38	8	13	20	25	26	6	2						2
カモ	ホシハジロ	42	5	2	5	6	5								
カモ	キンクロハジロ	46	1		6										
カモ	ミコアイサ	58		2	5	5									
カイツブリ	カイツブリ	62	8	2	10	6	5	4		5	3	1	2	2	
ハト	キジバト	74	5	4	4	5	6	4	2	4	2	1	3	4	
ウ	カワウ	127	6	2	4	2		2	1		2		2	1	
サギ	アオサギ	144	2	1	2	1	3	2	1	1	1	1	1	1	
サギ	ダイサギ	146			1	2	1	1		3					
クイナ	パン	174			2	1	2	2	2	3	2	1	2	2	
クイナ	オオパン	175	15	10	7	7	6	4	1					4	
ミサゴ	ミサゴ	339			1										2
タカ	ノスリ	358			1										
カワセミ	カワセミ	383		1	2	1		1	2	1	1	1			
キツキ	コゲラ	390	6	1	2	1	1	1	1		2		1	1	
キツキ	アカゲラ	393					1								
モズ	モズ	420	5		2	1		1	1		1				
カラス	カケス	427	2												
カラス	ハシボソガラス	435	4	5	8	3	6	4	5	4	4	3	3	4	
カラス	ハシブトガラス	436	10	2	3	2	4	4	2	3	2	1	2	2	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	1		2										
シジュウカラ	シジュウカラ	445	7		4	2	4	2		2	3	1	5		
ツバメ	ツバメ	457						7	6	6	8	4	3		
ツバメ	イワツバメ	461	2												
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	30	11	20	15	13	13	5	5	6	4	5	19	
ウグイス	ウグイス	464	8		3	2	1	1							
エナガ	エナガ	466	13				2	2	4						
ムシクイ	センダイムシクイ	480	3												
メジロ	メジロ	485	20	12	13	10	6	2	15	6	6	5		7	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492								2					
ムクドリ	ムクドリ	506	5	10	8	4	6	5	8	6	2	3	4	9	
ヒタキ	シロハラ	521	2	1	2	2		1							
ヒタキ	ツグミ	525	1	3	25	4	2	3							

48 農業センター・針名神社

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	ジョウビタキ	540	5	1	1	1	1								
ヒタキ	コサメビタキ	554											1		
ヒタキ	キビタキ	558								1					
スズメ	スズメ	569	10	5	10	12	4	12	6	8	8	4	13	9	
セキレイ	ハクセキレイ	574	2	3	2	2	1	1	1	1				2	
セキレイ	セグロセキレイ	575	1		1		1		2						
アトリ	カワラヒワ	587	10	12	15	8	8	6	2	2	2	1	4	2	
アトリ	シメ	600		2	2									1	
ホオジロ	アオジ	624	5	2	3	2			1						
キジ	コジュケイ	外1						1		1					
ハト	カワラバト（ドバト）	外8			4			7	6		12		2	2	
観察種数		51	35	30	40	32	26	29	24	19	18	14	17	20	

49 相 生 山 緑 地

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回 (4, 5, 9, 10月は2回) 以上調査し、種ごとの最多羽数を記録 (同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項	
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	
ハト	キジバト	74	2	1				2	3	2	2		3	2	2	繁殖
ハト	アオバト	78													2	
ミサゴ	ミサゴ	339	1												1	
タカ	ハイタカ	355	1													
タカ	オオタカ	356			1	1		1	1	1					1	
タカ	ノスリ	358													1	
キツツキ	コゲラ	390	2	1	2	1	1	2	3	3	2	1	2	1	1	繁殖
キツツキ	アカゲラ	393	1		1	1	1								1	
ハヤブサ	チョウゲンボウ	401										1				
モズ	モズ	420				1	1	1			1	1	1	2	2	繁殖
カラス	カケス	427	2	1	1										3	
カラス	ハシボソガラス	435	1	1	4	1	5	5	2	2	1	1	2	3	3	繁殖
カラス	ハシブトガラス	436	4	2	7	9	23	7	8	7	4	6	8	6	6	繁殖
キクイタダキ	キクイタダキ	438	2				2									
シジュウカラ	ヤマガラ	442	1	1	1			2	2			2	1	2		
シジュウカラ	シジュウカラ	445	2	6	2	3	2	2	3	6	3	3	6	3	3	繁殖
ツバメ	ツバメ	457						4	6	6	4			1		繁殖
ツバメ	コシアカツバメ	459							1							
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	27	16	11	12	7	14	9	8	6	3	17	23	23	繁殖
ウグイス	ウグイス	464	2	2	1	2	1									
ウグイス	ヤブサメ	465						2						1		
エナガ	エナガ	466			3		1	1	2							繁殖
ムシクイ	メボソムシクイ	477							1							
ムシクイ	エゾムシクイ	479						2	1							
ムシクイ	センダイムシクイ	480						1								
ムシクイ	ムシクイ属の種	481.2										1				
メジロ	メジロ	485	8	7	7	16	3	10	5	8	4	3	16	18	18	繁殖
ミソサザイ	ミソサザイ	504			1											
ムクドリ	ムクドリ	506					6	3	7	4	2	2	3			繁殖
ムクドリ	コムクドリ	508						2								
ヒタキ	トラツグミ	514													1	
ヒタキ	クロツグミ	518						1								
ヒタキ	マミチャジナイ	520											2	1		
ヒタキ	シロハラ	521	2	2	1	6	3	7								
ヒタキ	アカハラ	522		1				1	2							
ヒタキ	ツグミ	525	6	1	2		3	3								
ヒタキ	ツグミ属の種	525.3	2													
ヒタキ	コマドリ	530						1								
ヒタキ	ルリビタキ	536	1	1	1	1	3									
ヒタキ	ジョウビタキ	540	2	2		1									1	

49 相生山緑地

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	コサメビタキ	554						2							
ヒタキ	キビタキ	558						4	3	2	2		4	4	繁殖
ヒタキ	ニシオジロビタキ	560.2		1											迷鳥♀
ヒタキ	オオルリ	561						1					1		
スズメ	スズメ	569	6			5	4	8	9	7	7	3	8	15	繁殖
セキレイ	ハクセキレイ	574	2								1		1	1	繁殖
セキレイ	セグロセキレイ	575							2						
セキレイ	ビンズイ	580	1											1	
アトリ	カワラヒワ	587		1			2		3	9		13	6	7	繁殖
アトリ	シメ	600	1			1		5						1	
アトリ	イカル	602												6	
ホオジロ	カシラダカ	617												1	
ホオジロ	アオジ	624	3		2		1	3							
ホオジロ	クロジ	625	1												
ハト	カワラバト（ドバト）	外8					6							4	8
観察種数		55	25	17	17	15	20	28	20	13	12	14	19	27	

50 八 事 裏 山

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ハト	キジバト	74		2	6	2	5	2	10		2	4	2	8	
サギ	ダイサギ	146							1						
タカ	オオタカ	356		1											
キツツキ	コゲラ	390	3	1	10	2	8	6	9	1			1	1	
モズ	モズ	420	1										1	7	
カラス	ハシボソガラス	435	9	11	9	4	14	14	19	4	2	9	4	4	
カラス	ハシブトガラス	436	23	12	23	8	9	23	18	12	4	9	10	10	
シジュウカラ	ヤマガラ	442		4	5	5	3	5	6	2		1	1	15	
シジュウカラ	シジュウカラ	445	12	8	10	16	11	16	26	19	6	9	13	7	
ツバメ	ショウドウツバメ	455												2	
ツバメ	ツバメ	457						8	35	33	40	2			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	96	147	138	105	61	90	69	61	21	18	27	122	
ウグイス	ウグイス	464	2	5	5		5	2	2						
エナガ	エナガ	466			3	6		1						2	
ムシクイ	メボソムシクイ	477												4	
ムシクイ	センダイムシクイ	480						2							
メジロ	メジロ	485	21	44	65	37	33	23	24	28	9	8	43	39	
ムクドリ	ムクドリ	506						6	3	1			1		
ヒタキ	シロハラ	521		1	5	4	1	2						1	
ヒタキ	ツグミ	525			5	5	3	2							
ヒタキ	ルリビタキ	536		2											
ヒタキ	ジョウビタキ	540	8	3	2	2	2								
ヒタキ	コサメビタキ	554												2	
ヒタキ	オオルリ	561								1					
スズメ	スズメ	569	17	4	5	3	5	27	50	47	32	11	23	36	
セキレイ	ハクセキレイ	574	1			1			1					1	
アトリ	カワラヒワ	587	24	5	1		1		4	2	1			3	
アトリ	シメ	600						9							
ホオジロ	ホオジロ	610						9	5	2					
ホオジロ	アオジ	624	13	14	8	13	14	9	13				14	12	
キジ	コジュケイ	外1							1						
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	2					5		1					
観察種数		32	14	16	16	15	15	20	18	14	9	9	12	18	

51 大 根 池

・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回(4, 5, 9, 10月は2回)以上調査し、種ごとの最多羽数を記録(同一調査日とは限らない)。
 ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
 ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
カモ	オカヨシガモ	26			4	3	3								
カモ	ヒドリガモ	28	9	3	2	2									5
カモ	マガモ	30	13												
カモ	カルガモ	32	6	8	8	9	10	7		2	1	7	5	15	
カモ	コガモ	38	2	1	2	1	3	1							
カイツブリ	カイツブリ	62	2	3	2	2	2	4	2	6	5	2	2	5	
ハト	キジバト	74	2		4	8	6	8	5	4	4	4	5	4	
ウ	カワウ	127		1	1	2	1	1	2				2		
サギ	ゴイサギ	139							1						
サギ	アオサギ	144	2	1	1	1	1	1				2	1	1	
サギ	ダイサギ	146	6		1			1	2	1	1	4	2	2	
クイナ	ヒクイナ	170						1							
クイナ	バン	174	8	9	6	7	7	5	1			1	3	5	
クイナ	オオバン	175	3	5	5	6	8	5							
ミサゴ	ミサゴ	339	1											1	
タカ	オオタカ	356	1	1			1		1						
カワセミ	カワセミ	383									1		1		
キツツキ	コゲラ	390	3	2	1		2	1	5	5	4	2	2		
モズ	モズ	420	2	1	1	1	2	1					2	3	
カラス	ハシボソガラス	435	11	10	7	13	18	8	9	7	6	6	13	13	
カラス	ハシブトガラス	436	2						1				7	2	
シジュウカラ	ヤマガラ	442	2	1											5
シジュウカラ	シジュウカラ	445	3	7	11	6	7	9	8	8	2	12	9	6	
ツバメ	ツバメ	457						5	13	8	19	8			
ツバメ	コシアカツバメ	459										1			
ヒヨドリ	ヒヨドリ	463	18	17	14	26	12	18	15	11		9	12	33	
ウグイス	ウグイス	464	1	1	1	1	1	1	1						
エナガ	エナガ	466		2										1	
ムシクイ	メボソムシクイ	477												1	
ムシクイ	センダイムシクイ	480						1							
メジロ	メジロ	485	18	15	4	11	4	8	5	14	10	8	16	7	
ヨシキリ	オオヨシキリ	492							2						
レンジャク	ヒレンジャク	501					14								
ムクドリ	ムクドリ	506				8	8	14	17	11	6	2	4		
ヒタキ	シロハラ	521	1	1	1	1	1	2							
ヒタキ	アカハラ	522						2							
ヒタキ	ツグミ	525			2	1		1							
ヒタキ	ルリビタキ	536				1	1								
ヒタキ	ジョウビタキ	540	1		1	1									
ヒタキ	ノビタキ	542													2

51 大 根 池

- ・調査期間 2019年11月 - 2020年10月 ・月1回（4, 5, 9, 10月は2回）以上調査し、種ごとの最多羽数を記録（同一調査日とは限らない）。
- ・観察種数に定着した外来種は含むが飼養鳥・種不詳のものは含まない。
- ・亜種、不明種、交雑種、家畜品種は最終的な観察種数からは除外されたが、ここでは独自の1種として計上した。

調査年月			2019年		2020年										備 考 繁殖 その他特記事項
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
科	種	ID	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数	羽数
ヒタキ	コサメビタキ	554													1
ヒタキ	キビタキ	558							2	1			1	1	
スズメ	スズメ	569	2	8	2	12	5	5	38	43	17	23	15	17	
セキレイ	キセキレイ	573	1											1	
セキレイ	ハクセキレイ	574	6	2	4	4	3	2		1				3	
セキレイ	セグロセキレイ	575		1				2	1					2	
アトリ	カワラヒワ	587			3	9		7		4					
ホオジロ	カシラダカ	617		2		2									
ホオジロ	アオジ	624		3		2									
ホオジロ	オオジュリン	628				8	6								
ハト	カワラバト（ドバト）	外8	13	8		26	26	7	1		2	1		2	
観察種数	51		27	25	24	28	25	28	21	15	13	16	21	22	